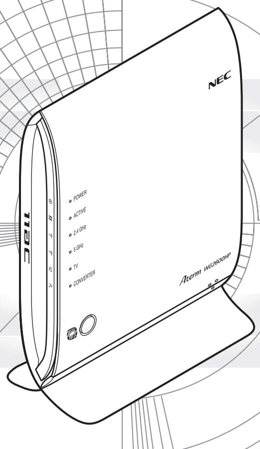
NEC

Aterm® WG2600HP

取扱説明書



技術基準適合認証品

はじめに

このたびは Aterm（エーターム）シリーズをご利用いただき、まことにありがとうございます。
Aterm WG2600HP（以下、本商品または親機と呼びます。）は、IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11b の無線 LAN 規格に準拠した Wi-Fi（無線 LAN）ホームルータです。また、Wi-Fi 通信の子機としてご使用いただくこともできます。
本商品のマニュアルでは本商品の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。本商品をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

■マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

つなぎかたガイド（小冊子）

基本的な接続パターンを例にインターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。

取扱説明書（本書）

本商品の基本機能について説明しています。

ユーザーズマニュアル（HTMLファイル）

本商品のさまざまな機能を利用してできることをわかりやすい操作・設定手順で説明しています。
サポートデスク（http://www.aterm.jp/support/）より［機種名で探す］－［WG2600HP］－［マニュアル］から参照してください。
（2015 年 9 月現在）

お知らせ

●本書では、Windows 10 の画面を主な例に、本商品の設定手順を説明しています。

■電波に関する注意事項

● 本商品は、技術基準適合証明を受けています。

● IEEE802.11ac、IEEE802.11n（5GHz）、IEEE802.11a 通信利用時は 5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。

● 5GHz 帯で使用するチャネルは 36,40,44,48ch（W52）と 52,56,60,64ch（W53）と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch（W56）です。親機としては、従来の IEEE802.11a で使用の 34,38,42,46ch（J52）の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。

IEEE802.11b/g/n			
IEEE802.11a/n/ac			
~~J52~~	W52	W53	W56

・W52（5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch）、W53（5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）、W56（5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）が利用できます。

5GHz 帯で接続する子機は、以下の表示があるものを推奨します。

・W52（5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch）
・W53（5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）
・W56（5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）

● W53（52/56/60/64ch）または W56（100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
・各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。

● IEEE802.11n（2.4GHz）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す。）が運用されています。
（1）本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
（2）万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
（3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Aterm インフォメーションセンターにお問い合わせください。

● 2.4GHz 帯使用の Bluetooth 機器との通信はできません。

● IEEE802.11n（2.4GHz）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4 DS/OF 4
■■■

2.4　：2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS/OF：DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
4　：想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■■■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

● 本商品を 2.4GHz 帯で使用し、チャネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人　電波産業会の ARIB 規格により下記内容が推奨されています。
「この機器を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャネル設定として、CH1,CH6,CH11 のいずれかにすることを推奨します。」
ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の 1,6,11ch 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。
（使用チャネルの設定方法は「www ユーザーズマニュアル」を参照してください。）

● デュアルチャネル、クワッドチャネルを利用する場合は、同一周波数帯を使用する他の無線局に対して干渉を与える可能性があります。
・デュアルチャネル、クワッドチャネルを「使用する」に設定する場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前にお確かめください。
・万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに「使用しない」に設定を変更してください。

- Aterm は、日本電気株式会社の登録商標です。
- らくらく無線スタート、らくらくネットスタート Lite、らくらく QR スタート、らくらく「かざして」スタート、こども安心ネットタイマー、ホーム IP ロケーションは、NECプラットフォームズ株式会社の登録商標です。
- Windows、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Vista はオペレーティングシステムです。
- Mac、Mac OS、OS X、iPad、iPhone、iPod touch、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- 「PlayStation」、「プレイステーション」、「PS3」および「PSP」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。「PS4」は同社の商標です。また、「プレイステーション 3」、「プレイステーション 4」、「PSP®「プレイステーション・ポータブル」」および「PlayStation®Vita」は同社の商品です。
  ©Sony Computer Entertainment Inc.
- Wii、Wii U、ニンテンドー DS、ニンテンドー 3DS は、任天堂の登録商標または商標です。
- Xbox 360 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- 「QR コード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 「お名前 .com®」は、GMO インターネット株式会社の登録商標です。
- その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。

© NEC Platforms, Ltd. 2015
NECプラットフォームズ株式会社の許可なく複製・改版、および複製物を配布することはできません。

メンテナンスバージョンアップ機能に関する許諾について

メンテナンスバージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに重要な更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。

「重要な更新」とは、NECプラットフォームズ株式会社（以下「当社」とします。）が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必須と判断した場合（例えばセキュリティ上の不具合を改善するソフトウェアの更新など）を示します。重要な更新がある場合は、当社ホームページの「製品に関する重要なお知らせ」にてご案内します。

メンテナンスバージョンアップ機能が開始されると、本商品が再起動するため、それまで接続していた通信が切断されます。また、従量制課金契約の場合、ソフトウェアダウンロードによる通信費用や、パケット通信量超過による速度制限が発生する場合があります。発生した通信費用はお客様ご負担となります。

本機能では、本商品に関する情報のうち、本機能が動作するために必要な最小限度の機器情報・ネットワーク情報を当社が運用するサーバへ通知します。これらの情報は、本機能の実現と本商品や本機能の改善・向上のためだけに利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましても、当社の取り扱い手続き同様に適切な管理を実施します。

本機能は、工場出荷時に有効（「ON」）になっています。本機能に関して許諾いただけない場合は、下記手順で機能を無効（「OFF」）にしてください。ただし、本機能を無効にした場合、セキュリティ上の不具合を改善するような重要なソフトウェアの更新であっても、自動的にバージョンアップは行いません。改善前のソフトウェアをそのまま使用し続ける場合、悪意のある第三者から不正なアクセスをされる危険が残る可能性があります。

＜無効にする方法＞

①クイック設定 Web を起動する（☛P2-11）

②ホーム画面の［詳細な項目を表示］－「詳細設定」－「その他の設定」を選択する

※ ブリッジモードの場合は、ホーム画面の「基本設定」－「基本設定」を選択します。

※ 子機 WG2600HP の場合は、ホーム画面の「詳細設定」－「詳細設定」を選択します。

③「メンテナンスバージョンアップ機能」で「OFF」を選択する

④［設定］をクリックする

ホーム IP ロケーション機能のご使用条件

ここでは、当社が提供するホーム IP ロケーション機能の使用条件を記載しています。

ホーム IP ロケーション機能を使用する場合は、機能を有効にする前 (※) に、こちらのご使用条件をご確認ください。機能を有効にされた場合は、ご使用条件にご同意いただけたものといたします。
ホーム IP ロケーション機能は、本商品をご使用になるお客様に、より便利にお使いいただけるよう、インターネットからホーム IP ロケーション名で本商品へのアクセスを可能とする機能です。
本機能は、以下の場合に有効になります。

・WAN 側にグローバル IP アドレスが付与されている
・ブリッジモード時は、上位ルータが
　－ WAN 側にグローバル IP アドレスを付与されている
　－ UPnP 機能が有効になっている
・メンテナンスバージョンアップ機能が「ON」になっている（初期値：「ON」）

なお、機能が有効となる条件を満たしても、本商品へのアクセスが可能になるまで 1 時間程度要する場合があります。
また、ホーム IP ロケーション名は、本商品固有の名前になり、変更することはできません。

(※) ホーム IP ロケーション機能の設定方法や詳細については、「WWW ユーザーズマニュアル」を参照してください。

1. 使用権

本機能の提供は、本商品をご使用いただいているお客様に対して行います。
また、本商品を転売等された場合は、新たに本商品を所有されるお客様が本機能をご使用いただけます。

2. 禁止行為

本機能は、違法行為または以下の行為をされる場合、ご使用いただけません。
当社が機能使用に適さないと判断した場合、予告なく機能を停止させていただきます。

（1）公序良俗に反する行為
（2）営利目的に使用する行為
（3）第三者の権利を侵害する行為またはその恐れのある行為
（4）本機能の運営を阻害する行為またはその恐れのある行為
（5）本機能を使用する権利を第三者に移譲する行為
（6）本商品の偽装をする行為

3. 免責事項

当社は本機能を提供するにあたり、機能の提供維持、安定化に努めますが、当社の対応は下記のものとなります。

（1）本機能の損害賠償
本機能によるお客様が被る損害については、いかなる場合も当社は一切の責任を負いません。

（2）本機能の保証範囲
本機能は本商品と当社サーバにて機能動作を確認し、保証するものとなります。
本機能ご使用にあたり、お客様のご使用環境に起因する機能、性能の動作保証やお客様のデータや機器に関する保証については、当社は一切の責任を負いません。

（3）本機能の中断、停止
やむを得ない理由または当社の都合により、本機能の中断・停止を予告なく行うことがあります。

（4）本条件の変更
本条件の改定を予告なく行うことがあります。

4. 機器情報の扱い

この機能に必要な本商品の機器情報を当社のサーバに通知いたします。

（1）通知される機器情報
・お客様がご使用になっている本商品の機器情報
・お客様がご使用になっている本商品のネットワーク情報

（2）情報利用の目的について
本機能の実現と本商品や本機能の改善、向上のためにお客様の機器情報を利用いたします。
お客様の機器情報は、本機能およびメンテナンスバージョンアップ機能を実現するために利用し、これ以外の目的では利用いたしません。

（3）情報の管理
当社が利用するお客様の情報につきましては、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。
当社が第三者と連携して実施する本機能につきましても、当社の取り扱い手続き同様に適切な管理を実施します。

5. その他

本機能は国内法に従い対応します。また、関連した紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意所轄裁判所とします。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマークの説明

警　告　：人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注　意　：人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

STOP お願い　：本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号

一般注意　発火注意　感電注意　高温注意　破裂注意

■ 行為を禁止する記号

一般禁止　分解禁止　水ぬれ禁止　ぬれ手禁止　風呂等での使用禁止　火気禁止

■ 行為を指示する記号

一般指示　電源プラグをコンセントから抜け

警　告

電源

● AC100V の家庭用電源以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。
差し込み口が 2 つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。

⚠警　告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。また、重いものをのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
- AC アダプタは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。
- AC アダプタおよび電源コードは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタおよび電源コードは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 本商品に添付の AC アダプタおよび電源コードは、必ず一体で使用し、他の AC アダプタや電源コードを組み合わせて使用しないでください。
- AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。
- 本商品に添付の AC アダプタは日本国内 AC100V（50/60Hz）の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。
- AC アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。また、AC アダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- AC アダプタ本体が宙吊りにならないように設置してください。電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。

こんなときは

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、Aterm インフォメーションセンターにご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

⚠警　告

- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、Aterm インフォメーションセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、Aterm インフォメーションセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。
- 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線など）のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、Aterm インフォメーションセンターにご連絡ください。
- 本商品を落とさないでください。落下によって故障の原因となったり、そのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、Aterm インフォメーションセンターにご連絡ください。

禁止事項

- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。
- 本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

⚠警　告

- 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となります。

その他の注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因となることがあります。
また、医用電気機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

⚠注　意

設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
  - ・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
  - ・じゅうたんや布団の上に置く
  - ・テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、必ず添付のスタンドを使用して、本商品の周囲に十分なスペースを確保してください。

電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に１回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

⚠注　意

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中や使用直後に AC アダプタが高温になる場合があります。やけどなどの恐れがありますので注意してください。

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器を接続したりしないでください。落雷による感電の原因となります。

その他の注意事項

- 本商品は動作中に高温になる場合があります。本商品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。
- 使用中は本商品が熱くなることがありますが、手で触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし、長時間触れたまま使用しないでください。低温やけどになることがあります。
- 取扱説明書にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のようなところへの設置は避けてください。
  - ・振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。
- 親機と子機の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。
- 本商品を壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色（色あせ）する場合があります。

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、接続コードを外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

お願い

日ごろのお手入れ

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
  ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。
- 水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。

無線 LAN に関する注意事項

- 無線 LAN の規格値は、本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- 本商品は他社製品との相互接続性を保証しておりません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。
- 5.2GHz、5.3GHz 帯域の屋外での使用は電波法により禁止されています。

その他の注意事項

- 通信中に本商品の電源が切れたり、本商品を取り外したりすると、通信ができなくなりデータが壊れることがあります。重要なデータは元データと照合してください。
- 本商品プラスチック部品の一部が、光の具合によってはキズのように見える場合があります。プラスチック製品の製造過程で生じることがありますが、構造上および機能上は問題ありません。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、ETHERNET ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と親機間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
　ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
　メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
　個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
　特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
　傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
　コンピュータウィルス等を流しデータやシステムを破壊する（破壊）
等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、親機の暗号化キー、PIN コードは定期的に変更することをお奨めします。変更は、クイック設定 Web で行います。暗号化キーは［Wi-Fi 詳細設定］、PIN コードは［WPS 設定］の画面で変更してください。

目次

メンテナンスバージョンアップ機能に関する許諾について……5
ホーム IP ロケーション機能のご使用条件……6
安全にお使いいただくために必ずお読みください……8
目次……18
本商品でできること……21
本商品の動作モードについて……29
Wi-Fi 子機（CONVERTER）モードの設定方法……31
各部の名称とはたらき……32
WG2600HP〈前面／側面（表）図〉……32
WG2600HP〈背面／側面（裏）図〉……36
あらかじめ確認してください……38
回線契約とプロバイダの加入について……38
パソコンの準備……38

1 章　設置する

設置する……1-2
親機の置き場所を決める……1-2
設置する……1-3

2 章　親機を設定する

設定方法について……2-2
らくらくネットスタート Lite で設定する……2-3
らくらくネットスタート Lite で設定する……2-3
PPPoE ルータモードに設定する……2-6
RT/BR/CNV モード切替スイッチでブリッジモードに設定する……2-8
クイック設定 Web の使いかた……2-9
設定できる WWW ブラウザ……2-9
クイック設定 Web を利用するための準備……2-10
クイック設定 Web の起動のしかた……2-11

3 章　Wi-Fi を設定する

Wi-Fi を設定する……3-2
マルチ SSID について……3-3
Wi-Fi 対応のゲーム機から接続する……3-5
iPad/iPhone/iPod touch から接続する……3-6
スマートフォン／タブレット端末から接続する……3-8
らくらく「かざして」スタートで Wi-Fi 接続する……3-8
らくらく QR スタートで Wi-Fi 接続する……3-9
パソコンなどから Wi-Fi を簡単に設定する……3-11
らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX を使用して Wi-Fi 設定する……3-11
WPS 機能を使用して Wi-Fi 設定する……3-12

Windows 10/8.1/8/7 および Windows Vista を
「ワイヤレスネットワーク接続」で手動で設定する …… 3-14
Windows 10 の場合 …… 3-15
Windows 8.1 の場合 …… 3-19
Windows 8 の場合 …… 3-23
Windows 7 の場合 …… 3-29
Windows Vista の場合 …… 3-35
親機との通信状態を確認するには …… 3-40
子機 WG2600HP を設定する …… 3-41
子機 WG2600HP を WPS で Wi-Fi 設定する …… 3-41
子機 WG2600HP をクイック設定 Web で Wi-Fi 設定する …… 3-44
クイック設定 Web の設定項目について …… 3-50
4章　セキュリティ対策をする
セキュリティ機能について …… 4-2
5章　便利な機能
便利な機能 …… 5-2
USB ポートを使う …… 5-2
ECO モード …… 5-2
こども安心ネットタイマー …… 5-2
PPPoE マルチセッション機能 …… 5-3
PPPoE ブリッジ機能 …… 5-3
IPv6 ブリッジ機能 …… 5-3
DMZ ホスト機能 …… 5-4
VPN パススルー機能 …… 5-4
IP パケットフィルタリング機能 …… 5-4
ポートマッピング機能 …… 5-4
UPnP 機能 …… 5-4
ダイナミック DNS 機能 …… 5-5
LAN 側ジャンボフレーム透過機能 …… 5-5
6章　トラブルシューティング
トラブルシューティング …… 6-2
設置に関するトラブル …… 6-2
ユーティリティに関するトラブル …… 6-12
ご利用開始後のトラブル …… 6-14
7章　メンテナンス
バージョンアップする …… 7-2
ファームウェアをバージョンアップする …… 7-2
初期化する …… 7-5
親機を初期化する場合 …… 7-5
子機 WG2600HP を初期化する場合 …… 7-8

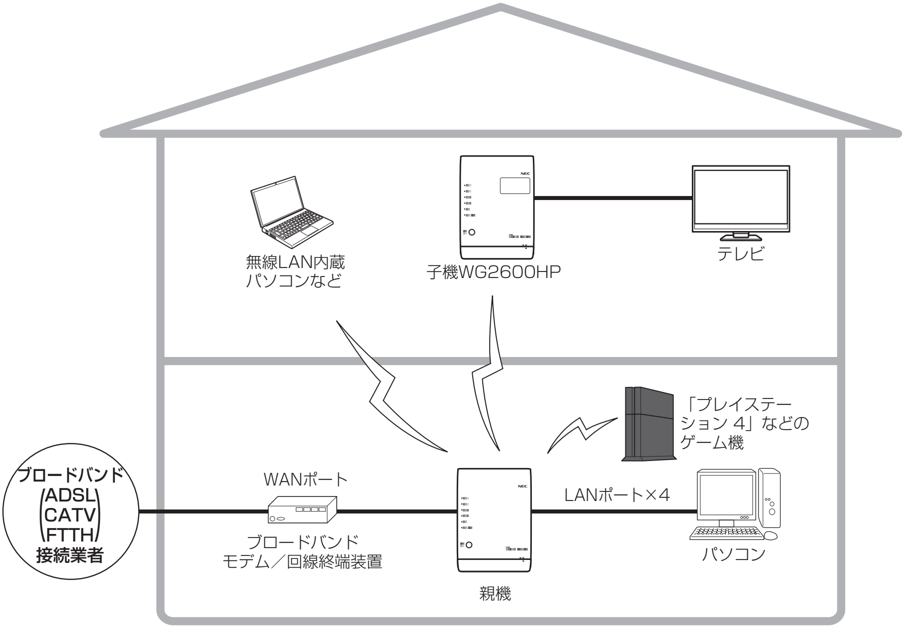
8章　付録

製品仕様 ･･･ **8-2**
ハードウェア仕様 ･･ 8-2
マニュアルで使用している用語について ･･････････････････････････ **8-5**
索引 ･･･ **8-7**
お問い合わせ ･･･ **8-9**
サポートデスク ･･ 8-9
Aterm（エーターム）インフォメーションセンター ････････････････････ 8-9
よくあるお問い合わせ ･･ 8-10

本商品でできること

本商品は、外付け ADSL モデム／ CATV ケーブルモデム／ FTTH 回線終端装置に接続して、複数の機器で同時にインターネットを利用できる Wi-Fi ブロードバンドルータです。

また、本商品は、親機としても子機としてもご使用になることができます。



■動作モード設定

本商品は、親機としても子機としてもご使用になることができます。（☛P29）

親機としてご使用になる場合は､ルータ機能を使用する動作モード（PPPoE ルータモードまたはローカルルータモード）と､ルータ機能を停止して使用する動作モード（ブリッジモード）があります。（☛P29、P2-2）

子機（イーサネットコンバータ）としてご使用になる場合は､Wi-Fi 子機（CONVERTER）モードに設定します。（☛P31）

■Wi-Fi 通信

● 親機では、IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11b に対応した子機と Wi-Fi 通信を行うことができます。

※ 子機は、10 台以下でのご使用をお勧めします。

※ 無線で届く範囲は環境によって異なります。

● W52 帯、W53 帯、W56 帯対応

親機は 5GHz 帯（W52、W53、W56）に対応しており、5GHz 帯で 19 チャネルがご利用になれます。

タイプ	チャネル	周波数帯域
W52	36, 40, 44, 48ch	5.2GHz 帯 （5,150-5,250MHz）
W53	52, 56, 60, 64ch	5.3GHz 帯 （5,250-5,350MHz）
W56	100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch	5.6GHz 帯 （5,470-5,725MHz）

ただし､W52 帯､W53 帯､W56 帯でご利用になるには､ご利用の子機が W52 帯､W53 帯､W56 帯に対応している必要があります。
J52 帯を使用する子機とは通信できません。
以下の相互接続一覧表を参照のうえ、ご注意ください。
Aterm シリーズ子機のバージョンアップ対応機種などの最新情報は、サポートデスクにてご確認ください。

親機 ＼ 子機	IEEE802.11a(J52) 対応子機	子機 WG2600HP (W52,W53,W56)
WG2600HP（W52,W53,W56）	×	◎
IEEE802.11a（J52）対応親機	△	×
IEEE802.11a（W52,W53）対応親機	×	○

◎：W52 帯（5,150-5,250MHz）、W53 帯（5,250-5,350MHz）、W56 帯（5,470-5,725MHz）を使用して、最大 19 チャネルから選択が可能です。
○：W52 帯（5,150-5,250MHz）、W53 帯（5,250-5,350MHz）を使用して、最大 8 チャネルから選択が可能です。
△：J52 帯（5,150-5,250MHz）を使用して､最大 4 チャネルから選択が可能です。
×：利用できません。

■Wi-Fi 通信

● 親機では、5GHz 通信（IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a）と 2.4GHz 通信（IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11b）を同時に利用できます。

2 台の子機で、5GHz（IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a）と 2.4GHz（IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11b）のそれぞれの Wi-Fi 通信モードを占有して通信をしたり、電波状態の良い Wi-Fi 通信モードで通信したりすることができます。また 5GHz と 2.4GHz それぞれに電波出力、ネットワーク名（SSID)、暗号化キー、ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽)、MAC アドレスフィルタリングの設定をすることができます。

● デュアルチャネル機能

親機では、Wi-Fi 通信で利用する通信チャネルの幅を、20MHz 幅から 40MHz 幅に拡大することにより、約 2 倍の通信速度を実現するデュアルチャネル通信機能を搭載しています。（初期値は「使用する（自動切替)」）
本商品でデュアルチャネル通信機能が利用可能な周波数帯は、2.4GHz 帯です。
（ユーザーズマニュアル）

● クワッドチャネル機能

親機では、Wi-Fi 通信で利用する通信チャネルの幅を、20MHz 幅から 80MHz 幅に拡大することにより、約 4 倍の通信速度を実現するクワッドチャネル通信機能を搭載しています。（初期値は「使用する」）
本商品でクワッドチャネル通信機能が利用可能な周波数帯は、IEEE802.11ac の 5GHz 帯のみです。（ユーザーズマニュアル）

● オートチャネルセレクト機能

親機の起動時に、周囲にあるアクセスポイントを検出し、2.4GHz 帯および 5GHz 帯のそれぞれで電波状態の良いチャネルを自動選択します。（初期値は「ON」）
（ユーザーズマニュアル）

● ビームフォーミング機能

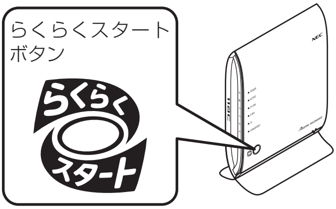
無線の受信機側の位置で電波が強まるようにアンテナからの送信を自動制御することで、より安定した Wi-Fi 通信を行うことができる機能です。

※本機能を使用する場合は、通信する対向機も本機能に対応している必要があります。

■ Wi-Fi を簡単に設定する

● らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX

らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX とは、親機にあるらくらくスタートボタンの操作で、Wi-Fi の接続設定（SSID・暗号化キーなどの設定）を簡単に行える機能です。（☛P3-11）



● WPS（Wi-Fi Protected Setup）

WPS に対応した Wi-Fi の自動設定を行うことができます。（☛P3-12）
設定方法には、らくらくスタートボタンによる設定の他、PIN 方式による設定があります。なお、設定するには、子機側も WPS に対応している必要があります。

※ WPS とは、Wi-Fi Alliance が策定した Wi-Fi の接続・セキュリティの設定を簡単に行うための規格です。

■ マルチ SSID 機能

親機には、3 つのネットワーク「オーナー SSID」「ゲスト SSID」「WEP 専用 SSID」があり、それぞれに異なる設定（セキュリティなど）をすることができます。（☛P3-3）
また、これらの SSID は同時に動作しているため、AES を利用可能な子機と、ニンテンドー DS など WEP のみが利用可能な子機が共存可能です。
通常は、「オーナー SSID」に接続してください。

■子機の増設

●子機を増設する（ユーザーズマニュアル）

子機として次の機器（別売り）を増設することができます。

※接続する子機によって通信速度が異なります。

＜ IEEE802.11ac、IEEE802.11n/a/g/b 通信＞
WL900U/W500P (※) /WG2600HP (※) /WG1800HP2 (※) /WG1200HP (※) /
WF1200HP (※) /WG1800HP (※) /WG1400HP (※)

＜ IEEE802.11n/a/g/b 通信＞
WL450NU-AG/WL300NU-AG/WL300NE-AG/WR9500N (※)

＜ IEEE802.11n/g/b 通信＞
WL300NU-GS

（※）Wi-Fi 子機（CONVERTER）モードでご使用ください。ただし、W500P/WG2600HP/WG1200HP は、らくらく無線スタートはご利用になれません。

●無線 LAN 内蔵パソコンを接続する

親機が使用している通信規格と同じ通信規格の無線 LAN 内蔵パソコンを増設できます。（パソコンの機種により、機能制限や接続できない場合があります。）

●ゲーム機を Wi-Fi 接続する

Wii U、ニンテンドー 3DS、「プレイステーション 4」、PlayStation®Vita および Xbox 360 などネットワークゲーム機を接続することができます。（☛P3-5）

●スマートフォン／タブレット端末を Wi-Fi 接続する

Android 端末や iOS 端末を接続することができます。

●プリンタを Wi-Fi 接続する

無線 LAN 対応のプリンタを Wi-Fi 接続できます。

■セキュリティ対策をする

親機には、ブロードバンド回線側からの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能、Wi-Fi ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されたりしないためのセキュリティ機能、送信元を詐称したアクセスを防ぐセキュリティ機能があります。必要に応じてセキュリティ対策を行うことができます。（☛P4-2、ユーザーズマニュアル）

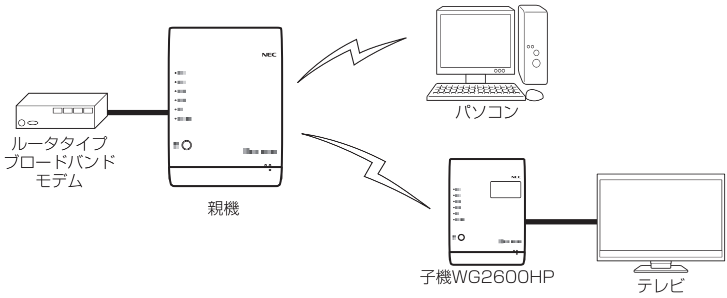
■ネットワーク分離機能

マルチ SSID（☛P3-3）のそれぞれのネットワークに接続した子機や、有線で接続されたパソコン、USB カメラ、USB ストレージへのアクセスを制限し、親機に接続した他のネットワークから分離することができます。（☛P4-7）

なお、WAN 側が分離されることはありません。

■TV モードに対応

親機に Wi-Fi 接続したパソコンやテレビで、安定したストリーミング画像を視聴することができます。（ユーザーズマニュアル）



■USB ポートに接続した USB デバイス内のファイルを共有する

親機の USB ポートでは、接続した USB デバイスに親機の LAN 側や WAN 側からアクセスして、ファイルを共有することができます。また、USB ポートに USB カメラを接続すれば、WAN 側から WWW ブラウザで画像を表示することができます。（☛P5-2）

■ECO モード

● ECO モードに設定する（☛P5-2）
親機の一部の機能を制限することで消費電力を抑えることができます。

● LAN ポート自動節電機能
未使用の LAN ポートを自動判別して、消費電力を削減します。

● 省電力型イーサネット（EEE）機能
IEEE802.3az Energy Efficient Ethernet 準拠の省エネ機能です。イーサネット（LAN 通信）のデータの送受信がないアイドル（待機）状態のときに、自動的に低消費電力モードになります。

設定は、クイック設定 Web（ホーム画面）の［詳細な項目を表示］－「ECO モード設定」－［ECO モード設定］の［省電力型イーサネット（EEE）機能］で行います。（初期値：「OFF」）

※ 本機能を使用する場合は、通信する対向機も本機能に対応している必要があります。

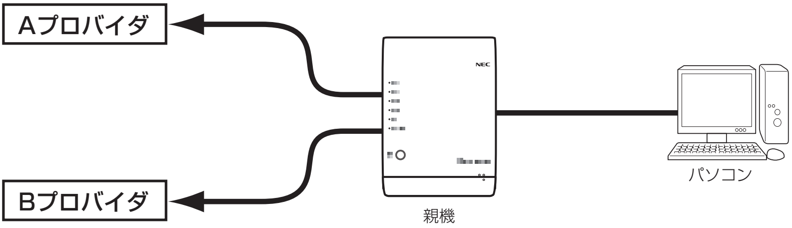
■WoL（Wake on LAN）機能

外出先など離れている場所からインターネット経由で、親機の LAN ポートに接続したパソコンを起動することができます。（ユーザーズマニュアル）

※ご利用のパソコンが WoL 機能（AMD Magic Packet Format）に対応している必要があります。

■複数の接続先（プロバイダ）を設定する

クイック設定 Web で複数の接続先を登録することができます。



● PPPoE マルチセッション（☛P5-3）

1 つの回線契約で複数の接続先へ同時に接続をすることができます。

（本機能は、プロバイダや接続事業者のサービス内容をご確認のうえ、ご使用ください。）

■こども安心ネットタイマー機能

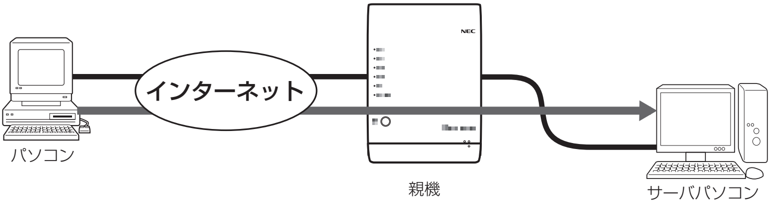
こども安心ネットタイマーを使うと、本商品へ Wi-Fi 接続するスマートフォン、タブレット、ゲームなどの端末ごとに、接続できる時間帯を制限することができます。保護者のかたがお子様のインターネット接続を管理したいときに便利な機能です。

（ユーザーズマニュアル）

■SOHO で使用するときに便利な機能

● ホームページを公開するなど、外部にサーバを公開する（ユーザーズマニュアル）

ポートマッピング機能（アドバンスド NAT オプション）、DMZ ホスト機能を利用して外部にサーバを公開できます。



● 会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN に接続する

VPN（PPTP）パススルー機能（ユーザーズマニュアル）

VPN（Virtual Private Network：仮想閉域網）に PPTP で接続できます。

■パソコンのネットワークゲームやテレビ電話を利用する

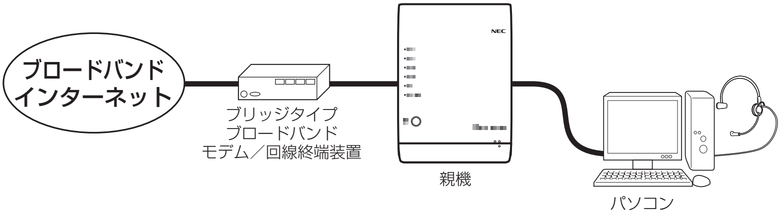
次の機能を利用して、ネットワークゲームをすることができます。

・PPPoE ブリッジ機能（☛P5-3）

・IPv6 ブリッジ機能（☛P5-3）

・ポートマッピング機能（ユーザーズマニュアル）

また、UPnP 機能を使用してテレビ電話などをご利用になれます。（ユーザーズマニュアル）



■インターネットの通信を切断する

PPPoE ルータモードの場合は、クイック設定 Web のホーム画面で切断できます。（自動で再接続を行います。）（ユーザーズマニュアル）

本商品の動作モードについて

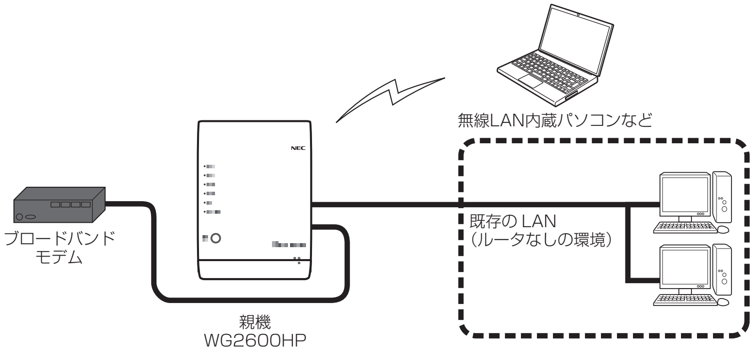
本商品には、下記の動作モードがあります。

親機としてご使用になる場合

本商品には、インターネットに接続するために 3 つのモードがあります。本商品のルータ機能を利用するかどうかとご利用回線によって、モードを選択します。
設定方法については、P2-2 を参照してください。

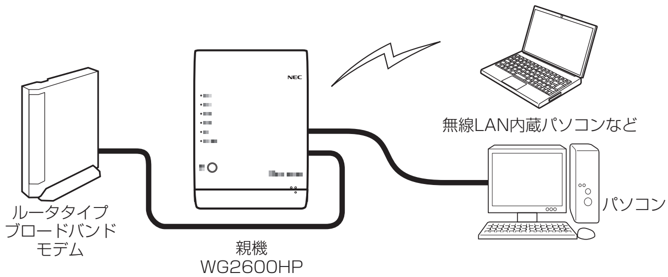
動作モード	説明
PPPoE ルータモード	**ルータ機能を使用する動作モード** ご利用回線によって決まります。 ※ ACTIVE ランプは緑点灯、CONVERTER ランプは消灯します。
ローカルルータモード	
ブリッジモード	**ルータ機能を停止して使用する動作モード** 別途ご利用のルータ機能内蔵のブロードバンドモデムに接続する場合の動作モードです。 ※ ACTIVE ランプは橙点灯、CONVERTER ランプは消灯します。

< PPPoE ルータモード／ローカルルータモードで使う場合の接続例>



<ブリッジモードで使う場合の接続例>

別途ご利用のルータタイプのブロードバンドモデムに接続するときには、本商品のルータ機能を停止してブリッジモードで接続します。

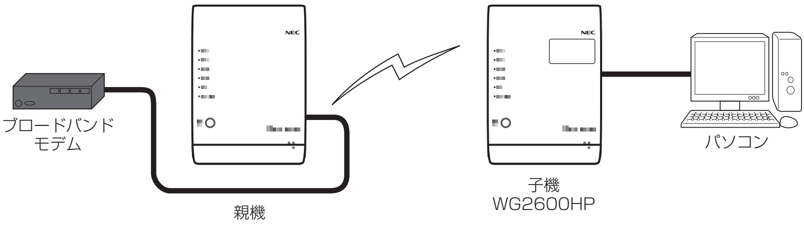


子機としてご使用になる場合

本商品を ETHERNET タイプの子機（イーサネットコンバータ）としてご使用になる場合は、下記の動作モードに設定します。
設定方法については、次ページを参照してください。

動作モード	説明
Wi-Fi 子機（CONVERTER）モード	**子機として使用する動作モード** ※ CONVERTER ランプが緑点灯します。

＜ Wi-Fi 子機（CONVERTER）モードで使う場合の接続例＞



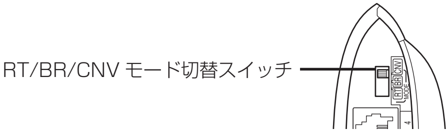
Wi-Fi 子機（CONVERTER）モードの設定方法

本商品を子機としてご使用になる場合は、本商品背面の RT/BR/CNV モード切替スイッチで Wi-Fi 子機（CONVERTER）モードに設定してください。

イーサネットコンバータセットの場合は、すでに Wi-Fi 子機（CONVERTER）モードに設定済みの装置が添付されております。その場合は、ここでの設定は不要です。

1 **本商品の電源を切る**

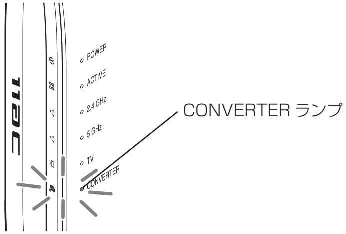
2 **RT/BR/CNV モード切替スイッチを CNV 側に切り替える**



3 **本商品の電源を入れる**

※本商品の電源を入れると、いったん前面のすべてのランプが緑点灯します。

※Wi-Fi 子機（CONVERTER）モードに設定されていれば、CONVERTER ランプが緑点灯します。

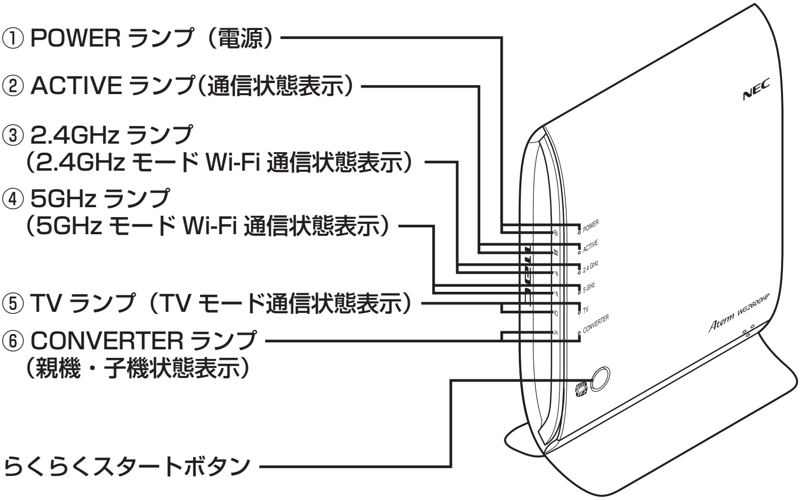


お知らせ

●Wi-Fi 子機（CONVERTER）モードに設定したあとに親機に戻す（変更する）場合は、本商品の電源を切って RT/BR/CNV モード切替スイッチを RT 側（ブリッジモードでご利用の場合は BR 側）に切り替えたあと、電源を入れてください。本商品が親機に設定されます。以降は「つなぎかたガイド」にしたがって親機の設置・接続を行い、必要であればインターネット接続のための設定を行ってください。

各部の名称とはたらき

WG2600HP〈前面／側面（表）図〉



※ 本商品の電源を入れると、いったん前面のすべてのランプが緑点灯します。

親機としてご使用になる場合

【ランプ表示】

ランプの種類	ランプの色(つきかた)	状態
① POWER ランプ（電源）	緑（点灯）	電源が入っているとき
	緑（点滅）	らくらく無線スタートで設定をしているとき
		WPS で Wi-Fi 設定をしているとき
	橙（点灯）（※ 1）	ファームウェアをバージョンアップしているとき
		らくらく無線スタートの設定が完了したとき
		WPS で Wi-Fi 設定が完了したとき
		USB ポートに接続したデバイスにデータを書き込んでいるとき
	橙（点滅）	らくらく無線スタートで設定をしているとき
	赤（点灯）	らくらく無線スタートに失敗したとき
		WPS で Wi-Fi 設定に失敗したとき
	赤（点滅）	初期化準備状態
		WPS で Wi-Fi 設定に失敗したとき
	消灯	電源が入っていないとき

ランプの種類	ランプの色（つきかた）	状態
② ACTIVE ランプ（通信状態表示）	緑（点灯）	PPPoE ルータモードの場合に PPP リンクが確立しているとき
		ローカルルータモードの場合に WAN 側に IP アドレスが設定されているとき
	緑（速い点滅）	PPPoE ルータモードの場合に相手からの応答を確認しているとき
	緑（遅い点滅）	PPPoE ルータモードの場合に PPP 認証を再確認しているとき（1 秒間隔）
	橙（点灯）	ブリッジモードのとき
	消灯	PPPoE ルータモードの場合に PPP リンクが確立していないとき
		ローカルルータモードの場合に WAN 側に IP アドレスが設定されていないとき
③ 2.4GHz ランプ（2.4GHz モード Wi-Fi 通信状態表示）	緑（点灯）	2.4GHz モードで通信可能なとき
	緑（速い点滅）	2.4GHz モードでデータ送受信しているとき
	消灯	Wi-Fi を使用していないとき
④ 5GHz ランプ（5GHz モード Wi-Fi 通信状態表示）	緑（点灯）	5GHz モードで通信可能なとき
	緑（速い点滅）	5GHz モードでデータ送受信しているとき
	赤（点滅）	5GHz モードで W53、W56 を設定した場合、または設定されている状態で電源を入れた場合に、干渉する電波（レーダー波）がないか検出しているとき
	消灯	Wi-Fi を使用していないとき
⑤ TV ランプ（TV モード通信状態表示）	緑（点灯）	TV モードを「使用する」に設定しているとき ※クイック設定 Web の「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「Wi-Fi 詳細設定（5GHz）」の「TV モード」にて設定。
		5GHz モードで無線クライアントモードの拡張モードに対応した子機とリンクが確立しているとき
	赤（点滅）	5GHz モードで W53、W56 を設定した場合、または設定されている状態で電源を入れた場合に、干渉する電波（レーダー波）がないか検出しているとき
	消灯	親機が TV モードになっていないとき
⑥ CONVERTER ランプ（親機・子機状態表示）	緑（点滅）	ブリッジモードで DHCP サーバ機能が動作しているとき
	消灯	親機として動作しているとき

（※ 1）ファームウェアまたは設定情報を自動的に書き換えている場合も、POWER ランプが橙点灯しますので、絶対に電源を切らないでください。故障の原因となります。

【設定ボタン】

名　称	説　明
らくらくスタートボタン	らくらく無線スタートで設定するときに使用します。
	WPS で Wi-Fi 設定するときに使用します。
	ブリッジモードでクイック設定 Web を開くために、DHCP サーバ機能を動作させるときに使用します。

子機としてご使用になる場合

【ランプ表示】

ランプの種類	ランプの色（つきかた）	状態
① POWER ランプ（電源）	緑（点灯）	電源が入っているとき
	緑（点滅）	WPS で Wi-Fi 設定をしているとき
	橙（点灯）（※ 2）	ファームウェアをバージョンアップしているとき
		WPS で Wi-Fi 設定が完了したとき
	赤（点灯）	WPS で Wi-Fi 設定に失敗したとき
	赤（点滅）	初期化準備状態
		WPS で Wi-Fi 設定に失敗したとき
	消灯	電源が入っていないとき
② ACTIVE ランプ（接続状態表示）	緑（点灯）	親機とのリンクが確立しているとき
	消灯	親機とのリンクが確立していないとき
③ 2.4GHz ランプ（2.4GHz モード Wi-Fi 通信状態表示）	緑（点灯）	2.4GHz モードの電波強度が「強」で、通信可能なとき
	緑（点滅）	2.4GHz モードの電波強度が「強」で、データ受信しているとき
	橙（点灯）	2.4GHz モードの電波強度が「中」で、通信可能なとき
	橙（点滅）	2.4GHz モードの電波強度が「中」で、データ受信しているとき
	赤（点灯）	2.4GHz モードの電波強度が「弱」で、通信可能なとき
	赤（点滅）	2.4GHz モードの電波強度が「弱」で、データ受信しているとき
	消灯	2.4GHz モードの電波が届いていないとき
		Wi-Fi 接続設定がされていないとき

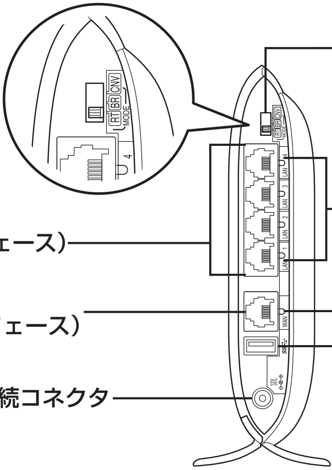
ランプの種類	ランプの色（つきかた）	状態
④ 5GHz ランプ（5GHz モード Wi-Fi 通信状態表示）	緑（点灯）	5GHz モードの電波強度が「強」で、通信可能なとき
	緑（点滅）	5GHz モードの電波強度が「強」で、データ受信しているとき
	橙（点灯）	5GHz モードの電波強度が「中」で、通信可能なとき
	橙（点滅）	5GHz モードの電波強度が「中」で、データ受信しているとき
	赤（点灯）	5GHz モードの電波強度が「弱」で、通信可能なとき
	赤（点滅）	5GHz モードの電波強度が「弱」で、データ受信しているとき
	消灯	5GHz モードの電波が届いていないとき
		Wi-Fi 接続設定がされていないとき
⑤ TV ランプ（TV モード通信状態表示）	緑（点灯）	5GHz モードで TV モードを「使用する」に設定している親機とのリンクが確立しているとき
		5GHz モードかつ拡張モードで親機とのリンクが確立しているとき
⑥ CONVERTER ランプ（親機・子機状態表示）	緑（点灯）	Wi-Fi 子機（CONVERTER）モードで動作しているとき
	緑（点滅）	子機 WG2600HP の DHCP サーバ機能が動作しているとき
	消灯	親機として動作しているとき

（※ 2）ファームウェアまたは設定情報を自動的に書き換えている場合も、POWER ランプが橙点灯しますので、絶対に電源を切らないでください。故障の原因となります。

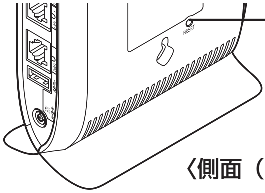
【設定ボタン】

名　称	説　明
らくらくスタートボタン	WPS で Wi-Fi 設定するときに使用します。
	子機 WG2600HP でクイック設定 Web を開くために、DHCP サーバ機能を動作させるときに使用します。

WG2600HP〈背面／側面（裏）図〉



〈背面〉



〈側面（裏）〉

名　称	説　明	
① LAN ポート（LAN インタフェース）	パソコンまたはゲーム機などと接続します。	
② WAN ポート（WAN インタフェース）	ブロードバンドモデム／回線終端装置と接続します。 ※子機としてご使用の場合は、LAN ポートとして使用することができます。	
③ AC アダプタ接続コネクタ	WG2600HP 用 AC アダプタを接続します。	
④ RT/BR/CNV モード切替スイッチ	動作モードをルータモード（RT 側）、ブリッジモード（BR 側）または Wi-Fi 子機（CONVERTER）モード（CNV 側）へ切り替えるときに使用します。 ※工場出荷時は、ルータモード（RT 側）です。	
⑤ LAN ランプ	緑（点灯）	LAN ポートのリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	LAN ポートでデータ送受信しているとき
	消灯	LAN ポートのリンクが確立していないとき
⑥ WAN ランプ	緑（点灯）	WAN ポートのリンクが確立しているとき
	緑（点滅）	WAN ポートでデータ送受信しているとき
	消灯	WAN ポートのリンクが確立していないとき

名　称	説　明
⑦ USB ポート	USB デバイスを接続するためのポートです。 ※ 子機としてご使用の場合は、USB ポートは利用できません。
⑧ RESET スイッチ	初期化するときに使用します。

あらかじめ確認してください

本商品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

回線契約とプロバイダの加入について

本商品をお使いの前にあらかじめ回線契約とプロバイダの契約を済ませ、ブロードバンド回線が開通していることを確認してください。

本商品の設定に必要な情報（接続ユーザ名／接続パスワード、IP アドレス）を契約時に入手した接続情報の書類で確認してください。

※ 接続できるサービスについては、サポートデスク－［目的別で探す］－［動作検証情報］でご確認ください。

パソコンの準備

お使いのパソコンが本商品をご利用になれる環境になっているか確認してください。

- **WWW ブラウザの設定が「ダイヤルしない」になっていること（☛P41）**
- **プロバイダから配付される PPPoE などの接続ツールが停止してあること**
- **ファイアウォールなど、すべてのソフトが停止してあること**
  本商品設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。停止しない（起動したままでいる）と本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（パソコンによっては、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。）
- **クイック設定 Web で設定を行う場合は、JavaScript の設定が有効にしてあること（☛P42）**
- **パソコンのネットワークの設定を確認すること（☛P39）**

※ 以下に記載している OS を動作確認しています。
最新情報は、AtermStation（http://121ware.com/aterm/）にてご確認ください。
Windows 10
Windows 8.1
Windows 8
Windows 7
Windows Vista
OS X v10.10/v10.9/v10.8/v10.7（Mac）
ただし、お客様の環境・機器によってはご使用になれない場合があります。
※自作のパソコンはサポート外となります。

〈本商品の LAN ポートに有線で接続する場合〉

- **LAN ポート（ETHERNET（イーサネット） ポート）を装備していること**
  お使いのパソコンに LAN ポートがない場合は、本商品の設置をはじめる前に、1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T または 10BASE-Te 対応の LAN ボードまたは LAN カードを取り付けておいてください。

お願い

● OS のアップグレードなどパソコンの動作環境を変更される場合は、あらかじめサポートデスクから本商品の最新のファームウェア、ユーティリティ、マニュアルなどをダウンロードしてください。

パソコンのネットワークの確認

パソコンのネットワークの設定が、Windows の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」、Mac の場合は「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。

Windows 10/8.1/8/7 および Windows Vista の場合

1 **「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から「コントロールパネル」をクリックする**

※ Windows 7/Windows Vista の場合は、[スタート]（Windows のロゴボタン）－［コントロールパネル］をクリックします。

2 **［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］をクリックし、[アダプターの設定の変更］をクリックする**

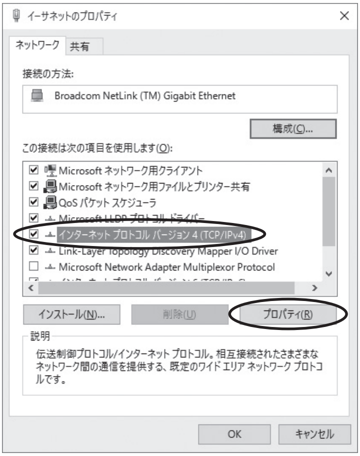
※ Windows Vista の場合は、[ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター] をクリックし、[タスク] 欄の [ネットワーク接続の管理] をクリックします。

3 **［イーサネット接続]（または［イーサネット］または［ローカルエリア接続]）を右クリックし、[プロパティ］をクリックする**

※本商品に Wi-Fi 接続する場合は、[Wi-Fi 接続]（または［Wi-Fi］または［ワイヤレスネットワーク接続]）を右クリックして [プロパティ] をクリックしてください。

4 **［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、[はい］または［続行］をクリックする**

5 **［インターネットプロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)]を選択し、[プロパティ］をクリックする**



（画面は Windows 10 の例です。）

6 **［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する**

7 **［OK］をクリックする**

（次ページに続く）

8 ［閉じる］または［OK］をクリックする

お知らせ

●Windows 10/8.1/8/7 および Windows Vista の設定により表示内容が異なる場合があります。
●ここでは、Windows 10/8.1/8/7 の通常表示モード（カテゴリの表示）、Windows Vista の通常表示モード（コントロールパネルホーム）を前提に記述しています。

WWW ブラウザの設定確認

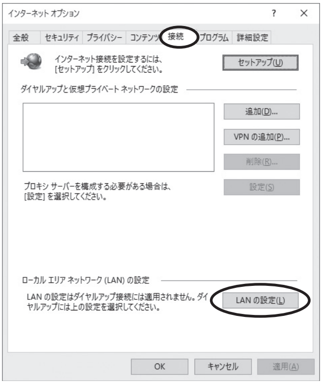
WWW ブラウザ（Internet Explorer など）の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。
以下は Windows 10 で Internet Explorer 11.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェアなど）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカにお問い合わせください。
※ Windows 10 で Microsoft Edge をご利用の場合は、「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

① **Internet Explorer を起動する。**
※Windows 10 の場合は、［スタート］（Windows のロゴボタン）－［すべてのアプリ］－［Windows アクセサリ］－［Internet Explorer］をクリックします。

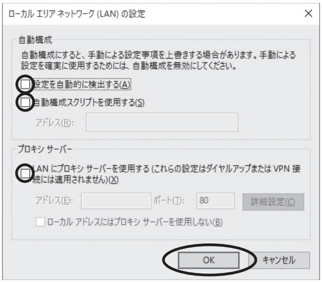
② **［ツール］の［インターネットオプション］を選択する。**

③ **［接続］タブをクリックする。**
※ダイヤルアップの設定欄が表示されている場合は、［ダイヤルしない］を選択してください。

④ **［LAN の設定］をクリックする。**



⑤ **［設定を自動的に検出する］、［自動構成スクリプトを使用する］、［LAN にプロキシサーバーを使用する］の ☑ を外して［OK］をクリックする。**
プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、したがってください。



⑥ **［OK］をクリックする。**

お知らせ

●プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）は、ダイヤルアップ接続（アナログモデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。その場合、本商品に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法など、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカにご確認ください。

JavaScript の設定を確認する

WWW ブラウザ（クイック設定 Web）で設定を行うには JavaScript の設定を有効にする必要があります。

※ WWW ブラウザの設定でセキュリティを高く設定した場合、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、JavaScript の設定を有効にしてください。

Windows で Internet Explorer をご利用の場合

以下は、Windows 10 で Internet Explorer 11.0 をご利用の場合の例です。
なお、Windows 8.1/8/7 および Windows Vista で設定する場合も、下記と同様の手順で設定できます。

※ Windows 10 で Microsoft Edge をご利用の場合は、「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

1 「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から「コントロールパネル」をクリックする

※ Windows 7 および Windows Vista の場合は、［スタート］（Windows のロゴボタン）－［コントロールパネル］をクリックします。

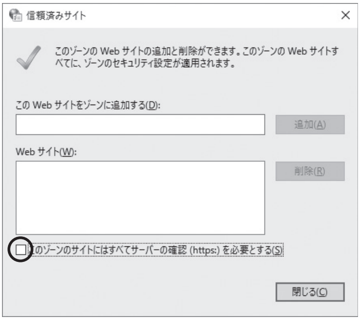
2 ［ネットワークとインターネット］－［インターネットオプション］をクリックする

※ Windows Vista の場合は、［クラシック表示］－［インターネットオプション］をクリックします。

3 ［セキュリティ］タブをクリックし、［信頼済みサイト］をクリックする

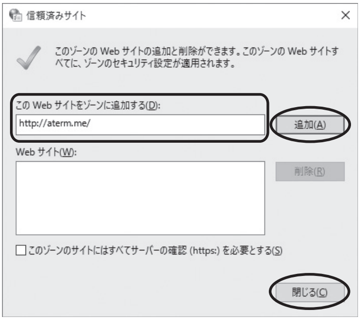
4 ［サイト］をクリックする

5 ［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認（https:）を必要とする］のチェックを外す



6 ［この Web サイトをゾーンに追加する］に「http://aterm.me/」を入力して［追加］をクリックし、［閉じる］をクリックする

※子機 WG2600HP をご利用の場合は、「http://192.168.1.245/」を入力して、［追加］－［閉じる］をクリックしてください。



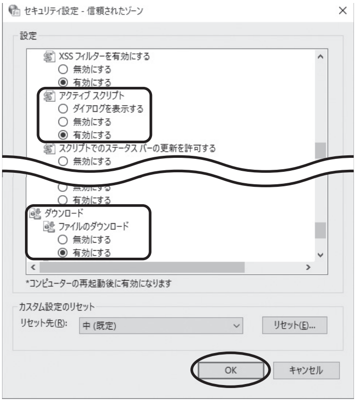
※ルータモードでご利用の場合、クイック設定 Web による初期化を行うと、再起動後は自動的に親機の工場出荷時の IP アドレス（192.168.10.1）でクイック設定 Web 画面が開く場合がありますので、親機の IP アドレス「http://192.168.10.1/」も追加することをお勧めします。

※ブリッジモードの場合は「http://192.168.1.210/」を入力してください。また、IP アドレスを変更した場合は変更した IP アドレスを入力してください。

7 ［レベルのカスタマイズ］をクリックする

8 画面をスクロールし、［アクティブスクリプト］と［ファイルのダウンロード］を［有効にする］に変更し、［OK］をクリックする

※「このゾーンの設定を変更しますか？」の画面が表示された場合は、［はい］（または［はい］－［適用］）をクリックしてください。



9 ［OK］をクリックする

OS X（Mac）で Safari をご利用の場合

以下は、OS X v10.10 で Safari 8.0 をご利用の場合の例です。

1 Safari を起動する

2 メニューバーの［Safari］－［環境設定］をクリックする

3 ［セキュリティ］をクリックする

4 ［JavaScript を有効にする］にチェックを入れる

5 メニューバーの［Safari］から［Safari を終了］をクリックし、Safari を終了させる

Android で Google Chrome をご利用の場合

以下は、Android 5.0 をご利用の場合の例です。

※ Google Chrome のバージョンにより、手順が異なる場合があります。

1 Google Chrome を起動する

2 ⋮（Google Chrome の設定）をタップする

3 ［設定］をタップする

4 ［コンテンツの設定］をタップする

※「コンテンツの設定」が表示されない場合は、「詳細」をタップしてください。

5 「JavaScript の有効化」にチェックを入れる

6 Google Chrome を閉じる

iOS をご利用の場合

以下は、iOS 8.1 の場合の例です。

1 ホーム画面の［設定］アイコンをタップする

2 設定メニューの「Safari」をタップする

3 「詳細」をタップする

4 「JavaScript」がオフになっている場合は、オンにする

1

設置する

設置する

親機の置き場所を決める

親機には電源、回線、パソコンなどを接続します。ケーブルの長さが決まっているものもあるので、ポイントとなる点をいくつかあげます。
実際の接続は、「つなぎかたガイド」を参照してください。

- **親機はブロードバンドモデム／回線終端装置のそばに置く**
- **親機用の電源コンセントはあるか？**
  電源コンセントを確保しましょう。
- **子機から無線で電波の届く距離に置く**
  子機を設定するときは、親機のそばで設定しましょう。

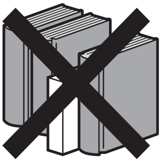
⚠ 警　告

- 本商品を落とさないでください。落下によって故障の原因となったり、そのまま使用すると火災・感電の原因となることがあります。万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、Aterm インフォメーションセンターにご連絡ください。

⚠ 注　意

- 大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。また、垂直面以外の壁や天井などには設置しないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因となります。
- ベニヤ板などのやわらかい壁には設置しないでください。確実に固定できる場所に設置してください。ネジが外れ落下し、故障、けがの原因となります。
- 壁掛け設置されている状態で、本商品にケーブルを接続したり、スイッチの操作などを行う際には、必ず本商品を手で支えながら行ってください。落下すると、故障、けがの原因となります。
- 通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

【例】

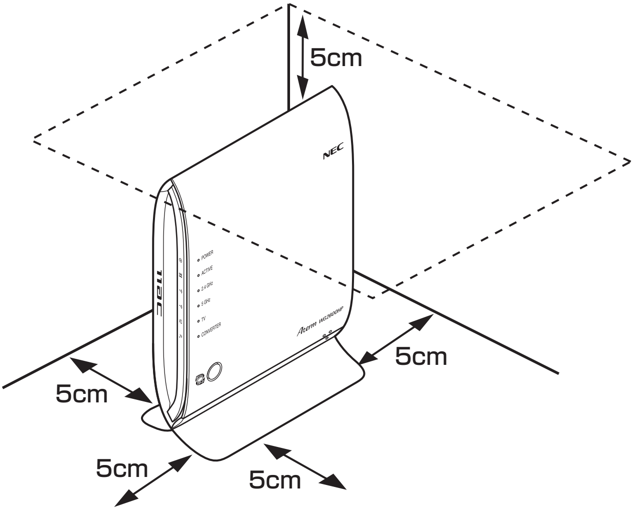


お知らせ

- 無線で届く範囲は壁や家具、什器など周囲の環境により短くなります。
- 親機と子機は 1m 以上離してお使いください。
- 本商品は、アンテナが内蔵されています。設置位置により十分な通信特性が得られない場合があります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。

設置する

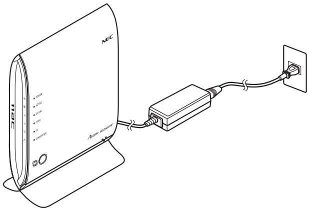
本商品は、前後左右 5cm、上 5cm 以内に、パソコンや壁などのものがない場所に設置してください。
壁掛けの場合は壁掛け面を除きます。
なお、本商品を子機としてご使用になる場合も同様に設置してください。



⚠ 警　告

AC アダプタを接続および設置する際は、以下のことにご注意ください。

- AC アダプタおよび電源コードは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタおよび電源コードは、他の製品に使用しないでください。
- 本商品に添付の AC アダプタおよび電源コードは、必ず一体で使用し、他の AC アダプタや電源コードを組み合わせて使用しないでください。
- 風通しの悪い場所に設置しないでください。
- AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。
- AC アダプタ本体が宙吊りにならないよう設置してください。
- たこ足配線にしないでください。



⚠ 注　意

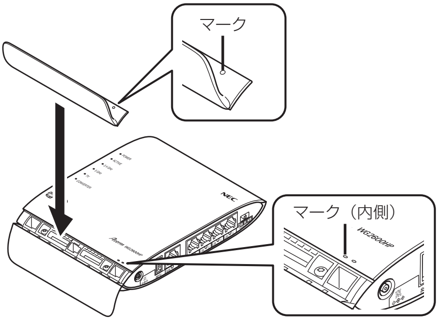
- 狭い場所や壁などに近づけて設置しないでください。内部に熱がこもり、破損したり火災の原因となることがあります。
- 本商品の上にものを置いたり、重ね置きはしないでください。

縦置きの場合

1
スタンドを取り付ける

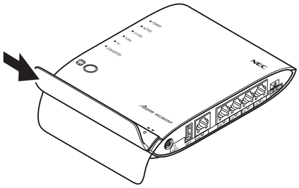
① スタンドの凸部分を本体底面の穴に差し込む

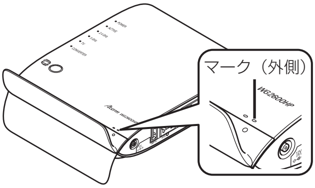
※ スタンド側のマークを、本体側面（表）のマーク（内側）に合わせるようにして差し込みます。



② スタンドを矢印の方向へスライドさせて固定する

※ スタンド側のマークを、本体側面（表）のマーク（外側）に合わせるようにしてスライドさせます。



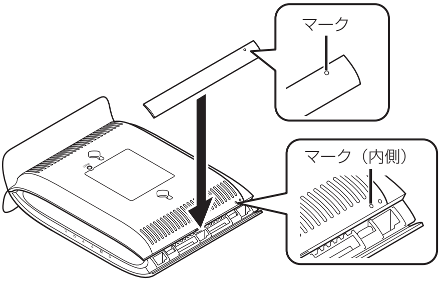


2
カバーを取り付ける

工場出荷時の状態では、カバーは取り付け済みです。その場合は手順 3 へお進みください。取り付ける場合は、以下の手順で取り付けてください。

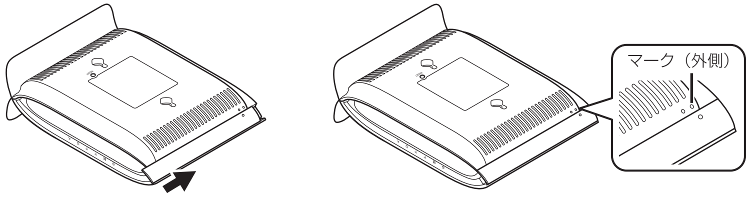
① カバーを本体の側面（裏）上部にはめ込む

※ カバー側のマークを、本体側のマーク（内側）に合わせるようにしてはめ込みます。

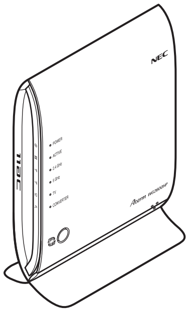


② カバーを矢印の方向へスライドさせて固定する

※ カバー側のマークを、本体側のマーク（外側）に合わせるようにしてスライドさせます。



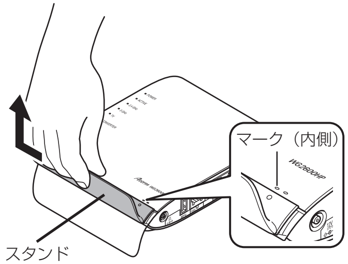
3 本体を立てる



! スタンドおよびカバーを取り外す場合は

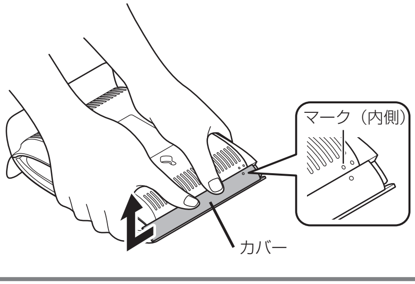
● スタンドの場合

図のように、スタンドの中央を手で持ってスライドさせ、スタンド側のマークを本体側のマーク（内側）に合わせてから、取り外してください。



● カバーの場合

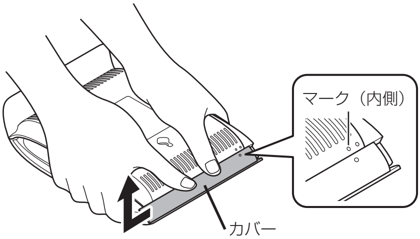
図のように、カバーの中央を指でスライドさせ、カバー側のマークを本体側のマーク（内側）に合わせてから、取り外してください。



横置きの場合

1 **カバーを取り外す**

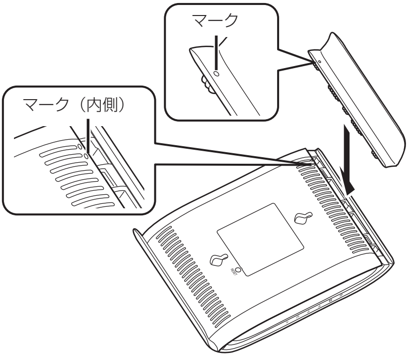
工場出荷時の状態では、本体の側面（裏）上部にカバーが取り付けられています。図のように、カバーの中央を指でスライドさせ、カバー側のマークを本体側のマーク（内側）に合わせてから、取り外してください。



2 **スタンドを取り付ける**

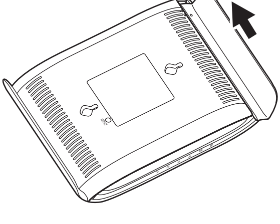
① スタンドの凸部分を本体の側面（裏）上部の穴に差し込む

※ スタンド側のマークを、本体側のマーク（内側）に合わせるようにして差し込みます。



② スタンドを矢印の方向へスライドさせて固定する

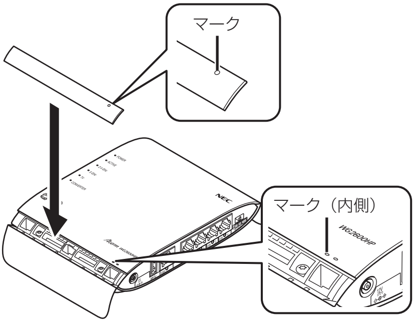
※ スタンド側のマークを、本体側のマーク（外側）に合わせるようにしてスライドさせます。



3 カバーを取り付ける

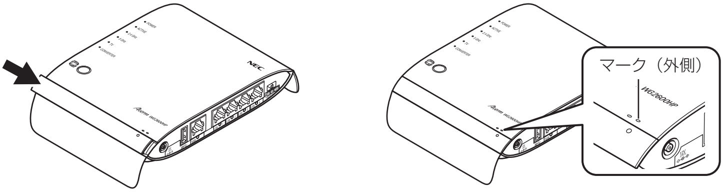
① カバーを本体の側面（表）下部にはめ込む

※ カバー側のマークを、本体のマーク（内側）に合わせるようにしてはめ込みます。

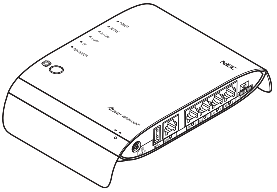


② カバーを矢印の方向へスライドさせて固定する

※ カバー側のマークを、本体側面（表）のマーク（外側）に合わせるようにしてスライドさせます。

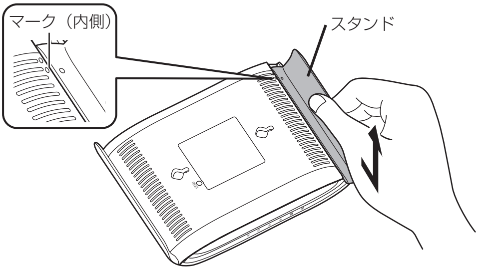


4 本体を横置きする

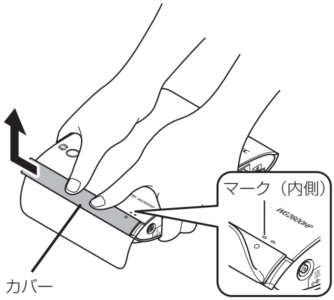


スタンドおよびカバーを取り外す場合は

● スタンドの場合
図のように、スタンドの中央を手で持ってスライドさせ、スタンド側のマークを本体側のマーク（内側）に合わせてから、取り外してください。



● カバーの場合
図のように、カバーの中央を指でスライドさせ、カバー側のマークを本体側のマーク（内側）に合わせてから、取り外してください。

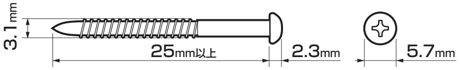


壁掛けの場合

!

壁掛け用ネジ（2 本）はお客様でご用意ください。

＜壁掛け用ネジ推奨サイズ＞

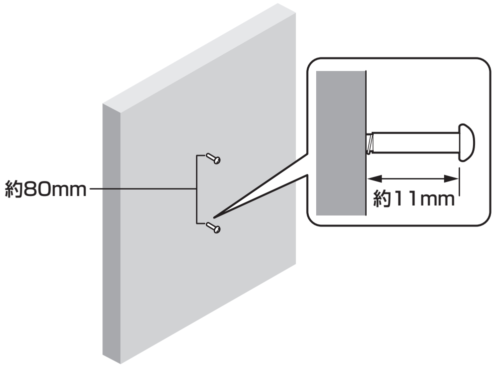


1 **スタンドとカバーを取り付ける**

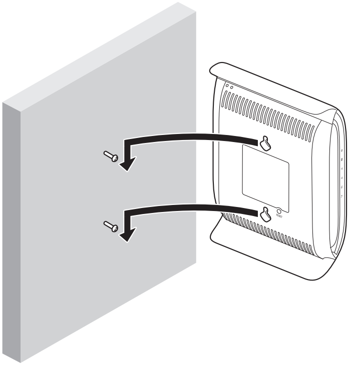
「横置きの場合」（☛P1-6）の手順 1 ～ 3 を参照してください。

2 **本体を取り付ける位置を決め、壁に、縦に 2 箇所ネジを取り付ける（ネジの間隔：約 80mm）**

※ネジは、最後まで締め込まず、壁から約 11㎜出るように取り付けてください。

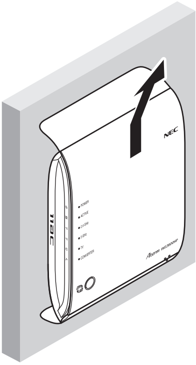


3 **ネジを、本体の側面（裏）にある取り付け穴に差し込み、下方向へスライドさせて固定する**



壁から取り外す場合は

図のように、本体を上側へ引き上げて、取り外してください。取り外すときは、本体の両側を持ってください。



お知らせ

●本商品を壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色（色あせ）する場合があります。

2

親機を設定する

設定方法について

親機で行う設定には、下記の「らくらくネットスタート Lite」、「RT/BR/CNV モード切替スイッチでの設定」、「クイック設定 Web」があります。

● らくらくネットスタート Lite（☛P2-3）

らくらくネットスタート Lite とは、親機がインターネットに接続できない状態であった場合、原因と思われる内容にしたがった対策方法を WWW ブラウザ画面に表示し、案内する機能です。
自宅のご利用回線、動作モードについて詳しくわからない場合にお勧めの設定方法です。

● RT/BR/CNV モード切替スイッチでの設定（☛P2-8）

親機のルータ機能を停止して使用したい場合は、親機背面にある RT/BR/CNV モード切替スイッチの操作で、動作モードをブリッジモードに設定することができます。
ご利用のブロードバンドモデムがルータタイプの場合に、お勧めの設定方法です。

※「RT」はルータ、「BR」はブリッジ、「CNV」はコンバータの略です。

● クイック設定 Web（☛P2-9）

親機の詳細な設定を行う場合に利用します。WWW ブラウザの画面（クイック設定 Web）で設定します。

※ Wi-Fi 接続してクイック設定 Web を表示させる場合、ゲスト SSID または WEP 専用 SSID に Wi-Fi 接続していると、工場出荷状態でネットワーク分離機能が設定されているため、クイック設定 Web は表示できません。
その場合は、いったん有線で親機とパソコンを接続して、クイック設定 Web を表示してください。設定が終わったら、再度 Wi-Fi 接続してください。

らくらくネットスタートLiteで設定する

らくらくネットスタートLiteは、WWWブラウザでインターネットに接続できない状態であった場合、原因と思われる内容にしたがった対策方法をWWWブラウザ画面に表示し、案内する機能です。

らくらくネットスタートLiteで設定を行うには、あらかじめ親機とパソコンとの通信ができる状態にしておく必要があります。子機から設定を行う場合は、「つなぎかたガイド」を参照して親機とのWi-Fi接続が完了してから設定してください。

※ らくらくネットスタートLiteは、下記の場合にのみ表示されます。
- インターネット接続設定が未設定の場合
- クイック設定Web（ホーム画面）の［詳細な項目を表示］－「詳細設定」－「その他の設定」で「らくらくネットスタートLite設定」を「ON」にした場合

お知らせ

- クイック設定Web、らくらくネットスタートLiteが利用できるWWWブラウザについては、「設定できるWWWブラウザ」（☛P2-9）を参照してください。
- 説明に使用している画面表示は、お使いのWWWブラウザやお使いのOSによって異なります。
- クイック設定Webの画面のデザインは変更になることがあります。
- PPPoEの外付けブロードバンドモデムを使用するとき、ブロードバンドモデムに付属のユーティリティでは、パソコンを同時に1台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はブロードバンドモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品のらくらくネットスタートLiteまたはクイック設定Webで設定をしてください。

らくらくネットスタートLiteで設定する

らくらくネットスタートLiteは、親機に接続したパソコンでインターネットにアクセスする際に動作し、インターネット接続に必要な対策方法を画面に表示します。

お知らせ

- 以下の手順は、すでにらくらくネットスタートLiteで本商品の設定が完了している場合は該当しません。

1 パソコンなどを起動する

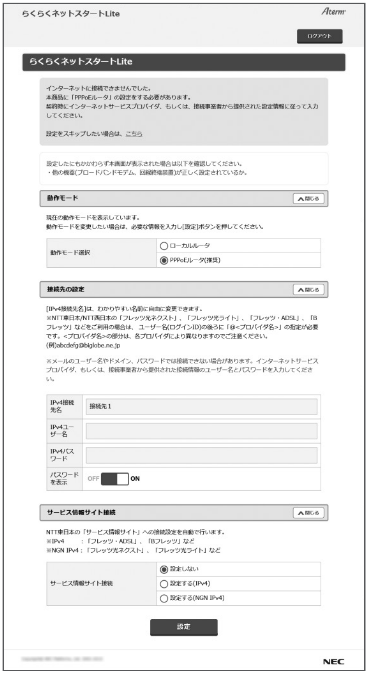
2 WWW ブラウザ（Internet Explorer など）を起動して、インターネットのホームページ（任意）にアクセスする

らくらくネットスタート Lite の画面で指示が表示された場合は、画面にしたがってください。

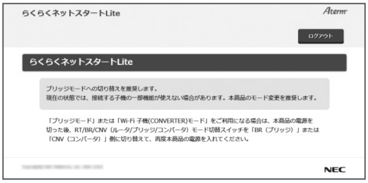
※「本商品は既にインターネットが使用できる状態にあります。」の画面（右の画面）が表示された場合は、インターネットに接続できていますので、画面を閉じてください。

→動作モードを変更したい場合は、「動作モード」で「PPPoE ルータ」を選択して、「PPPoE ルータモードに設定する」（☛P2-6）に進みます。

※PPPoE ルータの設定を促す画面（右の画面）が表示された場合は、「PPPoE ルータモードに設定する」（☛P2-6）に進みます。



※ブリッジモードへの切り替えを推奨する画面（右の画面）が表示された場合は、「RT/BR/CNV モード切替スイッチでブリッジモードに設定する」(☛P2-8)に進みます。

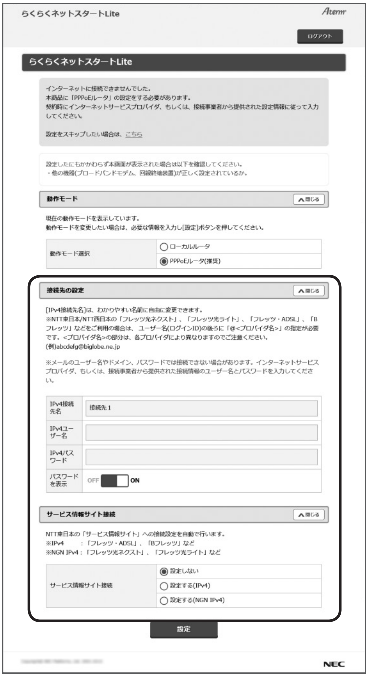


!

インターネットにアクセスできず、らくらくネットスタート Lite の画面も表示されない場合は、「トラブルシューティング」（☛P6-6）を参照してください。

PPPoE ルータモードに設定する

らくらくネットスタート Lite で、PPPoE ルータの設定を促す画面が表示された場合や動作モードを「PPPoE ルータ」に変更した場合は、次の手順で設定します。



1 右の画面で、インターネット接続に必要な情報を入力する

① [IPv4 接続先名] に、プロバイダの名称など接続先としてわかる名称（任意）を入力する

② [IPv4 ユーザー名] と [IPv4 パスワード] を入力する

※ 接続事業者／プロバイダからの資料（契約時に入手した接続情報の書類）にしたがって入力してください。文字列を間違えないように入力してください。

※ フレッツの場合は、@以降のドメインが必要です。

※ メールのユーザ名やドメイン、パスワードでは接続できない場合があります。

③ サービス情報サイトの接続先登録を行うかどうかを選択する

※ NTT 東日本の「Bフレッツ」「フレッツ･ADSL」「フレッツ光ネクスト」「フレッツ光ライト」などをご利用の場合のみ選択します。
DNS ルーティングの設定も自動的に行われます。

2 入力が完了したら、［設定］をクリックする

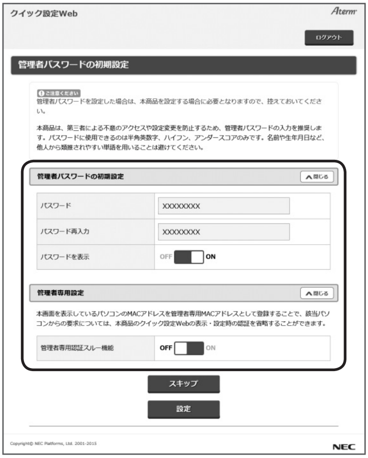
本商品が再起動します。しばらくお待ちください。

3 管理者パスワードを入力する

親機の設定画面を開くための管理者パスワードを、画面の案内にしたがって決め、下記控え欄に記入したら、画面に入力します。

管理者パスワード控え欄

● 管理者パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。忘れた場合は、設定画面を開くことができず、本商品を初期化してすべての設定がやり直しになります。



※管理者パスワードは、あとから設定することもできます。その場合は、[スキップ] をクリックします。(セキュリティ向上のため、管理者パスワードは設定することをお勧めします。)

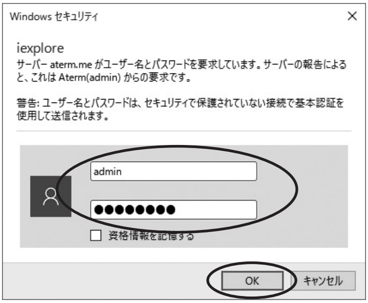
4 入力が完了したら、[設定] をクリックする

※「管理者専用設定」-「管理者専用認証スルー機能」を「ON」にして [設定] をクリックすると、この画面を表示している端末の MAC アドレスを管理者専用の MAC アドレスとして本商品に登録します。登録した端末では、クイック設定 Web 起動時にユーザ名・管理者パスワード入力を省略することができます。

5 [OK] をクリックする

※右の画面が表示された場合は、ユーザ名とパスワードを入力して [OK] をクリックすると、クイック設定 Web 画面が表示されます。

→「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)には手順 3 で設定した管理者パスワードを入力します。



2

親機を設定する

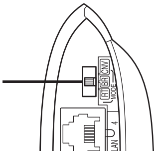
RT/BR/CNV モード切替スイッチでブリッジモードに設定する

親機の動作モードをブリッジモードに設定（ルータ機能を停止）する場合は、RT/BR/CNV モード切替スイッチを使って設定します。

※「RT」はルータ、「BR」はブリッジ、「CNV」はコンバータの略です。

1 **親機の電源を切る**

2 **RT/BR/CNV モード切替スイッチを BR 側に切り替える**



3 **親機の電源を入れる**

POWER ランプが緑点灯し、ACTIVE ランプが橙点灯すると、設定が完了します。

ブリッジモードに設定（ルータ機能を停止）した場合のご注意

- ブリッジモードで、らくらく無線スタートを行う場合は、必ず、ブロードバンドモデムなど DHCP サーバ機能を持った機器を本商品に接続した状態で行ってください。
- ブリッジモードで、クイック設定 Web を開く場合は、「http://aterm.me/」から開くことはできません。

  → ブリッジモードでのクイック設定Webの起動のしかたはP2-13を参照してください。

お知らせ

- この方法で設定したあとに、ルータモード（ルータ機能を使用する）に変更する場合は、本商品の電源を切って RT/BR/CNV モード切替スイッチを RT 側に切り替えたあと、電源を入れてください。

クイック設定 Web の使いかた

クイック設定 Web で親機の設定を行うには、あらかじめ親機とパソコンとの通信ができる状態にしておく必要があります。
子機から設定を行う場合は、「つなぎかたガイド」を参照して親機との Wi-Fi 設定が完了してから設定してください。

お知らせ

- 説明に使用している画面表示は、お使いの WWW ブラウザやお使いの OS によって異なります。
- クイック設定 Web の画面のデザインは変更になることがあります。

お願い

- クイック設定 Web が起動しない場合は、パソコンのネットワークの設定を見直してください。(☛P39)
- クイック設定 Web の設定は、［設定］をクリックすることで登録されます。

設定できる WWW ブラウザ

設定できる WWW ブラウザは次のとおりです。（2015 年 9 月現在）

※最新情報は、AtermStation（http://121ware.com/aterm/）にてご確認ください。

〈画面例〉

■ **Windows 10 の場合**
Microsoft Edge に対応
Internet Explorer 11.0 に対応

■ **Windows 8.1 の場合**
Internet Explorer 11.0 に対応

■ **Windows 8 の場合**
Internet Explorer 10.0 に対応

■ **Windows 7 の場合**
Internet Explorer 11.0 に対応

■ **Windows Vista の場合**
Internet Explorer 9.0 に対応

■ **OS X v10.10/v10.9/v10.8/v10.7（Mac）の場合**
Safari 8.0 に対応（v10.10）
Safari 7.0 に対応（v10.9）
Safari 6.0 に対応（v10.8/v10.7）

■ **iOS 8.1/8.0/7.1/7.0/6.0 の場合** (※ 1)(※ 2)
Safari に対応

■ **Android 5.0/4.4/4.3/4.2/4.1/4.0 の場合** (※ 1)(※ 2)
Google Chrome に対応

（※ 1）iOS または Android で設定する場合は、本商品に Wi-Fi 接続したあとに行ってください。
（※ 2）下記内容は設定できません。（2015 年 9 月現在）
・［設定値の保存＆復元］画面の「設定値の保存」、「設定値の復元」
・［ファームウェア更新］画面の「更新方法：ローカルファイル指定」
・［USB ストレージ］画面でのファイルのダウンロード、ファイルのアップロード

■ゲーム系

「プレイステーション 3」、「プレイステーション 4」、PlayStation® Vita、ニンテンドー3DS、ニンテンドー 3DS　LL、Wii U 本体のインターネットブラウザに対応

※ らくらくネットスタート Lite のみ

クイック設定 Web を利用するための準備

親機と接続できているかどうかは、IP アドレスが正しく取得できているかどうかで確認することができます。

※ ブリッジモードの場合（ACTIVEランプが橙点灯している場合）は、P2-13へお進みください。

＜ IP アドレスの確認方法＞

■ Windows 10/8.1/8/7 および Windows Vista の場合

① 「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から［コマンドプロンプト（管理者）］をクリックする

※ Windows 7/Windows Vista の場合は、［スタート］（Windows のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。

② 「ipconfig」と入力して［Enter］キーを押す

③ IPv4 アドレスが「192.168.10.XXX」（*）になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字）

■ OS X（Mac）の場合

以下は OS X v10.10 の場合の例です。

① アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する

② ［Ethernet］を選択する

※ 本商品に Wi-Fi 接続している場合は［Wi-Fi］を選択して［詳細］をクリックし、［TCP/IP］タブをクリックします。

③ IP アドレス（または IPv4 アドレス）が「192.168.10.XXX」（*）になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字）

■ iOS の場合

以下は iOS 8.1 の場合の例です。

① ホーム画面の［設定］アイコンをタップする

② 設定メニューの「Wi-Fi」をタップする

③ チェックが入っている接続中のネットワーク名（SSID）をタップする

④ 「IP アドレス」が「192.168.10.XXX」（*）になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字）

■ Android の場合

以下は Android 5.0 の場合の例です。

① ［設定］をタップする

② 「無線とネットワーク」にある［Wi-Fi］をタップする

③ ⋮ －［詳細設定］をタップする

④ 「IP アドレス」が「192.168.10.XXX」（*）になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字）

（*）らくらくネットスタート Lite で本商品の LAN 側 IP アドレスを変更した場合は、変更したアドレス体系（例：「192.168.11.XXX」）。

クイック設定 Web の起動のしかた

クイック設定 Web の起動のしかたは、動作モードの設定状態によって異なります。

※ 本商品を子機としてご使用になる場合（CONVERTER ランプが緑点灯している場合）は、P3-44 を参照してください。

●ルータモードの場合（☛P2-12）

本商品の ACTIVE ランプが緑点灯／緑点滅／消灯している場合は、ルータモードに設定されています。その場合は、こちらを参照してください。
動作モードが未設定の場合も、こちらを参照してください。

●ブリッジモードの場合（☛P2-13）

本商品の ACTIVE ランプが橙点灯している場合は、ブリッジモードに設定されています。その場合は、こちらを参照してください。

ルータモードの場合

本商品の ACTIVE ランプが緑点灯／緑点滅／消灯している場合は、次の手順で起動します。

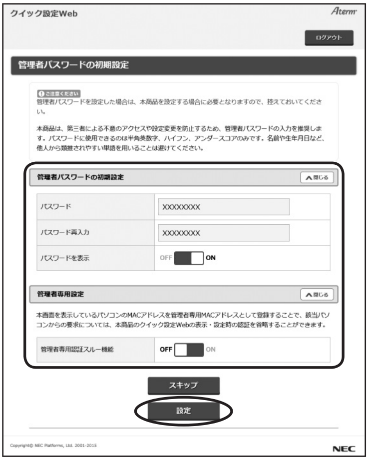
1 **パソコンなどを起動する**

2 **WWW ブラウザを起動し、アドレス欄に下記を入力して、設定画面を開く**

http://aterm.me/

※「aterm.me」を、本商品の IP アドレス（工場出荷状態では 192.168.10.1）に変更して起動することもできます。

3 **右の画面が表示された場合は、下記の手順で管理者パスワードを設定する**



※この画面は管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。

※管理者パスワードは、あとから設定することもできます。その場合は［スキップ］をクリックします。（セキュリティ向上のため、管理者パスワードは設定することをお勧めします。）

①画面にしたがって管理者パスワード（任意の文字列）を決めて、控えておく

管理者パスワード控え欄

●管理者パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。忘れた場合は、設定画面を開くことができず、本商品を初期化してすべての設定がやり直しになります。

②控えておいた管理者パスワードを画面に入力し、［設定］をクリックする

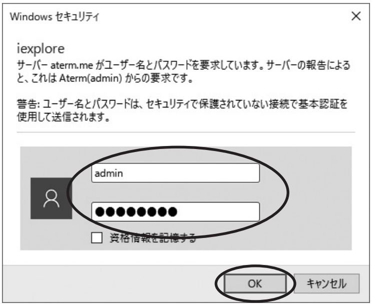
※「管理者専用設定」－「管理者専用認証スルー機能」を［ON］にして［設定］をクリックすると、この画面を表示している端末の MAC アドレスを管理者専用の MAC アドレスとして本商品に登録します。登録した端末では、クイック設定 Web 起動時にユーザ名・管理者パスワード入力を省略することができます。

4 **右の画面が表示された場合は、ユーザ名とパスワードを入力して［OK］をクリックする**

※「ユーザー名」（上段）に「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」（下段）には手順 3 で控えた管理者パスワードを入力してください。

※PPPoEルータモードの場合は、「PPPoEルータモードに設定する」の手順 3（☛P2-7）で設定した管理者パスワードを入力してください。

※パスワードを忘れてしまった場合は、本商品を初期化してください。（☛P7-5）



5 **クイック設定 Web が表示される**

ブリッジモードの場合

本商品の ACTIVE ランプが橙点灯している場合は、次の手順で起動します。

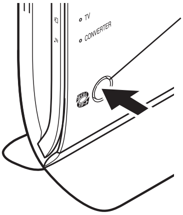
※ 本商品とパソコンを ETHERNET ケーブルで接続してから設定してください。

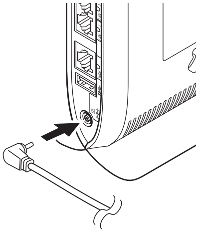
■ DHCP サーバ機能を起動する

1 **本商品から AC アダプタのプラグをいったん外し、約 10 秒待つ**

2 **本商品のらくらくスタートボタンを押しながら、AC アダプタのプラグを接続し、CONVERTER ランプが緑点滅したら、らくらくスタートボタンを放す**

本商品の DHCP サーバ機能が起動します。





■クイック設定 Web を起動する

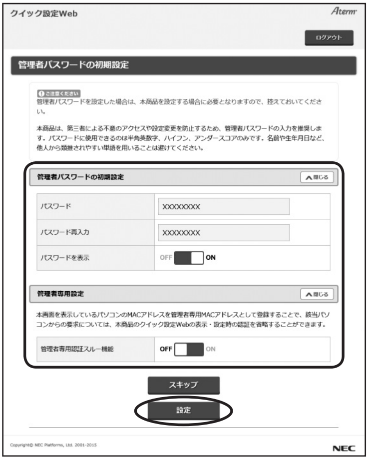
3 **パソコンなどを起動する**

（次ページに続く）

4 WWW ブラウザを起動し、アドレス欄に本商品の IP アドレスを入力して、設定画面を開く（工場出荷状態は 192.168.1.210 です。）

例：http://192.168.1.210/

5 右の画面が表示された場合は、下記の手順で管理者パスワードを設定する



※この画面は管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。

※管理者パスワードは、あとから設定することもできます。その場合は［スキップ］をクリックします。（セキュリティ向上のため、管理者パスワードは設定することをお勧めします。）

①画面にしたがって管理者パスワード（任意の文字列）を決めて、控えておく

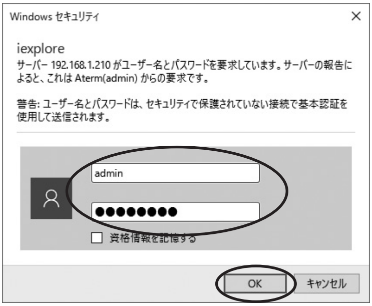
管理者パスワード控え欄

●管理者パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。忘れた場合は、設定画面を開くことができず、本商品を初期化してすべての設定がやり直しになります。

②控えておいた管理者パスワードを画面に入力し、［設定］をクリックする

※「管理者専用設定」－「管理者専用認証スルー機能」を［ON］にして［設定］をクリックすると、この画面を表示している端末の MAC アドレスを管理者専用の MAC アドレスとして本商品に登録します。登録した端末では、クイック設定 Web 起動時にユーザ名・管理者パスワード入力を省略することができます。

6 右の画面が表示された場合は、ユーザ名とパスワードを入力して［OK］をクリックする



※「ユーザー名」（上段）には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」（下段）には手順 5 で控えた本商品の管理者パスワードを入力してください。

※パスワードを忘れてしまった場合は、本商品を初期化し（☛P7-5）、本商品をブリッジモードに設定したあと（☛P2-8）、再度手順 1 からやり直してください。

7 クイック設定 Web が表示される

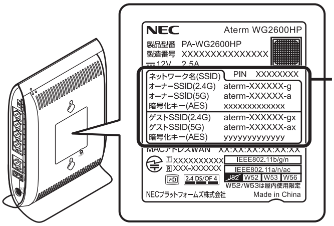
※設定が完了したら、ホーム画面の［詳細な項目を表示］－「メンテナンス」の［再起動］で本商品を再起動してください。DHCP サーバ機能を停止します。

3

Wi-Fi を設定する

Wi-Fi を設定する

この章では、本商品に Wi-Fi 接続する場合の設定について説明しています。
Wi-Fi 接続するには、親機の側面（裏）に記載されている Wi-Fi 設定内容〈ネットワーク名（SSID）、暗号化キー〉を、ご利用の子機に設定します。



親機

側面（裏）のラベルにある「ネットワーク名（SSID)」には、上段にオーナー SSID、下段にゲスト SSID の Wi-Fi 設定内容（2.4GHz･5GHz 別の SSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。なお、ゲスト SSID に接続するには、Wi-Fi 機能を有効に設定する必要があります。

［Wi-Fi 設定内容（初期値）］
「aterm-xxxxxx」は下記 SSID で共通の値となります。なお、下記の暗号化キー「xxx…」「yyy…」は装置ごとに違う値ですので、親機の側面（裏）をご確認ください。

ネットワーク名（SSID）			暗号化キー	暗号化
オーナー SSID	2.4GHz	aterm-xxxxxx-g	xxxxxxxxxxxxx	AES
	5GHz	aterm-xxxxxx-a		
ゲスト SSID	2.4GHz	aterm-xxxxxx-gx	yyyyyyyyyyyyy	AES
	5GHz	aterm-xxxxxx-ax		
WEP 専用 SSID	2.4GHz	aterm-xxxxxx-gw	zzzzzzzzzzzzz（※）	WEP（128bit）

（※）「WEP 専用 SSID」の暗号化キー「zzz…」は、クイック設定 Web にて確認することができます。設定の際は、P3-3 の WEP 専用 SSID の記載をご確認ください。

● **ネットワーク名（SSID）**
親機には 3 つのネットワーク「オーナー SSID」「ゲスト SSID」「WEP 専用 SSID」があります。通常は、「オーナー SSID」に接続してください。
詳しくは、「マルチ SSID について」（☛P3-3）を参照してください。
※ IEEE802.11b のみに対応している子機（ニンテンドー DS など）は、らくらく無線スタートで接続してください。（「WEP 専用 SSID」に接続されます。）

● **暗号化キー**
暗号化キーは、セキュリティ キー、パスフレーズ、ネットワークキー、パスワードとも呼ばれています。
初期値は、半角英数 13 桁（0 ～ 9、a ～ f を使用）に設定されています。
※ 暗号化キーで使用されているアルファベットは、工場出荷状態ではすべて小文字（abcdef）です。（「B」（ビー）、「G」（ジー）、「I」（アイ）、「l」（エル）、「O」「o」（オー）は使用していません。）

マルチ SSID について

親機には 3 つのネットワーク「オーナー SSID」「ゲスト SSID」「WEP 専用 SSID」があり、それぞれに異なるセキュリティの設定ができます。（ユーザーズマニュアル）
また、これらの SSID は同時に動作しているため、AES を利用可能な子機と、ニンテンドー DS など WEP のみが利用可能な子機が共存可能です。
通常は、「オーナー SSID」に接続してください。

● オーナー SSID

初期値：「aterm-xxxxxx-g」（2.4GHz モードの場合）
「aterm-xxxxxx-a」（5GHz モードの場合）
→親機の側面（裏）にある「ネットワーク名（SSID)」の上段に記載されています。

通常はこちらに接続してください。

・暗号化方式として TKIP/AES が利用可能。（初期値は AES）
・AES が設定されている場合、2.4GHz モードでは IEEE802.11n、5GHz モードでは IEEE802.11ac による高速通信が利用可能。

● ゲスト SSID

初期値：「aterm-xxxxxx-gx」（2.4GHz モードの場合）
「aterm-xxxxxx-ax」（5GHz モードの場合）
→親機の側面（裏）にある「ネットワーク名（SSID)」の下段に記載されています。

訪問者（ゲスト）の使用を一時的に許可する場合の SSID です。
ただし、使用するには設定が必要となります。

→ 初期値で、Wi-Fi 機能が無効に設定されています。接続する場合は、クイック設定 Web（ホーム画面）の「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「Wi-Fi 詳細設定」で Wi-Fi 機能を有効に設定する必要があります。（Wi-Fi 機能の有効時間を指定することもできます。）

・暗号化方式として TKIP/AES が利用可能。（初期値は AES）
・AES が設定されている場合、2.4GHz モードでは IEEE802.11n、5GHz モードでは IEEE802.11ac による高速通信が利用可能。

● WEP 専用 SSID

初期値：「aterm-xxxxxx-gw」（2.4GHz モードのみ）
→ゲスト SSID の末尾 2 桁を「gw」にしたものになります。

ご使用の子機の暗号化モードが WEP の場合（ニンテンドー DS など）に選択する SSID です。

通常は、IEEE802.11b のみに対応している子機（ニンテンドー DS など）から、らくらく無線スタートで接続してください。

・暗号化方式として WEP が利用可能。（128bitWEP 固定）

※ WEP 専用 SSID に手動で接続する場合は、事前に下記の設定と確認を行っておいてください。
・クイック設定 Web（ホーム画面）の「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「Wi-Fi 詳細設定（2.4GHz)」の「対象ネットワークを選択」で「WEP 専用 SSID」を選択して［選択］をクリックし、「Wi-Fi 機能」（初期値：「使用する（らくらく無線のみ可能)」）を「使用する」に変更する。
・上記と同じ画面で、暗号化キーを確認して控えておく。

※ 本商品の WEP の暗号化（セキュリティ）については、下記を参考にしてください。
・WEP は Open System 認証を使用しています。
・キーは自動的に提供されません。また、本商品のキーインデックスは「1」です。
・IEEE802.1X は使用していません。

・暗号化キーを 26 桁（16 進数）でしか指定できない子機の場合は、下表を参照して、英数字を 16 進数に読み替えてください。

読み替え方法：

英数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
16 進数	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	61	62	63	64	65	66

読み替え例：0123456789abc → 30313233343536373839616263

お知らせ

●らくらく無線スタート利用時には、工場出荷状態でオーナー SSID に接続されます。（ただし、ニンテンドー DS などの IEEE802.11b のみに対応している子機は WEP 専用 SSID に接続されます。）
らくらく無線スタート接続先をゲスト SSID にしたい場合は、クイック設定 Web（ホーム画面）の「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「Wi-Fi 基本設定」での設定が必要となります。

●ゲスト SSID と WEP 専用 SSID は、工場出荷状態でネットワーク分離機能が設定されているため、下記の制限があります。

・クイック設定 Web に接続できない。
・親機に有線で接続された端末に接続できない。
・親機に他のネットワーク名（SSID）で Wi-Fi 接続された端末に接続できない。
・USB カメラ、USB ストレージにアクセスできない。

なお、ゲスト SSID の場合は、制限を解除することができます。いったん有線で親機とパソコンを接続してクイック設定 Web を表示し、ホーム画面の「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－［Wi-Fi 詳細設定］の［対象ネットワークを選択］でゲスト SSID を選択して［選択］をクリックし、［Wi-Fi 機能設定］の［ネットワーク分離機能］を「OFF」にしてください。
（ユーザーズマニュアル）

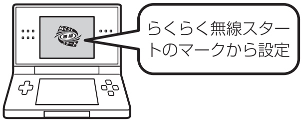
Wi-Fi 対応のゲーム機から接続する

本商品に Wi-Fi 対応のゲーム機を接続することができます。

●らくらく無線スタートでの設定

らくらく無線スタートに対応したゲーム機の場合は、らくらく無線スタートで簡単に Wi-Fi 接続設定ができます。

＜らくらく無線スタートで設定できるゲーム機の例＞



※図は一例です。

・Wii、Wii U
・ニンテンドー DS（ニンテンドー DS Lite 含む）
・ニンテンドー DSi（ニンテンドー DSi LL 含む）
・ニンテンドー 3DS（ニンテンドー 3DS LL 含む）
・「プレイステーション 3」
・「プレイステーション 4」
・PSP® 「プレイステーション・ポータブル」
・PlayStation®Vita

設定方法はゲーム機の取扱説明書などやゲーム機の接続設定内にある マークから設定してください。

なお、サポートデスクにて、らくらく無線スタート対応機種の最新情報を確認することができます。

●手動設定

らくらく無線スタートに対応していないゲーム機は、手動で設定します。

親機の側面（裏）に記載されている Wi-Fi 設定内容をゲーム機側に設定してください。

設定方法については、各ゲーム機の取扱説明書などを参照してください。

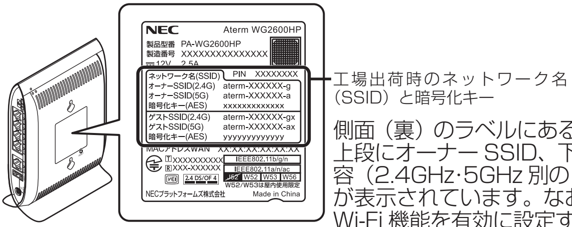
＜ Wi-Fi 接続できるゲーム機の例＞

・Xbox 360 など

ゲーム機の取扱説明書などにしたがって Wi-Fi 機能を有効にしたら、接続したい親機のネットワーク名（SSID）を選択して接続し、親機の暗号化キーを入力してください。

※設定の際に画面に出てくる「セキュリティ キー」、「パスフレーズ」、「ネットワークキー」、「パスワード」とは、暗号化キーのことです。

※ WEP にのみ対応しているゲーム機の場合は、P3-3 を参照して、WEP 専用 SSID に手動で接続してください。

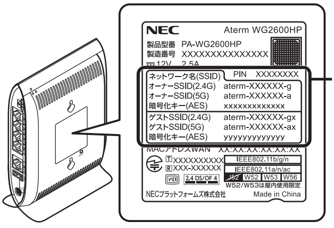


親機

側面（裏）のラベルにある「ネットワーク名（SSID）」には、上段にオーナー SSID、下段にゲスト SSID の Wi-Fi 設定内容（2.4GHz·5GHz 別の SSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。なお、ゲスト SSID に接続するには、Wi-Fi 機能を有効に設定する必要があります。

iPad/iPhone/iPod touch から接続する

本商品に iPad/iPhone/iPod touch を Wi-Fi 接続することができます。
親機の側面（裏）に記載されている Wi-Fi 設定内容を iPad/iPhone/iPod touch 側に設定してください。
設定方法については、iPad/iPhone/iPod touch の取扱説明書などを参照してください。



側面（裏）のラベルにある「ネットワーク名（SSID）」には、上段にオーナー SSID、下段にゲスト SSID の Wi-Fi 設定内容（2.4GHz・5GHz 別の SSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。なお、ゲスト SSID に接続するには、Wi-Fi 機能を有効に設定する必要があります。

下記は設定方法の概要です。

1. **親機の側面（裏）に記載されているネットワーク名（SSID）と暗号化キーをあらかじめ控えておく**
   暗号化キーを変更している場合は、変更後の暗号化キーになります。
2. **ホーム画面の［設定］アイコンをタップする**
3. **設定メニューの「Wi-Fi」をタップする**
4. **「Wi-Fi」がオフになっている場合は、オンにする**
5. **ネットワークの一覧が表示されるので、手順 1 で確認したネットワーク名（SSID）をタップする**
6. **「パスワード」に手順 1 で確認した暗号化キーを入力し、［Join］ボタンをタップする**
   本商品の暗号化キーの初期値は小文字です。数字を入力するときは、［.?123］ボタンをタップすると、数字のキーボードに切り替わります。
7. **設定が完了し、画面上部のステータスバーに Wi-Fi アイコンが表示される**
   例

お知らせ

●親機で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を設定している場合は、手順 5 で「その他」を選択してネットワーク名（SSID）を直接入力し、「セキュリティ」をタップします。「その他」をタップしたあと、手順 6 へ進みます。
ネットワークの一覧から選択していったん接続が完了したあとに、親機で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を有効にすると、iPad/iPhone/iPod touch を次に起動した際に接続できなくなりますのでご注意ください。その場合は、「その他」からネットワーク名（SSID）を直接入力して再度設定を行ってください。

●親機で「MAC アドレスフィルタリング」を設定している場合は、いったん解除してから接続してください。
接続が完了したあとに、iPad/iPhone/iPod touch の MAC アドレスを登録して有効にしてください。

●設定手順は、iPad/iPhone/iPod touch の OS バージョンにより変更される場合があります。

スマートフォン／タブレット端末から接続する

スマートフォンやタブレット端末の場合、Aterm らくらく「かざして」スタート、Aterm らくらく QR スタートをご利用いただくと、設定用の NFC タグや QR コードを読み取るだけで、本商品へ簡単に Wi-Fi 接続することができます。

設定用の NFC タグや QR コードは、本商品に添付の「Wi-Fi 設定カード」に表示されています。なお、クイック設定 Web の QR コード表示機能で表示した設定用 QR コードを使用することもできます。

らくらく「かざして」スタートで Wi-Fi 接続する

本商品に添付の「Wi-Fi 設定カード」にあるらくらく「かざして」スタート用 NFC タグを読み取って Wi-Fi 接続します。本商品の Wi-Fi 設定内容を工場出荷状態のままご利用の場合で、NFC 機能に対応している端末をご利用の場合は、こちらをご利用ください。

※「Wi-Fi 設定カード」には、本商品の初期値の Wi-Fi 設定内容〈ネットワーク名（SSID）、暗号化モード、暗号化キー〉が含まれています。

Wi-Fi 接続手順は、「つなぎかたガイド」を参照してください。

お知らせ

- Aterm らくらく「かざして」スタートで Wi-Fi 接続する際、WPS（NFC）方式に準拠したアプリがすでにインストールされているスマートフォン／タブレット端末をご利用の場合は、らくらく「かざして」スタート用 NFC タグにかざすだけで Wi-Fi 設定が完了する場合があります。
- Aterm らくらく「かざして」スタートは、インターネット接続（LTE 通信や 3G 通信など）機能および NFC 機能に対応しているスマートフォン／タブレット端末でご利用いただけます。利用可能な端末の最新情報は、Aterm らくらく「かざして」スタートの Web サイト（ http://nfc.setup.aterm.jp ）でご確認ください。 なお、本アプリは無料です。ただしインターネット接続（LTE 通信や 3G 通信など）のパケット通信料はお客様ご負担となります。

らくらく QR スタートで Wi-Fi 接続する

らくらく QR スタート用 QR コードを使用して Wi-Fi 接続する

本商品に添付の「Wi-Fi 設定カード」の設定用 QR コードを読み取って Wi-Fi 接続します。
本商品の Wi-Fi 設定内容を工場出荷状態のままご利用の場合は、こちらをご利用ください。

※「Wi-Fi 設定カード」には、本商品の初期値の Wi-Fi 設定内容〈ネットワーク名（SSID）、暗号化モード、暗号化キー〉が含まれています。

Wi-Fi 接続手順は、「つなぎかたガイド」または「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

QR コード表示機能を使用して Wi-Fi 接続する

クイック設定 Web から表示した設定用 QR コードを読み取って Wi-Fi 接続します。
クイック設定 Web で Wi-Fi 設定内容を変更した場合も、変更した内容の設定用 QR コードを表示できます。
次の手順で、設定用 QR コードを表示し、スマートフォン／タブレット端末から Wi-Fi 接続してください。

■設定用 QR コードを表示する

1 設定用 QR コードを表示したいパソコンで、クイック設定 Web を起動する（☛P2-11）

※パソコンは、本商品に接続してインターネット通信ができている状態でご使用ください。

2 画面左のメニューにある［設定用 QR コード］をクリックする

設定用 QR コードを作成する Web サイトにリンクします。

3 画面にしたがって、設定用 QR コードを作成・表示する

3
Wi-Fiを設定する

■スマートフォン／タブレット端末から Wi-Fi 接続する

4 スマートフォン／タブレット端末で、Aterm らくらく QR スタートを起動する

※Aterm らくらく QR スタートは、
右記 URL からインストールしてください。　http://qr.aterm.jp
※起動後、しばらくすると、カメラビューが表示されます。

5 カメラビューで、手順 3 で表示された設定用 QR コードを読み取る

※カメラビュー内の読み取り範囲内に設定用 QR コードを表示させてください。
自動的に設定用 QR コードを読み取ります。

6 Wi-Fi 設定内容が表示されたら、［設定適用］をタップする

※本商品とご利用の端末両方が 2.4GHz/5GHz に対応している場合は、優先的に 5GHz に接続します。5GHz を利用できない場合は、2.4GHz に接続します。

以上で Wi-Fi 接続の設定は終了です。
（iOS 端末の場合は、以降画面にしたがって設定を進めてください。）

なお、詳細は、Aterm らくらく QR スタートの Web サイト（ http://qr.aterm.jp ）を参照してください。

お知らせ

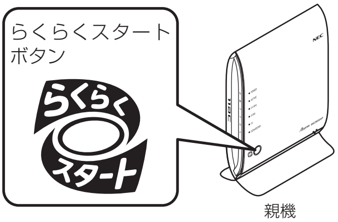
● Aterm らくらく QR スタートは、インターネット接続（LTE 通信や 3G 通信など）機能およびカメラ機能に対応しているスマートフォン／タブレット端末でご利用いただけます。利用可能な端末の最新情報は、Aterm らくらく QR スタートの Web サイト（上記）でご確認ください。なお、本アプリは無料です。ただしインターネット接続（LTE 通信や 3G 通信など）のパケット通信料はお客様ご負担となります。

パソコンなどから Wi-Fi を簡単に設定する

らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX を使用して Wi-Fi 設定する

らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX とは、親機にあるらくらくスタートボタンの操作で、Wi-Fi の接続設定（SSID・暗号化キーなどの設定）を簡単に行える機能です。

親機に Wi-Fi セキュリティ機能の MAC アドレスフィルタリング、ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）が設定されている場合においても設定が可能です。



本商品は、らくらく無線スタートに対応した Aterm シリーズの子機（※ 1）や、無線 LAN 内蔵パソコン（※ 2）からのらくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX による接続設定に対応しています。
設定方法は、子機に添付の取扱説明書などを参照してください。

（※ 1）WL900U、WL450NU-AG、WL300NU-GS、WL300NU-AG、WL300NE-AG、子機 WG1800HP2/ 子機 WF1200HP/ 子機 WG1800HP/ 子機 WG1400HP/ 子機 WR9500N で対応。（2015 年 9 月現在）
らくらく無線スタートに対応した Aterm シリーズの子機についての最新情報は、サポートデスクー［目的別で探す］－「動作検証情報」でご確認ください。なお、対応 OS は各製品情報ページの仕様を参照してください。
（※）Wi-Fi 子機（CONVERTER）モードでご使用ください。

（※ 2）らくらく無線スタート EX は、Windows 10/8.1/8/7 または Windows Vista、Mac OS X v10.6 および OS X v10.9/v10.8/v10.7 の日本語版かつ Intel 製 CPU 搭載のパソコンに対応。
かつ各 OS のワイヤレスネットワーク接続で Wi-Fi 設定ができる環境に限られます。

お知らせ

●らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX は、サポートデスクー［目的別で探す］－［ソフトウェア］でダウンロードすることができます。

WPS 機能を使用して Wi-Fi 設定する

親機は、WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応した Wi-Fi の自動設定を行うことができます。
設定するには、子機も WPS に対応している必要があります。

※ WPS とは、Wi-Fi Alliance が策定した Wi-Fi の接続設定を簡単に行うための規格です。
※ 本機能では､わかりやすくするために「らくらくスタートボタン」を「らくらくスタートボタン（WPS プッシュボタン)」と呼びます。

設定には、以下の方法があります。

- **らくらくスタートボタン（WPS プッシュボタン）による設定（☛P3-13）**
- **PIN 方式による設定（ユーザーズマニュアル）**
  WPS の PIN 方式で AP Enrollee/AP Registrar をお使いの場合に、こちらの設定をご利用ください。
  通常は、上記のらくらくスタートボタン（WPS プッシュボタン）による設定をご利用ください。

  ＜親機の Wi-Fi 設定内容を子機に設定する場合＞
  クイック設定 Web（ホーム画面）の［詳細な項目を表示］－「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「WPS 設定」にて、子機の PIN コードを入力します。
  ※ 子機の PIN コードは、子機に添付の取扱説明書などを参照してください。
  ※ 親機の操作方法は、「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

  ＜子機の Wi-Fi 設定内容を親機に設定する場合＞
  クイック設定 Web（ホーム画面）の［詳細な項目を表示］－「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「WPS 設定」にて「WPS の状態」を「Unconfigured」に設定してから、子機の WPS 機能を起動し、親機の PIN コードを入力します。
  ただし、この方法だと、親機の Wi-Fi 設定内容が変更になるため、他の子機の Wi-Fi 接続はすべて外れてしまいます。接続が外れた子機は、他の方法を使って Wi-Fi 接続し直してください。
  ※ 親機の PIN コード（初期値）は、親機の側面（裏）に記載されています。
  ※ 子機の操作方法は、子機に添付の取扱説明書などを参照してください。
  ※ 親機の操作方法は、「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

お知らせ

- 親機で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽)」が「ON」になっていると、WPS 機能での設定に失敗します。親機の設定を確認してください。
- WPS 機能での設定中は他の Wi-Fi 接続はいったん切断されることがあります。
- 親機では、WPS 機能での設定の際、2.4GHz または 5GHz のどちらにも接続することができます。

らくらくスタートボタン（WPS プッシュボタン）による設定

親機の側面（表）にあるらくらくスタートボタン（WPS プッシュボタン）を押すことで、WPS 機能を起動させることができます。設定方法は下記のとおりです。
※設定の際は、親機と子機は近くに置いた状態で設定してください。（目安：1m 程度）

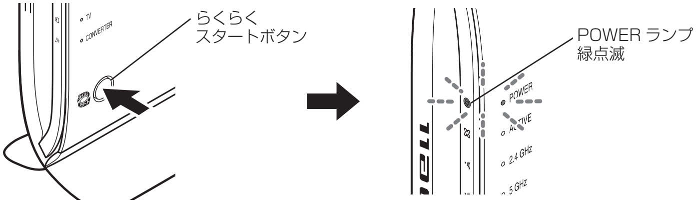
お知らせ

- 親機で「MAC アドレスフィルタリング」が「ON」になっている場合、子機の MAC アドレスが登録されていないと、子機によっては WPS 機能で設定できません。親機の設定内容を確認してください。
- 親機で「WPS 設定」の「PIN 方式」を「OFF」に設定している場合、Windows 10/8.1/8/7、Windows Vista でこの設定を行う際は、必ず、先に親機のらくらくスタートボタン（WPS プッシュボタン）を押してから、Windows 上に表示されるネットワーク名（SSID）を選択してください。

1 子機の WPS 機能を起動する

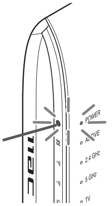
※起動方法は、子機に添付の取扱説明書などを参照してください。

2 親機の側面（表）のらくらくスタートボタン（WPS プッシュボタン）を長押しし、POWER ランプが緑点滅したら放す



3 親機の POWER ランプが橙点灯することを確認する

※ POWER ランプは約 10 秒間橙点灯したあと、緑点灯に戻ります。



失敗した場合は、POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅します。
再度手順 1 からやり直しても失敗する場合は、子機の取扱説明書などを参照して、親機のネットワーク名（SSID）と暗号化キーを設定してください。
※ 親機のネットワーク名（SSID）と暗号化キーは、親機の側面（裏）を参照してください。

Windows 10/8.1/8/7 および Windows Vista を「ワイヤレスネットワーク接続」で手動で設定する

無線 LAN 内蔵パソコンが Windows 10/8.1/8/7 および Windows Vista の場合は、内蔵されている「ワイヤレスネットワーク接続」で Wi-Fi 設定を行うことができます。

無線 LAN 内蔵パソコンの取扱説明書などにしたがって無線（ワイヤレス）機能を有効にし、次の手順で設定してください。

① 設定する

「ワイヤレスネットワーク接続」の接続画面で親機のネットワーク名（SSID）を選択して接続し、キー・パスワードに親機の暗号化キー（大文字、小文字そのまま）を入力してください。設定手順は下記を参照してください。

- Windows 10 の場合（☛P3-15）
- Windows 8.1 の場合（☛P3-19）
- Windows 8 の場合（☛P3-23）
- Windows 7 の場合（☛P3-29）
- Windows Vista の場合（☛P3-35）

② 親機との通信状態を確認する（☛P3-40）

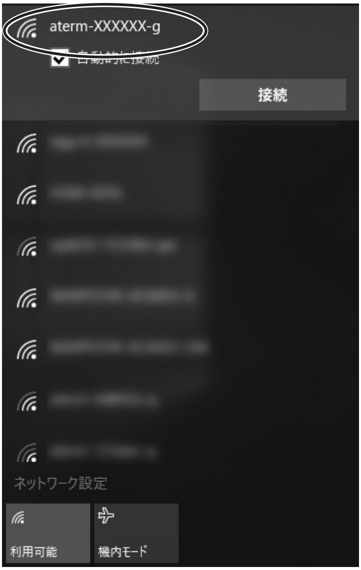
Windows 10の場合

無線LAN内蔵パソコンの無線（ワイヤレス）機能を有効にしてから、下記の手順で設定してください。

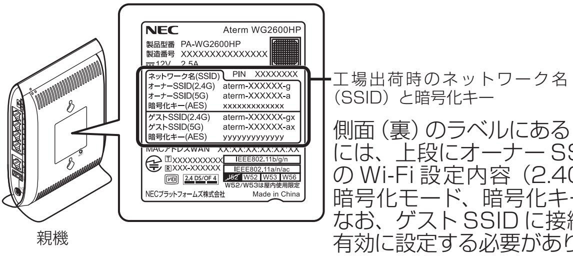
接続先をネットワーク一覧から選択して設定する場合

1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックする

2 接続する親機のネットワーク名（SSID）をクリックする



※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、親機の側面（裏）に記載されています。



側面（裏）のラベルにある「ネットワーク名（SSID）」には、上段にオーナーSSID、下段にゲストSSIDのWi-Fi設定内容（2.4GHz・5GHz別のSSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。なお、ゲストSSIDに接続するには、Wi-Fi機能を有効に設定する必要があります。

※接続する親機のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、「接続先を手動で設定する場合」（☛P3-17）へ進みます。

（次ページに続く）

3　［接続］をクリックする

※接続に失敗した場合は、［閉じる］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

① 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックする

②「ネットワーク設定」をクリックする

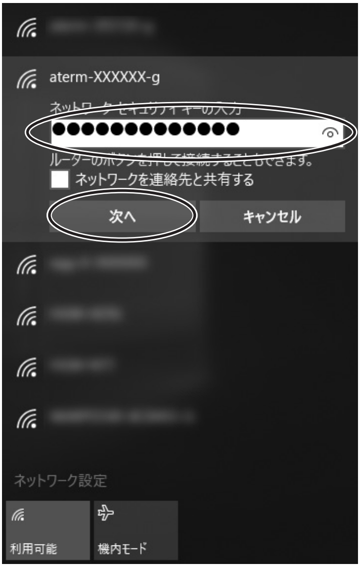
③「Wi-Fi 設定を管理する」をクリックする

④「既知のネットワークの管理」で、接続するネットワーク名（SSID）をクリックし、［削除］をクリックする

上記の手順が完了したら、手順1（☛P3-15）から接続し直してください。

4　右の画面が表示された場合は、親機の暗号化キーを入力して、［次へ］をクリックする

※工場出荷時の暗号化キーは、親機の側面（裏）に記載されています。（☛P3-15）

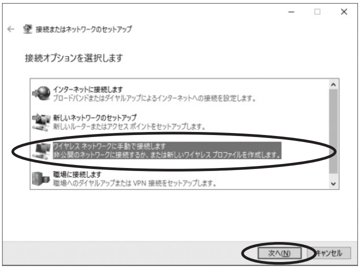


親機との通信状態は、「親機との通信状態を確認するには」（☛P3-40）で確認してください。

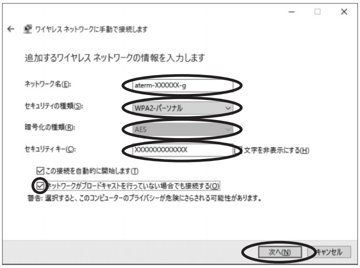
接続先を手動で設定する場合

1 **通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンを右クリックし、［ネットワークと共有センターを開く］－［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする**

2 **［ワイヤレスネットワークに手動で接続します］を選択し、［次へ］をクリックする**



3 **表示される画面に合わせて設定を行う**



※工場出荷時のネットワーク名（SSID）と暗号化キーは、親機の側面（裏）に記載されています。（☛P3-15）

①［ネットワーク名］で親機のネットワーク名（SSID）を入力する

②［セキュリティの種類］で［WPA2-パーソナル］を選択する

③［暗号化の種類］で［AES］と表示される

④［セキュリティ キー］に親機の暗号化キーを入力する

※暗号化キーは半角で、8～63桁の英数記号または、64桁の16進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次のとおりです。

【8～63桁の場合】英数記号（0～9、a～z、A～Z、下記の記号）

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>”</td><td>&</td><td>*</td><td>.</td><td><</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>#</td><td>’</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>]</td><td>{</td><td></td></tr>
</table>

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

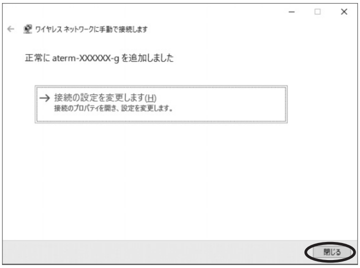
【64桁の場合】16進数（0～9、a～f、A～F）

⑤親機でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を設定している場合は、［ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する］にチェックを入れる

⑥［次へ］をクリックする

（次ページに続く）

4 ［閉じる］をクリックする



以上で親機との Wi-Fi 設定は完了です。

親機との通信状態は、「親機との通信状態を確認するには」(☛P3-40)で確認してください。

Windows 8.1 の場合

無線 LAN 内蔵パソコンの無線（ワイヤレス）機能を有効にしてから、下記の手順で設定してください。

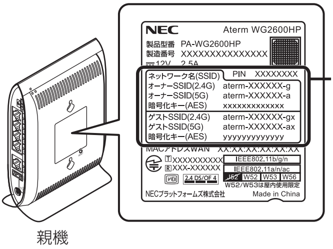
接続先をネットワーク一覧から選択して設定する場合

1 ［スタート］画面で［デスクトップ］を選択する

2 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックする

3 接続する親機のネットワーク名（SSID）をクリックする

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、親機の側面（裏）に記載されています。



側面（裏）のラベルにある「ネットワーク名（SSID）」には、上段にオーナー SSID、下段にゲスト SSID の Wi-Fi 設定内容（2.4GHz・5GHz 別の SSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。なお、ゲスト SSID に接続するには、Wi-Fi 機能を有効に設定する必要があります。

※接続する親機のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、「接続先を手動で設定する場合」（☛P3-21）へ進みます。

（次ページに続く）

4 ［接続］をクリックする

上の画面が表示された場合は、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除する必要があります。［ネットワークの削除］をクリックしてください。その後、手順３から接続し直してください。

5 右の画面が表示された場合は、親機の暗号化キーを入力して、［次へ］をクリックする

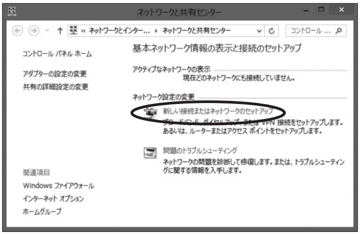
※工場出荷時の暗号化キーは、親機の側面（裏）に記載されています。（☛P3-19）

上の画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてください。

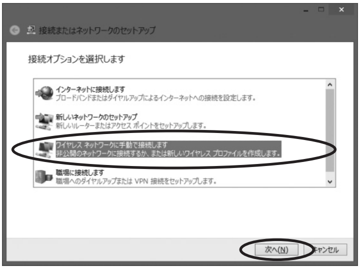
親機との通信状態は、「親機との通信状態を確認するには」（☛P3-40）で確認してください。

接続先を手動で設定する場合

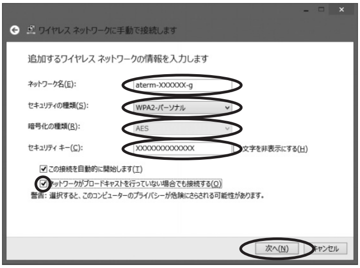
1 **通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンを右クリックし、[ネットワークと共有センターを開く] − [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする**



2 **[ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする**



3 **表示される画面に合わせて設定を行う**



※工場出荷時のネットワーク名（SSID）と暗号化キーは、親機の側面（裏）に記載されています。（☛P3-19）

①[ネットワーク名] で親機のネットワーク名（SSID）を入力する
②[セキュリティの種類] で [WPA2- パーソナル] を選択する
③[暗号化の種類] で [AES] と表示される
④[セキュリティ キー] に親機の暗号化キーを入力する
※暗号化キーは半角で、8 ～ 63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。
※暗号化キーに使用できる文字は次のとおりです。
【8 ～ 63 桁の場合】英数記号（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、下記の記号）

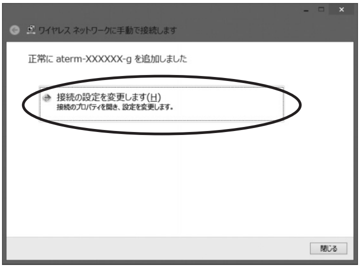
!	%	)	-	;	@	^	|
”	&	*	.	<	[	_	}
#	’	+	/	=	\	`	~
$	(	,	:	>	]	{	

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】16 進数（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）
⑤親機で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] にチェックを入れる
⑥[次へ] をクリックする

（次ページに続く）

4 ［接続の設定を変更します］をクリックする



5 ［セキュリティ］タブをクリックして設定内容を確認する

※［パスワードの文字を表示する］にチェックを入れると、パスワードが確認できます。

6 ［OK］をクリックする

7 ［閉じる］をクリックする

以上で親機との Wi-Fi 設定は完了です。

親機との通信状態は､｢親機との通信状態を確認するには｣(☛P3-40)で確認してください。

Windows 8 の場合

無線 LAN 内蔵パソコンの無線（ワイヤレス）機能を有効にしてから、下記の手順で設定してください。

接続先をネットワーク一覧から選択して設定する場合

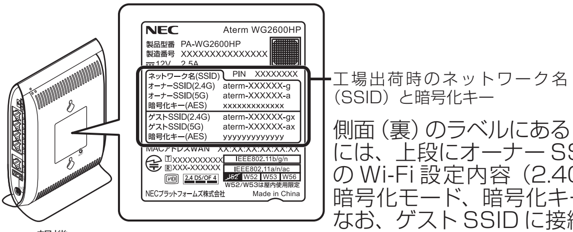
1 ［スタート］画面で［デスクトップ］を選択する

2 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックする

3 接続する親機のネットワーク名（SSID）にカーソルを合わせ、セキュリティについての表示を確認する

- セキュリティが設定されている場合（「WPA-PSK」など）
  →<u>＜親機に暗号化が設定されている場合＞</u>（☛P3-24）へ
- 「セキュリティで保護されていない」と表示されている場合
  →<u>＜親機に暗号化が設定されていない場合＞</u>（☛P3-25）へ

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、親機の側面（裏）に記載されています。



側面（裏）のラベルにある「ネットワーク名（SSID）」には、上段にオーナー SSID、下段にゲスト SSID の Wi-Fi 設定内容（2.4GHz・5GHz 別の SSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。なお、ゲスト SSID に接続するには、Wi-Fi 機能を有効に設定する必要があります。

※接続する親機のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、「接続先を手動で設定する場合」（☛P3-26）へ進みます。

（次ページに続く）

<親機に暗号化が設定されている場合>

4 接続する親機のネットワーク名（SSID）をクリックする

5 [接続] をクリックする

※接続に失敗した場合は、[キャンセル] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

① 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックする

② 接続するネットワーク名（SSID）を右クリックして［この接続を削除する］をクリックする

上記の手順が完了したら、手順1（☛P3-23）から接続し直してください。

6 親機の暗号化キーを入力して、[次へ] をクリックする

※ PC の共有についての選択画面が表示された場合は、「はい、共有をオンにしてデバイスに接続します」をクリックしてください。

※工場出荷時の暗号化キーは、親機の側面（裏）に記載されています。（☛P3-23）

➡ 親機との通信状態は、「親機との通信状態を確認するには」（☛P3-40）で確認してください。

＜親機に暗号化が設定されていない場合＞

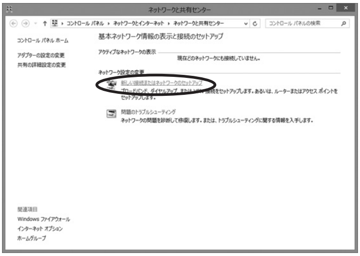
4 接続する親機のネットワーク名（SSID）をクリックする

5 ［接続］をクリックする

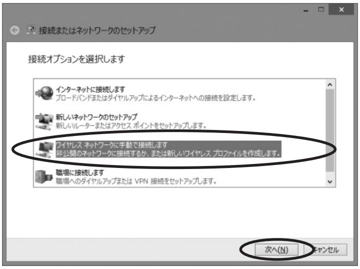
➡ 親機との通信状態は、「親機との通信状態を確認するには」(☛P3-40)で確認してください。

接続先を手動で設定する場合

1 **通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンを右クリックし、[ネットワークと共有センターを開く] − [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする**



2 **[ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする**



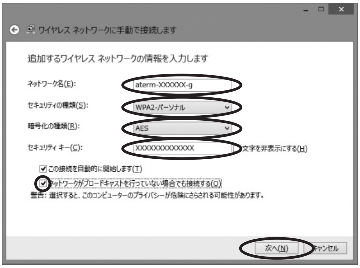
3 **表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う**

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）と暗号化キーは、親機の側面（裏）に記載されています。（☛P3-23）

①[ネットワーク名] で親機のネットワーク名（SSID）を入力する

②[セキュリティの種類] で [WPA- パーソナル] または [WPA2- パーソナル] を選択する

③[暗号化の種類] で [TKIP] または [AES] を選択する



④[セキュリティ キー] に親機の暗号化キーを入力する

※暗号化キーは半角で、8 〜 63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次のとおりです。

【8 〜 63 桁の場合】英数記号（0 〜 9、a 〜 z、A 〜 Z、下記の記号）

!	%	)	-	;	@	^		
”	&	*	.	<	[	_	}
#	’	+	/	=	\	`	~
$	(	,	:	>	]	{	

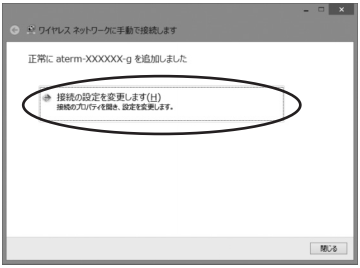
※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

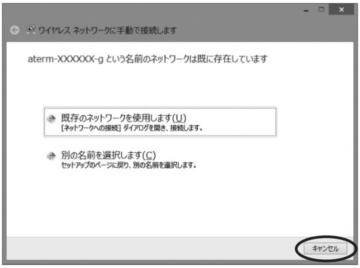
【64 桁の場合】16 進数（0 〜 9、a 〜 f、A 〜 F）

⑤親機で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] にチェックを入れる

⑥[次へ] をクリックする

4 ［接続の設定を変更します］をクリックする





上の画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

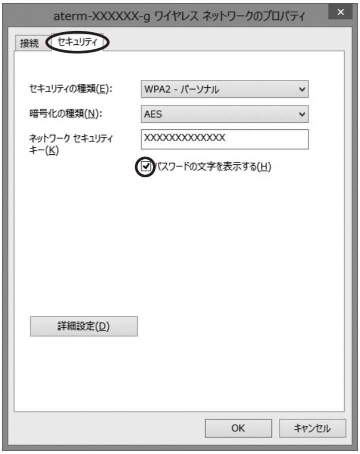
①通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックする

②接続するネットワーク名（SSID）を右クリックして［この接続を削除する］をクリックする

上記の手順が完了したら、P3-26の手順1から接続し直してください。

5 ［セキュリティ］タブをクリックして設定内容を確認する

※［パスワードの文字を表示する］にチェックを入れると、パスワードが確認できます。



6 ［OK］をクリックする

（次ページに続く）

7 ［閉じる］をクリックする

以上で親機との Wi-Fi 設定は完了です。

親機との通信状態は、「親機との通信状態を確認するには」（☛P3-40）で確認してください。

Windows 7 の場合

無線 LAN 内蔵パソコンの無線（ワイヤレス）機能を有効にしてから、下記の手順で設定してください。

接続先をネットワーク一覧から選択して設定する場合

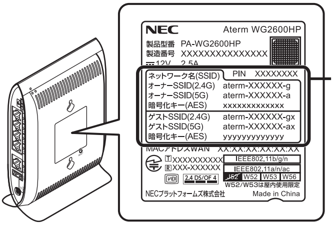
1 **通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックする**

※［スタート］（Windows のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

2 **接続する親機のネットワーク名（SSID）にカーソルを合わせ、「セキュリティの種類」の表示を確認する**

- セキュリティが設定されている場合（「WPA-PSK」など）
  →<u>＜親機に暗号化が設定されている場合＞</u>（☛P3-30）へ
- 「セキュリティの設定が無効」と表示されている場合
  →<u>＜親機に暗号化が設定されていない場合＞</u>（☛P3-31）へ

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、親機の側面（裏）に記載されています。



側面（裏）のラベルにある「ネットワーク名（SSID）」には、上段にオーナー SSID、下段にゲスト SSID の Wi-Fi 設定内容（2.4GHz・5GHz 別の SSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。なお、ゲスト SSID に接続するには、Wi-Fi 機能を有効に設定する必要があります。

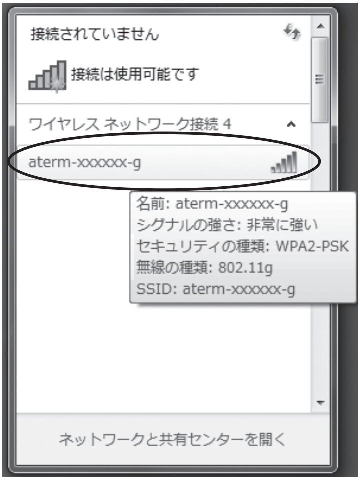
※接続する親機のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、［ネットワークと共有センターを開く］－［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックして「接続先を手動で設定する場合」（☛P3-32）の手順 2 へ進みます。

3

Wi-Fiを設定する

<親機に暗号化が設定されている場合>

3 接続する親機のネットワーク名（SSID）をクリックする



4 ［接続］をクリックする

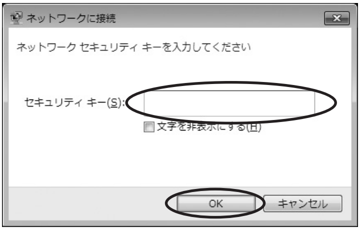
※接続に失敗した場合は、［閉じる］または［キャンセル］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

① ［ネットワークと共有センターを開く］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする
② 接続するネットワーク名（SSID）を選択して右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする
③ ［はい］をクリックする
④ ［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順1（☛P3-29）から接続し直してください。

5 親機の暗号化キーを入力して、［OK］をクリックする

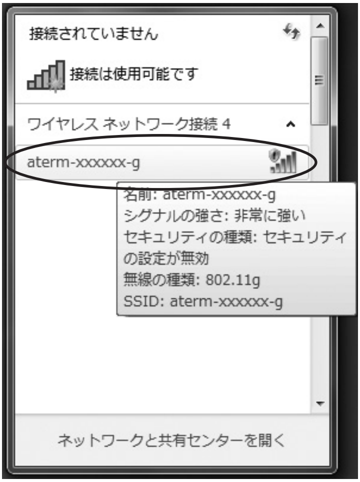
※工場出荷時の暗号化キーは、親機の側面（裏）に記載されています。（☛P3-29）



➡ 親機との通信状態は、「親機との通信状態を確認するには」（☛P3-40）で確認してください。

＜親機に暗号化が設定されていない場合＞

3 接続する親機のネットワーク名（SSID）をクリックする



4 ［接続］をクリックする

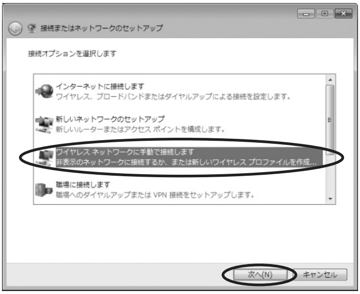
親機との通信状態は、「親機との通信状態を確認するには」（☛P3-40）で確認してください。

接続先を手動で設定する場合

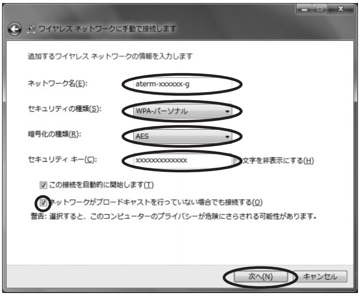
1 **通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックし、[ネットワークと共有センターを開く] －［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする**

※［スタート］（Windows のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする方法もあります。

2 **［ワイヤレスネットワークに手動で接続します］を選択し、[次へ］をクリックする**



3 **表示される画面に合わせて設定を行う**



※工場出荷時のネットワーク名（SSID）と暗号化キーは、親機の側面（裏）に記載されています。（☛P3-29）

①［ネットワーク名］で親機のネットワーク名（SSID）を入力する

②［セキュリティの種類］で［WPA- パーソナル］または［WPA2- パーソナル］を選択する

③［暗号化の種類］で［TKIP］または［AES］を選択する

④［セキュリティ キー］に親機の暗号化キーを入力する

※暗号化キーは半角で、8 ～ 63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次のとおりです。

【8 ～ 63 桁の場合】英数記号（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、下記の記号）

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>"</td><td>&</td><td>*</td><td>.</td><td><</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>#</td><td>'</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>]</td><td>{</td><td></td></tr>
</table>

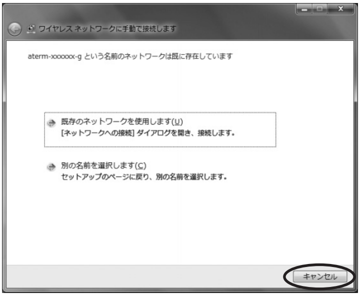
※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】16 進数（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）

⑤親機で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する］にチェックを入れる

⑥［次へ］をクリックする

4 ［接続の設定を変更します］をクリックする



上の画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

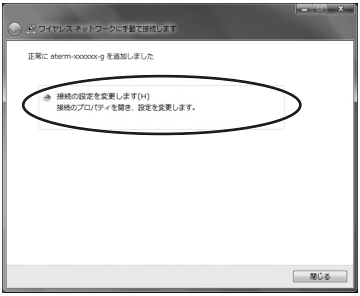
①［ネットワークと共有センターを開く］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする

②接続するネットワーク名（SSID）をクリックして右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする

③［はい］をクリックする

④［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、P3-32の手順1から接続し直してください。



5 ［セキュリティ］タブをクリックして設定内容を確認する

※［パスワードの文字を表示する］にチェックを入れると、パスワードが確認できます。

6 ［OK］をクリックする

（次ページに続く）

7 ［閉じる］をクリックする

以上で親機との Wi-Fi 設定は完了です。

親機との通信状態は、「親機との通信状態を確認するには」（☛P3-40）で確認してください。

Windows Vista の場合

無線 LAN 内蔵パソコンの無線（ワイヤレス）機能を有効にしてから、下記の手順で設定してください。

接続先をネットワーク一覧から選択して設定する場合

1 **［スタート］（Windows のロゴボタン）ー［ネットワーク］ー［ネットワークと共有センター］ー［ネットワークに接続］をクリックする**

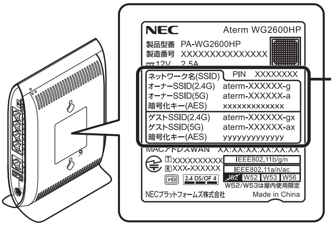
※通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンを右クリックして［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

2 **接続する親機のネットワーク名（SSID）をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する**

・「セキュリティの設定が有効なネットワーク」と表示されている場合
→<u>＜親機に暗号化が設定されている場合＞</u>（☛P3-36）へ

・「セキュリティの設定が有効でないネットワーク」と表示されている場合
→<u>＜親機に暗号化が設定されていない場合＞</u>（☛P3-37）へ

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、親機の側面（裏）に記載されています。



側面（裏）のラベルにある「ネットワーク名（SSID）」には、上段にオーナー SSID、下段にゲスト SSID の Wi-Fi 設定内容（2.4GHz・5GHz 別の SSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。なお、ゲスト SSID に接続するには、Wi-Fi 機能を有効に設定する必要があります。

※接続する親機のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、［接続またはネットワークをセットアップします］をクリックして「接続先を手動で設定する場合」（☛P3-38）の手順 2 へ進みます。

＜親機に暗号化が設定されている場合＞

3

［接続］をクリックする

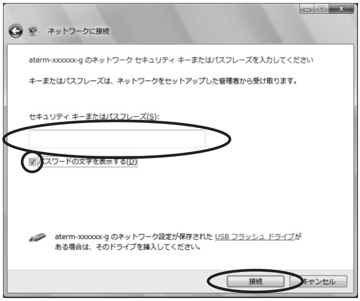
※接続に失敗した場合は、［閉じる］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

① ［ネットワークと共有センター］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする
② 接続するネットワーク名（SSID）を選択して右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする
③ ［OK］をクリックする
④ ［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順1（☛P3-35）から接続し直してください。

4

親機の暗号化キーを入力して、［接続］をクリックする



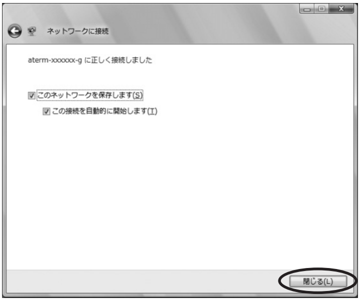
※「パスワードの文字を表示する」にチェックを入れると、入力文字が表示できます。
※工場出荷時の暗号化キーは、親機の側面（裏）に記載されています。（☛P3-35）

!

「アクセスポイントの構成ボタンを押してください」と表示された場合は、画面内の「代わりに、ネットワークキーまたはパスフレーズを入力する必要があります」をクリックしてください。

5

［閉じる］をクリックする

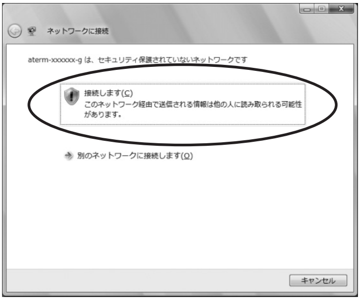


親機との通信状態は、「親機との通信状態を確認するには」（☛P3-40）で確認してください。

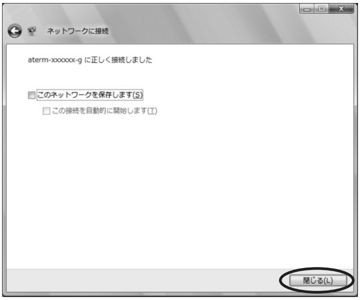
＜親機に暗号化が設定されていない場合＞

3 ［接続］をクリックする

4 ［接続します］をクリックする



5 ［閉じる］をクリックする



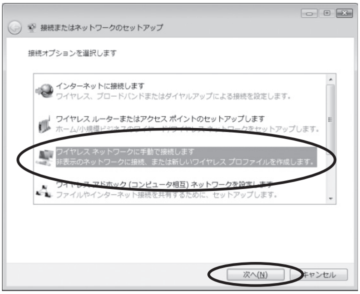
親機との通信状態は、「親機との通信状態を確認するには」（☛P3-40）で確認してください。

接続先を手動で設定する場合

1 **[スタート]（Windows のロゴボタン）ー［ネットワーク］ー［ネットワークと共有センター］ー［接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする**

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンを右クリックして［ネットワークと共有センター］ー［接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする方法もあります。

2 **［ワイヤレスネットワークに手動で接続します］を選択し、[次へ］をクリックする**



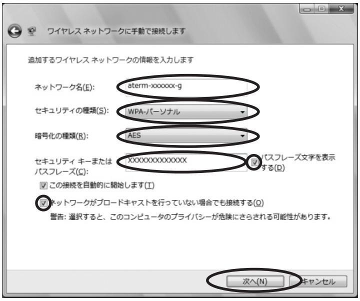
3 **表示される画面に合わせて設定を行う**

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）と暗号化キーは、親機の側面（裏）に記載されています。（☛P3-35）

①［ネットワーク名］で親機のネットワーク名（SSID）を入力する

②［セキュリティの種類］で［WPA- パーソナル］または［WPA2- パーソナル］を選択する

③［暗号化の種類］で［TKIP］または［AES］を選択する



④［セキュリティ キーまたはパスフレーズ］に親機の暗号化キーを入力する

※［パスフレーズ文字を表示する］にチェックを入れると、入力文字が表示できます。

※暗号化キーは半角で、8 ～ 63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次のとおりです。

【8 ～ 63 桁の場合】英数記号（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、下記の記号）

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>”</td><td>&</td><td>＊</td><td>.</td><td><</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>#</td><td>’</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>]</td><td>{</td><td></td></tr>
</table>

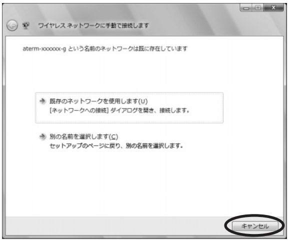
※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】16 進数（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）

⑤親機で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する］にチェックを入れる

⑥［次へ］をクリックする

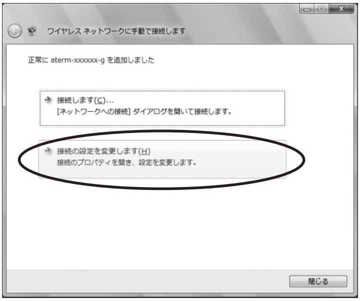
4 ［接続の設定を変更します］をクリックする



上の画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

①［ネットワークと共有センター］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする
②接続するネットワーク名（SSID）を選択して右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする
③［OK］をクリックする
④［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、P3-38の手順1から接続し直してください。



5 ［セキュリティ］タブをクリックして設定内容を確認する

6 ［OK］をクリックする

7 ［接続します］をクリックする

以上で親機との Wi-Fi 設定は完了です。

親機との通信状態は、「親機との通信状態を確認するには」(☛P3-40)で確認してください。

親機との通信状態を確認するには

次の手順で通信状態を確認できます。

1 **通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンを右クリックし、［ネットワークと共有センターを開く］をクリックする**

※ Windows 7の場合は、通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックし、［ネットワークと共有センターを開く］をクリックします。

※ Windows Vistaの場合は、［スタート］（Windowsのロゴボタン）－［ネットワーク］－［ネットワークと共有センター］をクリックします。

2 **［Wi-Fi］をクリックする**

※ Windows 7の場合は、［ワイヤレスネットワーク接続］をクリックします。

※ Windows Vistaの場合は、「状態の表示」をクリックします。

3 **Wi-Fi設定が正しく行われていることを確認する**

・［状態］が「有効」になっていること

・［速度］が表示されていること
（表示される速度は、接続するWi-Fi動作モードによって異なります。）

4 **［閉じる］をクリックする**

子機 WG2600HP を設定する

ここでは、本商品を子機としてご使用になる場合の、Wi-Fi の設定方法や子機 WG2600HP の設定項目について説明しています。

イーサネットコンバータセットの場合は、工場出荷時ですでに子機 WG2600HP の Wi-Fi は設定済みです。通常は「つなぎかたガイド」を参照して設置・接続するだけで、ご利用いただくことができます。
再度 Wi-Fi 接続を行う場合や、子機 WG2600HP の設定内容を変更する場合は、こちらを参照して設定してください。

- ●子機 WG2600HP を WPS で Wi-Fi 設定する（☛ 下記）
  →親機または子機 WG2600HP を初期化した場合の Wi-Fi の再設定方法です。
- ●子機 WG2600HP をクイック設定 Web で Wi-Fi 設定する（☛P3-44）
  →子機 WG2600HP のみの Wi-Fi 設定をクイック設定 Web で行う場合の設定方法です。
- ●子機 WG2600HP のクイック設定 Web の設定項目について（☛P3-50）
  →子機 WG2600HP のクイック設定 Web の設定項目について説明しています。

子機 WG2600HP を WPS で Wi-Fi 設定する

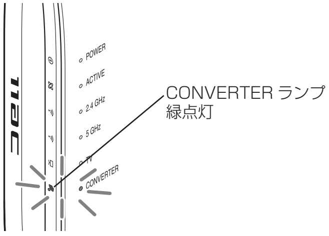
ここでは、親機または子機 WG2600HP を初期化して Wi-Fi 設定が初期化された場合の Wi-Fi の再設定方法について説明しています。
設定は、WPS で行います。

※本手順では、わかりやすくするために子機 WG2600HP を［子機 WG2600HP］と表示します。

1 ［子機 WG2600HP］の電源が入っていない場合は、電源を入れてから約 170 秒待つ

2 ［子機 WG2600HP］の CONVERTER ランプが緑点灯していることを確認する

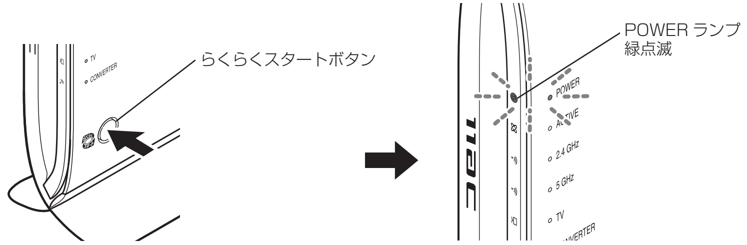
※CONVERTER ランプが消灯している場合は、Wi-Fi 子機（CONVERTER）モードに設定されていません。P31 を参照して Wi-Fi 子機(CONVERTER)モードに設定してください。



〈［子機 WG2600HP］〉

（次ページに続く）

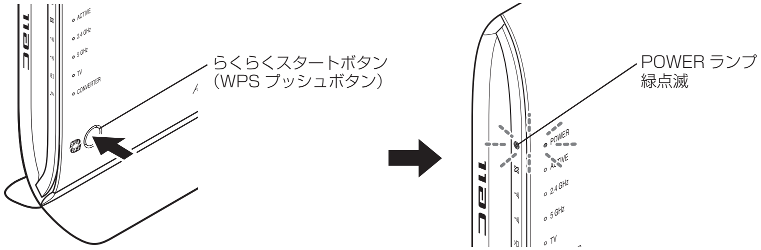
3 子機 WG2600HP のらくらくスタートボタンを長押しして、POWER ランプが緑点滅になったら放す



〈 子機 WG2600HP 〉　〈 子機 WG2600HP 〉

4 親機のらくらくスタートボタン（WPS プッシュボタン）を長押しして（約 6 秒）、POWER ランプが緑点滅になったら放す

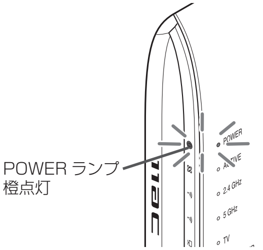
※らくらくスタートボタン（WPS プッシュボタン）の位置や形状および POWER ランプの名称は、装置によって異なります。親機の取扱説明書などで確認してください。



〈親機〉　〈親機〉

5 しばらく待って、親機の POWER ランプが橙点灯することを確認する

POWER ランプは約 10 秒間橙点灯したあと、緑点灯に戻ります。

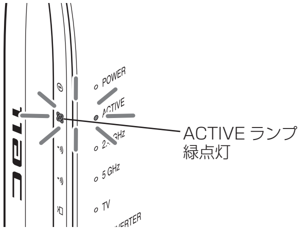


〈親機〉

!

失敗した場合は、POWER ランプが赤点灯または赤点滅します。再度手順 1 からやり直しても失敗する場合は、「子機 WG2600HP をクイック設定 Web で Wi-Fi 設定する」（☛P3-44）で設定してください。

6 子機 WG2600HP の ACTIVE ランプが緑点灯することを確認する



〈 子機 WG2600HP 〉

親機と Wi-Fi 通信が確立すると、2.4GHz ランプまたは 5GHz ランプで電波状態が確認できます。（☛P34、35）

子機 WG2600HP をクイック設定 Web で Wi-Fi 設定する

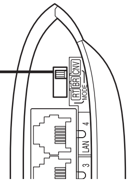
ここでは、子機 WG2600HP のみの Wi-Fi 設定をクイック設定 Web で行う場合の設定方法を説明しています。

※ 子機 WG2600HP とパソコンを ETHERNET ケーブルで接続してから設定してください。

クイック設定 Web の起動のしかた

■ DHCP サーバ機能を起動する

1 **子機 WG2600HP の RT/BR/CNV モード切替スイッチが CNV 側になっていることを確認する**

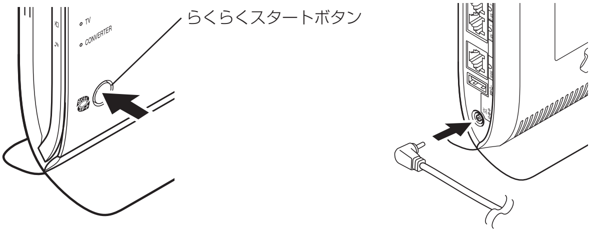


2 **子機 WG2600HP から AC アダプタのプラグをいったん外し、約 10 秒待つ**

3 **子機 WG2600HP のらくらくスタートボタンを押しながら、AC アダプタのプラグを接続し、CONVERTER ランプが緑点滅したら、らくらくスタートボタンを放す**

親機との Wi-Fi 接続はいったん切断されます。

子機 WG2600HP の DHCP サーバが起動します。



■クイック設定 Web を起動する

4 パソコンなどを起動する

5 WWW ブラウザを起動し、アドレス欄に子機 WG2600HP の IP アドレスを入力して、設定画面を開く（工場出荷状態は 192.168.1.245 です。）

例：http://192.168.1.245/

WWW ブラウザで子機 WG2600HP の設定画面が表示されない（☛P6-12）

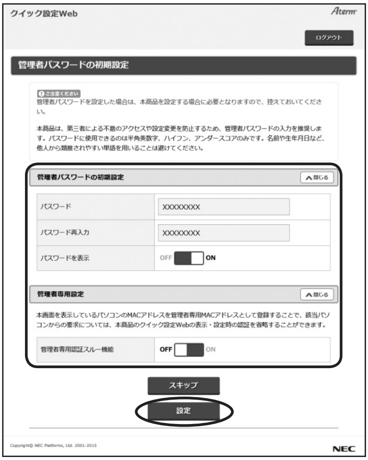
6 右の画面が表示された場合は、下記の手順で管理者パスワードを設定する

※この画面は管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。

※管理者パスワードは、あとから設定することもできます。その場合は［スキップ］をクリックします。（セキュリティ向上のため、管理者パスワードは設定することをお勧めします。）

※ 親機としてご使用になる場合も子機としてご使用になる場合も、管理者パスワードは共通となります。

①画面にしたがって管理者パスワード（任意の文字列）を決めて、控えておく



管理者パスワード控え欄

●管理者パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。忘れた場合は、設定画面を開くことができず、本商品を初期化してすべての設定がやり直しになります。

②控えておいた管理者パスワードを画面に入力し、［設定］をクリックする

※「管理者専用設定」－「管理者専用認証スルー機能」を［ON］にして［設定］をクリックすると、この画面を表示している端末の MAC アドレスを管理者専用の MAC アドレスとして本商品に登録します。登録した端末では、クイック設定 Web 起動時にユーザ名・管理者パスワード入力を省略することができます。

3

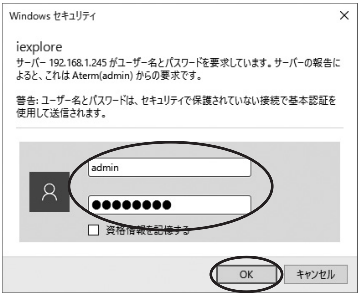
Wi-Fiを設定する

（次ページに続く）

7 **右の画面が表示された場合は、ユーザ名とパスワードを入力して［OK］をクリックする**

※「ユーザー名」（上段）には「admin」と半角小文字で入力し､「パスワード」（下段）には手順 6 で控えた本商品の管理者パスワードを入力してください。

※パスワードを忘れてしまった場合は、子機 WG2600HP を初期化して(☛P7-9)、再度手順 1 からやり直してください。



8 **子機 WG2600HP のクイック設定 Web が表示される**

クイック設定 Web で Wi-Fi 設定する

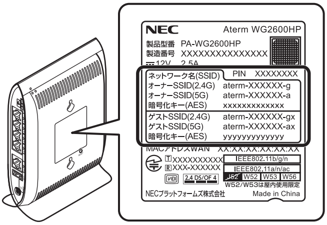
1 **子機 WG2600HP のクイック設定 Web を起動する（☛P3-44）**

2 **ホーム画面の「基本設定」－「基本設定」を選択する**

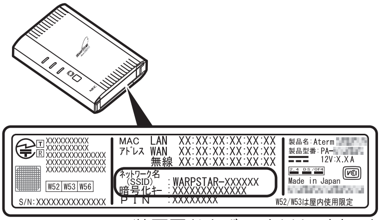
3 **［ネットワーク名（SSID)］に Wi-Fi ネットワーク内で使用するネットワーク名（SSID）を入力する**

使用する親機のネットワーク名（SSID）を確認しておいてください。

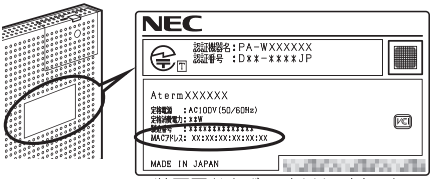
※親機として Aterm シリーズを使う場合、工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、親機の側面または底面に記載されています。ただし、どちらにも記載がない場合は、「WARPSTAR-XXXXXX」（XXXXXX は親機の側面に記載されている WAN 側 MAC アドレスの下 6 桁）です。



※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。



※装置図およびラベルは一例です。

[アクセスポイント検索] をクリックして [アクセスポイント検索] 画面を表示してネットワーク名（SSID）を選択することもできます。

① [アクセスポイント検索] 画面で接続するネットワーク名（SSID）を選択する
② [選択] をクリックする

（次ページに続く）

4 親機の暗号化設定に合わせて暗号化の設定を行う

!

親機に暗号化設定をしていない場合は、暗号化の設定を行うことをお勧めします。

→ 親機の暗号化を設定（下記）したあと、P3-44 から設定し直してください。
【親機が WG2600HP の場合】
クイック設定 Web を起動し（☛P2-11）、[Wi-Fi（無線 LAN）設定] – [Wi-Fi 詳細設定］で暗号化を設定してください。
【親機が WG2600HP 以外の場合】
親機に有線でパソコンを接続して、親機の取扱説明書などを参照して暗号化を設定してください。

→ 親機に暗号化設定をしない場合は、[暗号化モード］で［暗号化無効］を選択し、手順 5 にお進みください。

① [暗号化モード］で使用する暗号化モードを選択する

② [指定方法］を選択し、［暗号化キー］を入力する
暗号化キーは半角で、8 ～ 63 桁の英数記号、または、64 桁の 16 進数で入力します。
※暗号化キーに使用できる文字は次のとおりです。
【8 ～ 63 桁の場合】英数記号（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、下記の記号）

!	%	)	-	;	?	]	{
”	&	*	.	<	@	^	|
#	’	+	/	=	[	_	}
$	(	,	:	>	\	`	~

※「?」は、親機によっては使用できない場合があります。（親機が WG2600HP の場合は、使用できません。）
※「\」（バックスラッシュ）は、パソコンの設定によっては「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】16 進数（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）

5 ［設定］をクリックする

6 ［OK］をクリックする

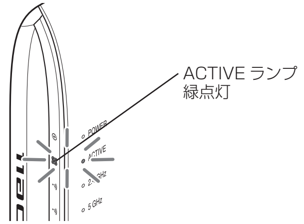
7 ホーム画面の［詳細な項目を表示］をクリックする

8 「メンテナンス」－［再起動］を選択する

9 ［再起動］をクリックする

10 ［OK］をクリックする

11 子機 WG2600HP の ACTIVE ランプが緑点灯することを確認する



親機と Wi-Fi 通信が確立すると、2.4GHz ランプまたは 5GHz ランプで電波状態が確認できます。（☛P34、35）

重要

パソコンの IP アドレスを変更した場合は、子機 WG2600HP の設定を終了したあと、パソコンの IP アドレスをお使いのネットワーク環境（ルータなど）に合わせて設定してください。

親機で MAC アドレスによる接続制限を行う場合

親機で MAC アドレスによる接続制限（MAC アドレスフィルタリング）を行う場合、子機 WG2600HP（※1）の Wi-Fi の MAC アドレス（※2）を親機に登録することで Wi-Fi 接続する他の子機を制限できます。

（※ 1） Wi-Fi 子機（CONVERTER）モードに設定した WG2600HP。

（※ 2） 子機 WG2600HP の Wi-Fi の MAC アドレスは、子機のクイック設定 Web（☛P3-44）の「現在の状態」にある「MAC アドレス（Wi-Fi）」を確認してください。

クイック設定 Web の設定項目について

ここでは、子機 WG2600HP のクイック設定 Web について、それぞれの項目で何が設定できるのかを説明しています。

※ ホーム画面で［詳細な項目を表示］をクリックすると、すべての設定項目が表示されます。

! 設定の登録のしかた

それぞれのページで［設定］をクリックすることで登録されます。

※ 設定登録後は、ホーム画面の［詳細な項目を表示］－「メンテナンス」－［再起動］で子機 WG2600HP を再起動してください。DHCP サーバ機能を停止します。

【基本設定】
装置名、Wi-Fi 設定〈ネットワーク名（SSID）、暗号化、送信出力、5GHz/2.4GHz 優先接続切替〉を設定します。

【詳細設定】
ネットワーク設定（IP アドレス、ネットマスクなど）を設定します。

【情報】－［現在の状態］
子機 WG2600HP の装置情報、Wi-Fi 通信状態、ネットワーク情報が表示されます。

【情報】－［チャネルの状態］
周囲のアクセスポイントのチャネル状態を表示します。

【メンテナンス】－［管理者パスワードの変更］
管理者パスワード（パスワード）を設定できます。（初期値：空欄）
使用できる文字は半角英数字、-（ハイフン）、_（アンダースコア）で、64 文字以内です。

【メンテナンス】－［設定値の保存＆復元］
現在の子機 WG2600HP の設定内容をファイルに保存および復元することができます。

【メンテナンス】－［設定値の初期化］
［設定値の初期化］をクリックすると子機 WG2600HP の設定が初期値に戻ります。

【メンテナンス】－［ファームウェア更新］
子機 WG2600HP のバージョンアップができます。

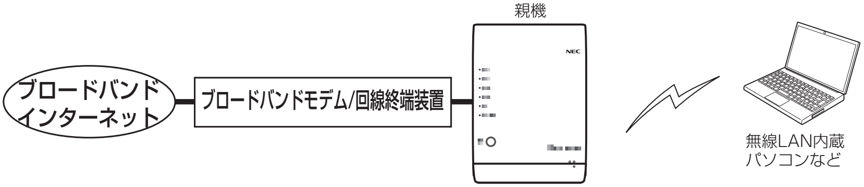
【メンテナンス】－［再起動］
子機 WG2600HP の再起動を行います。

4 セキュリティ対策をする

セキュリティ機能について

親機には、WAN 側（ブロードバンド側）からの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能、LAN 側の送信元を詐称したアクセスを防ぐセキュリティ機能、Wi-Fi ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されたりしないためのセキュリティ機能があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

セキュリティ対策の詳細については、「ユーザーズマニュアル」を参照してください。



● **WAN 側（ブロードバンド側）**
- IP パケットフィルタリング
- アドバンスドNAT（IP マスカレード／NAPT）
- 不正アクセス検出機能
- ダイナミックポートコントロール（SPI）

● **LAN 側**
- 送信元検証機能

● **Wi-Fi ネットワーク側**
- 暗号化（☛P4-3）
- ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）（☛P4-4）
- MAC アドレスフィルタリング機能（☛P4-5）
- ネットワーク分離機能（☛P4-7）

セキュリティ対策を行うことの重要性について

● インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のある第三者から、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることも考えられます。
特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。
本商品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。
また、ウィルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行うことをお勧めします。

● Wi-Fi 機器では、Wi-Fi のセキュリティを行うことをお勧めします。Wi-Fi のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの Wi-Fi ネットワークに入り込まれる危険性があります。
Wi-Fi ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などをされることがあります。（☛P17）
なお、本商品は工場出荷状態で Wi-Fi のセキュリティが設定済みです。必要に応じてより強固なセキュリティに変更することができます。

暗号化

親機で使用している暗号化キー（任意の文字列）と同じキーを登録した子機のみ Wi-Fi 通信できるようになる機能です。これにより、送受信される無線データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

＜暗号化方式について＞

● WEP（Wired Equivalent Privacy）
IEEE802.11 で定められた暗号化方式。

● TKIP（Temporal Key Integrity Protocol）
Wi-Fi Alliance のセキュリティプロトコル（WPA/WPA2）に採用の暗号化方式。
一定パケット量や一定時間ごとにキーを自動的に変更して暗号化を行うため、WEP よりさらに強固なガードを実現します。

● AES（Advanced Encryption Standard）
米国商務省標準技術局（NIST）が選定した次世代の暗号化方式。
TKIP よりさらに強固な暗号化を行うことができます。

お願い

●暗号化の設定は必ず親機と子機で同じ設定にしてください。
●複数の子機を使用する場合、すべての子機に親機と同じ暗号化キーを設定してください。
●親機を初期化した場合は、Wi-Fi 設定内容が工場出荷状態に戻ります。

お知らせ

●親機では、工場出荷状態で、オーナー SSID/ ゲスト SSID のネットワークに AES の暗号化が設定されています。
Wi-Fi 設定内容（初期値）は、側面（裏）のラベルにある「ネットワーク名（SSID)」を参照してください。ラベルには、上段にオーナー SSID、下段にゲスト SSID の Wi-Fi 設定内容（2.4GHz・5GHz 別の SSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。
なお、ゲスト SSID に接続するには、Wi-Fi 機能を有効にする必要があります。

ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）

Wi-Fi 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名（SSID とも呼びます。）があります。このネットワーク名（SSID）が一致しないと Wi-Fi 通信ができません。
一般にネットワーク名（SSID）は検索することができますが、他のパソコンからのアクセスに対し、ネットワークの参照に応答しないようにすることができます。（ユーザーズマニュアル）

※本商品独自の機能です。Aterm 以外の子機では、接続できない場合があります。

お知らせ

●ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）の設定は、ネットワーク名（SSID）ごとに設定できます。クイック設定 Web（ホーム画面）の「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－［Wi-Fi 詳細設定］で設定してください。（ユーザーズマニュアル）

MAC アドレスフィルタリング機能

MAC アドレスが登録された子機とのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、MAC アドレスが登録されていない子機から LAN やインターネットへ接続されることを防止できます。（ユーザーズマニュアル）

※ MAC アドレスフィルタリングで登録できる MAC アドレスは 5GHz モードと 2.4GHz モードで共通です。また、MAC アドレスフィルタリング機能を使用するかどうかはネットワーク名（SSID）ごとに設定できます。

子機が WG2600HP/WG1800HP2/WG1200HP/WF1200HP/WG1800HP/WG1400HP/WR9500N または WL300NE-AG の場合

● **子機が WG2600HP/WG1200HP の場合**

親機で MAC アドレスによる接続制限（MAC アドレスフィルタリング）を行う場合、子機 WG2600HP/WG1200HP（※1）の MAC アドレス（※2）を登録することで Wi-Fi 接続する他の子機を制限できます。

（※ 1）Wi-Fi 子機（CONVERTER）モードに設定した WG2600HP/WG1200HP。

（※ 2）子機の Wi-Fi の MAC アドレスは、子機のクイック設定 Web の「現在の状態」にある「MAC アドレス（Wi-Fi）」を確認してください。

● **子機が WG1800HP2/WF1200HP/WG1800HP/WG1400HP/WR9500N または WL300NE-AG の場合**

親機で MAC アドレスによる接続制限（MAC アドレスフィルタリング）を行う場合、子機（WG1800HP2/WF1200HP/WG1800HP/WG1400HP/WR9500N（※3）または WL300NE-AG）の無線クライアントモードによって次のように設定してください。

（※ 3）Wi-Fi 子機（CONVERTER）モードに設定した WG1800HP2/WF1200HP/WG1800HP/WG1400HP/WR9500N。

＜子機の無線クライアントモードが標準モードまたは拡張モードの場合＞

子機の Wi-Fi（無線）の MAC アドレス（※4）を登録することで Wi-Fi 接続する他の子機を制限できます。

＜子機の無線クライアントモードが MAC クローンモードの場合＞

子機の Wi-Fi（無線）の MAC アドレス（※4）と、子機に接続しているパソコンなどの端末の MAC アドレスをすべて登録してください。

→ 子機では接続されている複数の端末のうち、最初にアクセスのあった端末の MAC アドレスを記憶し、他の端末からのアクセス時は MAC アドレスを最初の端末のものに変換します。このため、MAC アドレスフィルタに未登録の端末が最初にアクセスすると、子機に接続しているすべての端末が Wi-Fi 接続できなくなります。（子機の電源を入れたときに MAC アドレスを登録された端末が接続されていない場合も、Wi-Fi 接続できなくなります。）
なお、すでに親機に接続している子機に、MAC アドレスが未登録の端末を接続すると通信できてしまいます。

（※ 4）子機の Wi-Fi（無線）の MAC アドレスは、下記を確認してください。

＜子機が WG1800HP2/WF1200HP/WG1800HP/WG1400HP の場合＞
子機のクイック設定 Web の「情報」－「現在の状態」にある「MAC アドレス（Wi-Fi）」。

＜子機 WR9500N の場合＞
ご利用の無線周波数（5GHz/2.4GHz）によらず、子機 WR9500N の側面（裏）に記載されている「無線（2.4G）」の MAC アドレス。

＜ WL300NE-AG の場合＞
WL300NE-AG の底面に記載されている無線の MAC アドレス。

お知らせ

●親機の「MACアドレスフィルタリング機能」を使用している場合に、子機WG1800HP2/子機WF1200HP/子機WG1800HP/子機WG1400HP/子機WR9500NまたはWL300NE-AGの無線クライアントモード（初期値：「拡張モード」）を「MACクローンモード」にして利用するには、下記の手順で設定してください。

①親機にWi-Fi接続する

※ 子機WG1800HP2/子機WF1200HP/子機WG1800HP/子機WG1400HP/子機WR9500Nは、それぞれの取扱説明書を参照し、クイック設定WebにてWi-Fi接続してください。

※ WL300NE-AGは、WL300NE-AGに添付の取扱説明書を参照してください。

②親機のクイック設定Webの「MACアドレスフィルタリング」の設定で、子機WG1800HP2/子機WF1200HP/子機WG1800HP/子機WG1400HP/子機WR9500NまたはWL300NE-AGに接続するすべてのパソコンやゲーム機などのMACアドレスを登録する。

③親機のクイック設定Webで「MACアドレスフィルタリング機能」を「ON」に設定する。

④子機WG1800HP2/子機WF1200HP/子機WG1800HP/子機WG1400HP/子機WR9500NまたはWL300NE-AGのクイック設定Webの［詳細設定］で「無線クライアントモード」を「MACクローンモード」に変更する。

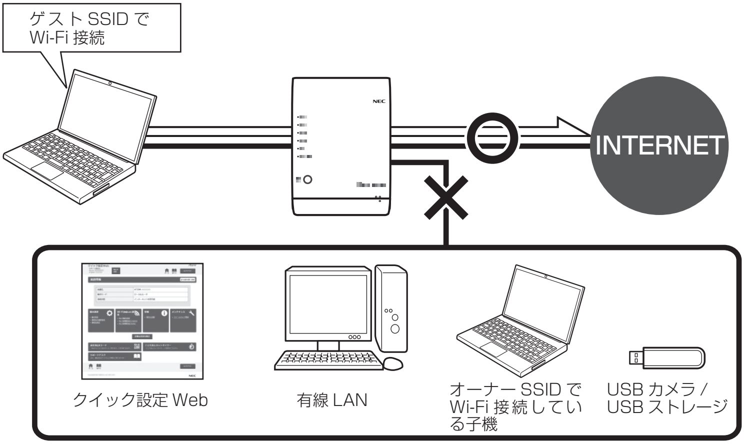
※ 子機WG1800HP2/子機WF1200HP/子機WG1800HP/子機WR9500Nで「無線クライアントモード」がグレーアウトして設定できない場合は、［基本設定］で「中継機能」（WG1800HPの場合は「Wi-Fi高速中継機モード」、WR9500Nの場合は「無線LAN中継機モード」）の「使用する」のチェックを外して［設定］をクリックしたうえで、「MACクローンモード」に変更してください。

ネットワーク分離機能

マルチ SSID のそれぞれのネットワーク（オーナー SSID ／ゲスト SSID ／ WEP 専用 SSID）に接続した子機や、有線で接続されたパソコン、USB カメラ、USB ストレージへのアクセスを制限し、親機に接続した他のネットワークから分離することができます。なお、インターネットへの通信は可能です。（ユーザーズマニュアル）
設定は、クイック設定 Web で行います。
（初期値：オーナー SSID は「OFF」、ゲスト SSID ／ WEP 専用 SSID (※) は「ON」）

（※）WEP 専用 SSID は、「ON」から設定変更できません。

＜ゲスト SSID を「ON」に設定した場合の例＞



「ON」に設定したネットワークに接続した子機では、以下の制限があります。
・クイック設定 Web に接続できない。
・親機に有線で接続された端末に接続できない。
・親機に他のネットワーク名（SSID）で Wi-Fi 接続された端末に接続できない。
・USB カメラ、USB ストレージにアクセスできない。
※ インターネットや同一のネットワークに Wi-Fi 接続された端末との通信は可能です。（ただし、WEP 専用 SSID では、「SSID 内分離（セパレータ）」が設定されているため、同一のネットワークに Wi-Fi 接続された子機との通信はできません。）

4
セキュリティ対策をする

お知らせ

●ネットワーク分離機能は解除することができます。（オーナー SSID、ゲスト SSID のみ。）
本商品に有線で接続したパソコンからクイック設定 Web を表示し、ホーム画面の「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－［Wi-Fi 詳細設定］の［対象ネットワークを選択］でネットワークを選択して［選択］をクリックして、［Wi-Fi 機能設定］の［ネットワーク分離機能］を「OFF」にしてください。

●さらにセキュリティを高める「SSID 内分離（セパレータ）」を設定すると、同一のネットワーク内の子機との通信を制限することができます。クイック設定 Web（ホーム画面）の「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「Wi-Fi 詳細設定」の［対象ネットワークを選択］でネットワークを選択して［選択］をクリックし、［Wi-Fi 機能設定］の［SSID 内分離（セパレータ）］を「ON」にしてください。
なお WEP 専用 SSID は設定済み（変更不可）です。

5

便利な機能

便利な機能

USB ポートを使う

本商品の USB ポートでは、接続した USB デバイスのファイルを、本商品の LAN 側に接続した複数のパソコン（5 台まで）で共有したり、WAN 側から WWW ブラウザを使用して表示・操作することができます。また、USB カメラを接続して、WAN 側から WWW ブラウザで画像を表示することもできます。
アクセス方法など詳細は「Ⓦ ユーザーズマニュアル」を参照してください。

※ WG2600HP を子機としてご使用になる場合は、USB ポートをご利用になれません。

なお、USB ポートでご利用いただける機能は下記のとおりです。

●メディアサーバ機能
本商品の USB ポートに接続した USB メモリや外付けハードディスクに保存されたコンテンツを、親機の LAN 側に接続した DLNA 対応機器で視聴することができます。

● USB ファイル HTTP 公開機能（ブラウザファイル共有機能）
本商品に接続した USB デバイスのファイルをパソコンなどの WWW ブラウザで開くことができます。

● USB カメラ機能
本商品の USB ポートに接続した USB カメラの画像を WWW ブラウザで表示することができます。

お願い

●USB デバイスを取り付ける場合は、下記のことにご注意ください。
- 必ず本商品の本体を押さえて取り付けてください。
- コネクタ部分に手を触れないようにしてください。
- コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

●USB デバイスを取り外す場合は、必ずクイック設定 Web（ホーム画面）の「詳細な項目を表示」－「情報」－「USB デバイス情報」で USB デバイスの停止を行ってから取り外してください。

ECO モード

ECO モードでは、一部の機能を制限することで消費電力を抑えることができます。

詳細は「Ⓦ ユーザーズマニュアル」を参照してください。

※ WG2600HP を子機としてご使用になる場合は、ECO モード機能はご利用になれません。

●オート ECO モード機能
子機からの Wi-Fi 接続が一定時間（約 240 秒）以上ない場合、自動的にオート ECO モードが起動します。オート ECO モードでは、無線回路の一部が停止されることで消費電力を抑えます。起動中に子機から Wi-Fi 接続された場合、オート ECO モードは自動的に停止されます。

こども安心ネットタイマー

こども安心ネットタイマーを使うと、本商品へ Wi-Fi 接続するスマートフォン、タブレット、ゲームなどの端末ごとに、接続できる時間帯を制限することができます。保護者のかたがお子様のインターネット接続を管理したいときに便利な機能です。
詳細は「Ⓦ ユーザーズマニュアル」を参照してください。

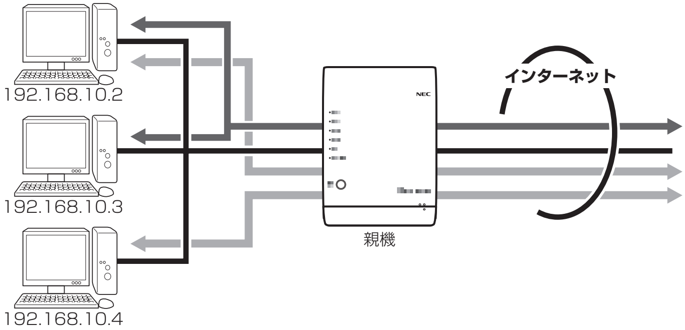
PPPoE マルチセッション機能

1 つの回線契約で複数の接続先へ同時に接続を行うことができます。

接続先の登録数および同時接続可能セッション数は、最大 3 箇所です。

詳細は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

※ご利用の接続事業者やプロバイダとの契約内容で、マルチセッション接続が許可されている必要があります。
同時に接続できるセッション数は契約内容により異なりますので、ご利用の接続事業者やプロバイダにご確認ください。



PPPoE ブリッジ機能

パソコンやゲーム機などで PPPoE（PPP over Ethernet）プロトコルの利用が必要な場合やグローバル IP アドレスが必要なアプリケーションを利用する場合は、PPPoE ブリッジ機能を使用して、接続できます。

親機が PPPoE ルータモードのときに使用することができます。本機能を使用した場合、LAN 側に接続されているパソコンやゲーム機のうち使用できるのは最大 16 台までです。PPPoE ブリッジで接続できるパソコンやゲーム機の台数は接続事業者によって異なりますので、ご利用の接続事業者にご確認ください。

詳細は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

※ PPPoE プロトコルの利用やグローバル IP アドレスの利用が必要ではなく、複数のセッションで通信したい場合は、PPPoE マルチセッションでご利用いただけます。（☛P5-3）

IPv6 ブリッジ機能

IPv6（Internet Protocol Version 6）プロトコルの利用が必要なサービスをご契約の場合は、IPv6 ブリッジ機能を「ON」に設定することでご利用いただくことができます。詳細は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

※ パソコン側の設定も必要となります。

※ PPPoE ルータモードの場合は、IPv6 ブリッジ機能は初期値で「ON」に設定済みです。

DMZ ホスト機能

外部からのアクセスを LAN 上のあらかじめ指定したパソコンに自動的に転送する機能です。Web／FTP サーバの外部公開や LAN 上へファイアウォールを設定することができます。
詳細は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

VPN パススルー機能

VPN クライアントのソフトウェアを使って会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN（Virtual Private Network：仮想閉域網）に PPTP で接続できます。
詳細は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

※ 親機とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

IP パケットフィルタリング機能

宛先／送信元 IP アドレスやポート番号、パケットの方向などを指定して、パケットの通過を制限する機能です。
不必要なパケットの送受信を制限することができるので、セキュリティの高いネットワークが構築できます。
詳細は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

ポートマッピング機能

あらかじめ固定的に使用するポート番号と転送先パソコンを指定することで、ネットワーク対応ゲームやストリーミングなどの外部から直接アクセスが必要なアプリケーションの通信が使用できます。
詳細は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

UPnP 機能

親機とパソコンの UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）機能を利用して、テレビ電話などをご利用になることができます。
詳細は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

※ 親機とパソコン側の設定が必要です。
ただし、親機の設定は初期値で「ON」になっていますので、パソコンで UPnP の設定をすることで、利用できます。

お知らせ

- UPnP 機能は、Windows 10/8.1/8/7、Windows Vista のパソコンでのみご利用になれます。
- フレッツ・ADSL などの PPPoE が使用できる環境では、PPPoE ブリッジ機能を使用することで、1 台のパソコンのみで利用できます。
- ルータタイプの ADSL モデムにローカルルータモードで接続しているときは、UPnP の機能はご利用になれません。ADSL モデムを PPPoE ブリッジモードに切り替えて親機の動作モードを PPPoE ルータモードに設定するか、ブリッジモードに設定してお使いください。

ダイナミック DNS 機能

ダイナミック DNS とは、プロバイダから割り当てられたグローバル IP アドレスが変更になった際に、新しいアドレスを各 DNS サーバに通知するサービスです。固定 IP アドレスの取得をしていなくても、固定の URL を指定することで WAN 側からのアクセスやサーバ公開が可能になります。
詳細は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

※ 2015 年 9 月現在で、下記のサービスに対応しています。
・GMO インターネット株式会社が提供する「お名前 .com®」
（別途提供先にてサービスのご契約と設定が必要です。）

GMO インターネット株式会社　お問い合わせ先

「お名前 .com® ダイナミック DNS サービス」は、GMO インターネット株式会社が運営する「お名前 .com® ドメイン登録サービス」のオプションです。詳細は、下記 URL をご覧ください。

＜お名前 .com® レンタル DNS レコード設定（ダイナミック DNS 機能）＞
http://www.onamae.com/option/dnsrecord/
※ 製品には、すでにクライアント機能が実装されていますので、パソコンに「ダイナミッククライアントソフト」をインストールする必要はございません。

「お名前 .com® ダイナミック DNS サービス」へのお問い合わせについて
・本サービスのご利用をお考えのお客様のご相談
・本サービスの申し込み方法について
・本サービスの技術的な内容について　など
お電話　：03-5456-2560
受付時間：
技術サポート窓口……………………………………年中無休　24 時間
事務手続きご案内／新規ご相談窓口…………平日　10:00 ～ 19:00
※ お電話以外のお問い合わせ（E-mail、チャット）は、下記 URL をご覧ください。
https://www.onamae.com/support/contact/

LAN 側ジャンボフレーム透過機能

LAN ポートに接続される機器間での伝送速度が 1000Mbps の場合、データの送受信単位（フレーム）のサイズを大きくすることで、LAN ポート間の対向通信を効率よく行うことができます。
詳細は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

※ 対向通信するすべての機器がジャンボフレームに対応している必要があります。
なお、Wi-Fi 接続や WAN ポート（インターネット）との転送ではご利用になれません。
通常は、初期値（「OFF」）のままご使用ください。

6 トラブルシューティング

6

トラブルシューティング

本商品を設置・接続するにあたって、トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらを参照してください。

※本書の他に、サポートデスク－［機種名で探す］－［WG2600HP］－「Q&A」でも、さまざまなトラブルと対策方法を記載しております。本章と合わせて参照してください。

該当項目がない場合や対処をしてもトラブルが解決しない場合は、本商品を初期化し、はじめから設定し直してみてください。

※ 初期化すると、本商品のすべての設定が初期値に戻りますので、ご注意ください。なお、初期化する前にクイック設定 Web（ホーム画面）の［詳細な項目を表示］－「メンテナンス」－［設定値の保存＆復元］にて現在の設定内容を保存すれば、初期化後に同設定画面にて復元することができます。

- **設置に関するトラブル（☛ 下記）**
- **ユーティリティに関するトラブル（☛P6-12）**
- **ご利用開始後のトラブル（☛P6-14）**

設置に関するトラブル

どこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策を参照してください。

確認項目	いいえの場合
親機の POWER ランプは緑点灯していますか？	→いいえ（a 参照 ☛P6-3）
↓はい	
親機背面の WAN ランプは緑点灯していますか？	→いいえ（b 参照 ☛P6-3）
↓はい	
Wi-Fi 通信はできますか？（Wi-Fi をご利用の場合）	→いいえ（c 参照 ☛P6-4）
↓はい	
パソコンに IP アドレスが設定されていますか？ 確認方法は、P2-10 を参照してください	→いいえ（d 参照 ☛P6-5）
↓はい	
らくらくネットスタート Lite で親機の動作モード設定が行えますか？	→いいえ（e 参照 ☛P6-6）
↓はい	
親機の設定が行えますか？ WWW ブラウザ（クイック設定 Web）で親機の設定画面が表示できますか？	→いいえ（f 参照 ☛P6-7）
↓はい	
＜ PPPoE ルータモードの場合＞ 設定後、親機の ACTIVE ランプが緑点灯していますか？	→いいえ（g 参照 ☛P6-8）
＜ローカルルータモードの場合＞ ・設定後、親機の ACTIVE ランプが緑点灯していますか？ ・WAN 側 IP アドレスが正しく表示されていますか？ クイック設定 Web の［現在の状態］で［WAN 側状態］に IP アドレスが表示されていますか？	→いいえ（h 参照 ☛P6-9）
＜ブリッジモードの場合＞ ・親機の ACTIVE ランプが橙点灯していますか？	→いいえ（i 参照 ☛P6-9）
↓はい	
インターネットに接続できましたか？	→いいえ（j 参照 ☛P6-10）

a 親機の POWER ランプが緑点灯しない

電源が入っていません。

- AC アダプタが外れている
  →AC アダプタを電源コンセントに差し込んでください。
- AC アダプタがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている
  →電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると親機に供給されている電源も切れてしまいます。
- AC アダプタが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに AC アダプタをコンセントから外して Aterm インフォメーションセンターにご相談ください。
- 親機の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

b 親機背面の WAN ランプが緑点灯しない

- ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていない
  →ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源を入れて、正しく回線のリンクが確立できていることを確認してください。
- 親機の WAN ポートがブロードバンドモデムまたは回線終端装置に ETHERNET ケーブルで正しく接続されているか確認してください。
  WAN ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。
  ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因となることがあります。
- ETHERNET ケーブルの規格が正しいか確認してください。
  接続に使用しているケーブルが「ETHERNET ケーブル（カテゴリ 5e 以上ストレート）」であることを確認してください。
- 親機の WAN ポートと親機の LAN ポートを添付の ETHERNET ケーブルで接続して、下記をご確認ください。
  <背面の WAN ランプが緑点灯する場合>
    親機は、問題ありません。
    ブロードバンドモデム／回線終端装置の故障が考えられます。
  <背面の WAN ランプが緑点灯しない場合>
    親機を初期化してみてください。
    それでも解決しない場合は親機の故障が考えられます。Aterm インフォメーションセンターへお問い合わせください。

C Wi-Fi 通信ができない

□ 親機に接続できない

● お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり通信が正常に行えない場合があります。
→ファイアウォールなどの動きによって親機との通信に必要なポートが止められてしまっている場合があります。
その場合には、次の手順で設定を確認してください。
①ファイアウォールソフト側で親機との通信に必要なポートをあける
（アドレス：192.168.10. ＊、TCP ポート番号：23/53/75/80、UDP ポート番号：69/161）
②①で改善しない場合は、ファイアウォールソフトを停止またはアンインストールする
停止方法は、パソコンメーカへお問い合わせください。

● 暗号化キーの設定が親機と子機とで一致しているかを確認してください。（ユーザーズマニュアル）

● 「らくらく無線スタート／らくらく無線スタートEXに関するトラブル」（☛P6-12）も参照してください。

□ 親機と子機間の電波状態が悪い

● 電波の届く範囲まで子機を移動したり、親機や子機の向きを変えたりして電波状態を確認してください。

□ 無線 LAN 対応のプリンタから Wi-Fi 接続したい

● プリンタの無線（ワイヤレス）機能を有効（ON）にしてから、親機のネットワーク名（SSID）・暗号化キーをプリンタに設定してください。設定方法は、プリンタの取扱説明書などを参照してください。なお、WPS に対応している場合は、WPS で Wi-Fi 設定してください。（☛P3-13）また、らくらく無線スタートに対応している場合は、らくらく無線スタートで Wi-Fi 接続できます。（ユーザーズマニュアル）

□ ゲスト SSID が見つからない

● ゲスト SSID は、初期値で無効に設定されています。クイック設定 Web（ホーム画面）の「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「Wi-Fi 詳細設定」で Wi-Fi 機能を「使用する（常時）」または「使用する (時間指定)」に設定してから、Wi-Fi 接続してください。
また、IEEE802.11b に対応している子機によっては、ゲスト SSID をサーチできない場合があります。この場合、ネットワーク名（SSID）を直接設定することにより、接続可能となります。
例）＜ゲスト SSID の初期値＞
親機の側面（裏）にある「ネットワーク名（SSID）」の下段に初期値が記載されています。
2.4GHz：aterm-xxxxxx-gx
5GHz　：aterm-xxxxxx-ax

d パソコンに IP アドレスが設定されていない

□ パソコンの IP アドレスが「192.168.10.XXX」に設定されていない

● パソコンの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。(☛P39)
パソコンの IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも親機の方が先に起動されて内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。
a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる
起動後、P2-10の「IPアドレスの確認方法」を参照してパソコンのIPアドレスを確認する
b. 次の手順で IP アドレスを取り直す

＜ IP アドレスの再取得＞

＜ Windows 10/8.1/8/7 および Windows Vista の場合＞
①「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から［コマンドプロンプト（管理者）］をクリックする
※ Windows 7/Windows Vista の場合は、［スタート］（Windows のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を右クリックし、［管理者として実行］をクリックします。
②［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、［はい］または［続行］をクリックする
③「ipconfig /release」と入力して［Enter］キーを押し、IP アドレスを解放する
④「ipconfig /renew」と入力して［Enter］キーを押し、IP アドレスを取り直す
⑤IPv4 アドレスが「192.168.10.XXX」(※) になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字）

＜ OS X（Mac）の場合＞
以下は OS X v10.10 の場合の例です。
①アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する
②［Ethernet］を選択する
（親機に Wi-Fi 接続している場合は［Wi-Fi］を選択する）
③［詳細］をクリックする
④［TCP/IP］タブをクリックする
⑤［DHCP リースを更新］をクリックする
⑥IPv4 アドレスが「192.168.10.XXX」(※) になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字）
⑦［OK］をクリックする

＜ iOS の場合＞
以下は iOS 8.1 の場合の例です。
①ホーム画面の［設定］アイコンをタップする
②設定メニューの「Wi-Fi」をタップする
③チェックが入っている接続中のネットワーク名（SSID）をタップする
④「DHCP リースを更新」をタップする
⑤「リースを更新しますか？」で［更新］をタップする

＜ Android の場合＞
以下は Android 5.0 の場合の例です。
①［設定］をタップする
②「無線とネットワーク」にある［Wi-Fi］をタップする
③Wi-Fi をいったん OFF にして、再度 ON にする
※ Android5.0 の場合は、左上にある［ON］をタップすると［OFF］に、［OFF］をタップすると［ON］になります。

（※）らくらくネットスタート Lite で親機の LAN 側 IP アドレスを変更した場合は、変更したアドレス体系（例：「192.168.11.XXX」）。

● Wi-Fi をご利用の場合は、c（☛P6-4）を参照して Wi-Fi 通信を確立させてください。

e らくらくネットスタート Lite でインターネットの接続が完了しない

□ インターネットにアクセスできず、らくらくネットスタート Lite の画面も表示されない

- パソコンに IP アドレスが設定されているか確認してください。（☛P2-10）
  設定されていない場合は、d（☛P6-5）を参照してください。
- ご利用のパソコンの設定によっては、らくらくネットスタート Lite の画面が自動的に表示されない場合があります。その場合は、クイック設定 Web で設定してください。（☛ 下記）

① クイック設定 Web を起動する（☛P2-11）
※ 起動しない場合は、f（☛P6-7）を参照してください。
② ホーム画面の「基本設定」－「基本設定」を選択する
③ 動作モードで「PPPoE ルータ」を選択する
④［設定］をクリックする

⑤ ホーム画面に戻り、「基本設定」－「接続先設定」を選択する
⑥「IPv4 接続先名」に、接続先としてわかる名称（任意）を入力する
⑦「IPv4 ユーザー名」と「IPv4 パスワード」を入力する
※ 接続事業者／プロバイダから提供された情報（契約時に入手した接続情報の書類）にしたがって、文字を間違えないように入力してください。
※ フレッツの場合は、@ 以降のドメインが必要です。
※ メールのユーザ名やドメイン、パスワードでは接続できない場合があります。
⑧［設定］をクリックする
⑨［OK］をクリックする

f WWW ブラウザで親機の設定画面が表示されない（クイック設定 Web が起動しない）

□ WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://aterm.me/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない

● プロキシの設定をしていませんか。
→プロキシの設定をしている場合、受け付けが拒否されます。
Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。
①［ツール］－［インターネットオプション］－［接続］－［LAN の設定］の順にクリックする
②［LAN にプロキシサーバーを使用する］の［詳細設定］をクリックして、例外に「aterm.me」を入れる

● 代わりに IP アドレスを入れても表示できます。
・ 親機の動作モードが PPPoE ルータモードのとき：　工場出荷状態の場合は、「http://192.168.10.1」です。
・ 親機の動作モードがローカルルータモードのとき：　工場出荷状態の場合は、「http://192.168.10.1」です。
・ 親機の動作モードがブリッジモードのとき：　P2-13 参照
・ IP アドレスを変更している場合は、変更した値を入力してください。

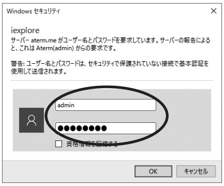
● ブリッジモードに設定されている
→P2-13 参照
→ルータモードに変更してクイック設定 Web を開く場合は、P2-8 の「お知らせ」を参照してください。

● お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。

● Wi-Fi 接続してクイック設定 Web を表示させる場合、ゲスト SSID または WEP 専用 SSID に Wi-Fi 接続していると、工場出荷状態でネットワーク分離機能が設定されているため、クイック設定 Web は表示できません。その場合は、いったん有線で親機とパソコンを接続して、クイック設定 Web を表示してください。設定が終わったら、再度 Wi-Fi 接続してください。

□ WWW ブラウザで親機にアクセスすると、ユーザ名と管理者パスワードを要求される

● 「ユーザー名」（上段）には、「admin」を入力してください。「パスワード」（下段）には、お客様が設定した管理者パスワードを入力してください。（管理者パスワードを忘れてしまった場合は、P6-12 を参照してください。）



6 トラブルシューティング

□ 親機のクイック設定 Web が開かない

- JavaScript が無効に設定されている
  →WWW ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください。(☛P42)
- IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。(☛P6-5)
- Windows 8 の Internet Explorer でクイック設定 Web を起動する際、[このサイトではプライベートネットワークへアクセスできません] の画面 (下記) が表示された場合は、[アクセスを有効にする] をクリックしてください。

g PPPoE ルータモードで親機の ACTIVE ランプが緑点灯しない

□ ACTIVE ランプが緑点灯しない

- パソコンから WWW ブラウザなどでインターネットにアクセスしてください。
  PPPoE ルータモードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で ACTIVE ランプが緑点滅し、しばらくして緑点灯に変わります。

□ ACTIVE ランプが速い緑点滅をしている

- ブロードバンドモデム／回線終端装置の WAN 側が接続されていることを確認してください。ADSL モデムをご使用の場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。NEC 製の ADSL モデムをご使用の場合はモデム前面の LINE ランプまたは ADSL ランプが点灯します。LINE ランプまたは ADSL ランプが点滅している場合は ADSL モデムの取扱説明書などを参照して対処してください。
  対処後、パソコンから WWW ブラウザなどでインターネットにアクセスしてください。
  PPPoE ルータモードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で ACTIVE ランプが緑点滅し、しばらくして緑点灯に変わります。

□ ACTIVE ランプが遅い緑点滅、速い緑点滅を繰り返している

- 親機に登録した接続ユーザ名、接続パスワードとプロバイダなどから送られてくる接続ユーザ名、接続パスワードが正しいことを確認してください。
  接続ユーザ名、接続パスワードについてはご契約のプロバイダへお問い合わせください。
- 接続ユーザ名、接続パスワードが間違っています。
  クイック設定 Web (ホーム画面) の「基本設定」－ [接続先設定] にて修正してください。
  一般的に下記が区別されますのでご注意ください。
  　接続ユーザ名 (ログイン名) : 半角、全角
  　接続パスワード : 半角、全角、大文字、小文字
  ※ フレッツの場合は、@以降のドメインが必要です。
  ※ フレッツ以外の場合は、@以降のドメインは不要の場合があります。
- 接続する環境によっては、正常接続時に時間がかかる場合があります。(数分程度)

h WAN 側 IP アドレスが正しく表示されない

□ ACTIVE ランプが緑点灯しない（クイック設定 Web の状態表示で WAN 側 IP アドレスが表示されない）

- ブロードバンドモデム／回線終端装置が WAN 側に接続されていることを確認してください。
  ADSL モデムをご使用の場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。
- ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っているか確認してください。
- 接続事業者から指定された IP アドレス情報などが正しく設定されているか、クイック設定 Web（ホーム画面）の「基本設定」－［接続先設定］で確認してください。
- ブロードバンドモデム／回線終端装置の設定が合っているか確認してください。動作モードが PPPoE ブリッジモードの場合は親機の動作モードは PPPoE ルータモードでご使用ください。
- 他のブロードバンドルータやパソコンに接続していたブロードバンドモデムを親機に接続し直して通信しようとしている場合、ブロードバンドモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスと親機の MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、ブロードバンドモデムの電源をいったん切って、20～30分もしくは24時間おいた後に電源を入れ直すことで回避できる場合があります。
- 親機の WAN 側の IP アドレスが正しく取得できないことがありますので、クイック設定 Web の［現在の状態］で［IP 解放］をクリックしてから［IP 取得］をクリックして IP アドレスを更新してください。
- CATV 接続事業者によってはホスト名を親機に入力しないと接続できない場合があります。
  接続事業者に確認してクイック設定 Web（ホーム画面）の「基本設定」－［接続先設定］画面の［詳細な項目を表示］をクリックしてからホスト名を入力してください。
- CATV 接続事業者によってはゲートウェイやネームサーバを親機に入力しないと接続できない場合があります。
  接続事業者に確認してクイック設定 Web（ホーム画面）の「基本設定」－［接続先設定］画面の［詳細な項目を表示］をクリックしてからゲートウェイやネームサーバを入力してください。
- CATV 接続事業者によっては親機の MAC アドレスを申請する必要があります。
  親機の WAN 側の MAC アドレスを申請してください。
- クイック設定 Web（ホーム画面）の「基本設定」－［接続先設定］画面の［詳細な項目を表示］をクリックしてから［IP アドレスの割り当て競合検出］のチェックを外してみてください。

i ブリッジモードで ACTIVE ランプが橙点灯しない

□ RT/BR/CNV モード切替スイッチが RT 側または CNV 側になっている

→ブリッジモードに設定されていません。
親機の電源を切って RT/BR/CNV モード切替スイッチを BR 側に切り替えたあと、電源を入れてください。

j インターネットに接続できない

ADSL/FTTH 接続に関するトラブル

□ ダイヤルアップ接続のウィンドウが開いてくる

● WWW ブラウザやメールソフトの設定が、LAN 接続の設定になっていない
→LAN 接続の設定になっているかどうかを確認してください。(☛P41)

□ ルータタイプ ADSL モデムに接続している

● WAN 側 IP アドレスが取得できていない場合、インターネットに正しく通信できません。
→クイック設定 Web の［現在の状態］で［詳細な項目を表示］をクリックし、「WAN 側状態」から WAN 側 IP アドレスを確認してください。
IP アドレスが表示されていない場合は、［IP 取得］を選択し、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。
［IP 取得］でも IP アドレスが表示されない場合は、ADSL モデムがエラー表示していないか、親機背面の WAN ランプが緑点灯しているか確認してください。

● ルータタイプ ADSL モデムの接続設定ができていない
ADSL モデムが親機と同じ IP アドレス 192.168.10.1 になっている場合があります。
→次の手順で、LAN 側の IP アドレスを変更します。
①クイック設定 Web（ホーム画面）に「WAN 側ネットワークアドレスとの競合を検出しました。LAN 側設定を変更してください。」と表示されていることを確認する
②IP アドレスを変更する
クイック設定 Web（ホーム画面）の［詳細な項目を表示］－「詳細設定」の［IPv4 LAN 側設定］で［IP アドレス］を "192.168.11.1" など左から 3 つ目を変更して、［設定］をクリックする

● 親機をブリッジモードに設定して接続できるか確認してください。(☛P2-8)
これでも ADSL 接続ができない場合は、ADSL モデムのサポート窓口に ADSL モデムの設定をお問い合わせください。

□ PPPoE 接続できない

● 接続ユーザ名と接続パスワードが間違っている
→プロバイダからの接続ユーザ名と接続パスワードを再確認して正しく設定してください。
※フレッツの場合は、@以降のドメインが必要です。
※フレッツ以外の場合は、@以降のドメインは不要の場合があります。

● 使用する親機の動作モードは正しいですか。
→ルータタイプの ADSL モデムに接続して使用する場合、PPPoE ルータモードでは接続できません。あらかじめ ADSL モデムのタイプを確認してください。

● パソコンに、ADSL モデムに添付されていた PPPoE 接続専用ソフトを入れたまま、それを使用していませんか。または、Windows 10/8.1/8/7 および Windows Vista の PPPoE 機能を使用していませんか。
→PPPoE の外付けブロードバンドモデムを使用するとき、ブロードバンドモデムに付属のユーティリティでは、パソコンを同時に 1 台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はブロードバンドモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は親機のらくらくネットスタート Lite またはクイック設定 Web で設定をしてください。

● フレッツ・ADSL 接続後、電源の ON/OFF などで、異常終了した場合、親機の再起動において、一定時間（最大で 5 分間程度）接続できない場合があります。一定時間経過後再接続してください。

□ PPPoE 接続に成功してもホームページが開けない

● IP アドレス、DNS ネームサーバアドレスが間違っている
→自動取得できないプロバイダの場合、プロバイダから指定された IP アドレスや DNS ネームサーバアドレスを接続先の設定画面で入力してください。

CATV 接続に関するトラブル

□ CATV インターネット接続に失敗する

- 回線側の IP アドレスが取得できていない
  →クイック設定 Web の［現在の状態］で［詳細な項目を表示］をクリックし、「WAN 側状態」から WAN 側 IP アドレスを確認してください。正しく IP が取得できていない場合は、いったん［IP 解放］をクリックしてから［IP 取得］をクリックして IP アドレスを正しく更新してください。
- 他のブロードバンドルータやパソコンに接続していた CATV ケーブルモデムを親機に接続し直して通信しようとしている
  →CATV ケーブルモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスを記憶して、この MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、CATV ケーブルモデムの電源をいったん切って、20 ～ 30 分もしくは 24 時間おいた後に電源を入れ直すことで回避できる場合があります。
- CATV 接続事業者によっては、親機の MAC アドレスを申請する必要があります。親機の WAN 側の MAC アドレスを申請してください。

□ CATV インターネット接続に成功してもホームページが開けない

- ホスト名が指定されていない
  →CATV 事業者によってはホスト名を入力しないと接続できない場合があります。事業者に確認してクイック設定 Web（ホーム画面）の「基本設定」－［接続先設定］画面の［詳細な項目を表示］をクリックしてから、ホスト名を入力してください。
- ゲートウェイ、DNS ネームサーバが指定されていない
  →CATV 事業者によってはゲートウェイや DNS ネームサーバを入力しないと接続できない場合があります。接続事業者に確認して、クイック設定 Web（ホーム画面）の「基本設定」－［接続先設定］からゲートウェイやネームサーバを入力してください。

□ WAN 側 IP アドレスが取得できない

□ しばらくすると回線が切断され、WAN 側 IP アドレスが、空欄になってしまう

- 背面の WAN ランプが緑点灯しているか確認してください。
- WAN 側 IP アドレスが取得できていない場合、インターネットに正しく通信できません。
  →クイック設定 Web の［現在の状態］で［詳細な項目を表示］をクリックし、「WAN 側状態」から WAN 側 IP アドレスをご確認ください。
  IP アドレスが表示されていない場合は、［IP 取得］をクリックし、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。
  ［IP 取得］でも IP アドレスが表示されない場合は、CATV ケーブルモデムがエラー表示していないか、親機背面の WAN ランプが緑点灯しているか確認してください。なお、CATV ケーブルモデムが 2 台ある場合は、インターネット用をご利用ください。電話用では正しい IP アドレスを取得できません。
- クイック設定 Web（ホーム画面）の「基本設定」ー［接続先設定］で［詳細な項目を表示］をクリックしてから、［IP アドレスの割り当て競合検出］を「OFF」にしてみてください。
- CATV ケーブルモデムが親機と同じ IP アドレス 192.168.10.1 になっている場合があります。
  →次の手順で、LAN 側の IP アドレスを変更します。
  ①クイック設定 Web（ホーム画面）に「WAN 側ネットワークアドレスとの競合を検出しました。LAN 側設定を変更してください。」と表示されていることを確認する
  ②IP アドレスを変更する
  クイック設定 Web（ホーム画面）の［詳細な項目を表示］－「詳細設定」の［IPv4 LAN 側設定］で［IP アドレス］を "192.168.11.1" など左から 3 つ目を変更して、［設定］をクリックする
- クイック設定 Web（ホーム画面）の「基本設定」ー［基本設定］で［ブリッジ設定］の［IPv6 ブリッジ］を「OFF」にしてみてください。（初期値は「OFF」）
- ローカルルータモードでご利用の場合は、クイック設定 Web（ホーム画面）の「基本設定」ー［接続先設定］で［詳細な項目を表示］をクリックしてから、［拡張設定］にある「IP アドレスの時間指定更新機能」を「ON」に設定してみてください。

ユーティリティに関するトラブル

親機のクイック設定 Web に関するトラブル

□ 管理者パスワードを忘れてしまった

● 親機を工場出荷状態に初期化してください。この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。ただし、クイック設定 Web（ホーム画面）の［詳細な項目を表示］－「メンテナンス」－［設定値の保存＆復元］で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復元させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。
なお、「管理者パスワードの初期設定」時に［管理者専用認証スルー機能］を「ON」に設定していれば、設定時と同じ端末からクイック設定 Web を起動する場合、ユーザ名・管理者パスワード入力が省略できます。

□ WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://aterm.me/」と入力すると、違う機種のクイック設定 Web が表示される

● 親機がブリッジモードに設定されており、かつ WAN 側に NEC 製の ADSL モデムやホームゲートウェイ（Aterm シリーズ）が接続されている
→「http://aterm.me/」と入力すると、親機ではなく、NEC 製の ADSL モデムやホームゲートウェイ（Aterm シリーズ）のクイック設定 Web 画面にアクセスする場合があります。ブリッジモードの場合は、P2-13 を参照してください。

□ ブラウザからの応答がなくなってしまった

● クイック設定 Web では、［設定］をクリックすると設定値は即時有効となりますので、ホーム画面の［詳細な項目を表示］－「詳細設定」－［IPv4 LAN 側設定］、またはホーム画面の「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－［Wi-Fi 詳細設定］の変更後、［設定］をクリックするとブラウザからの応答がなくなる場合があります。その場合は、いったんクイック設定 Web を終了させて、以下の操作を行ってください。
・ 有線接続している場合は、ETHERNET ケーブルを抜き、約 10 秒待ってから差し直してください。
・ Wi-Fi 接続している場合は、親機と子機との Wi-Fi 設定をし直して、接続を確立させてください。

□ 親機のバージョンを確認したい

● クイック設定 Web で確認することができます。
［現在の状態］－［ファームウェアバージョン］で確認します。

子機 WG2600HP のクイック設定 Web に関するトラブル

□ WWW ブラウザで子機 WG2600HP の設定画面が表示されない

● パソコンと子機 WG2600HP のネットワークのアドレス体系が異なっている可能性があります。
パソコンのネットワークの設定が「IP アドレスを自動的に取得する」になっていることを確認してください。(☛P39)

らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX に関するトラブル

□ らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX が成功しない

● 親機の電源が ON になっていることを確認する
→ OFF になっていたら ON にしてください。
親機の Wi-Fi 動作モードが、子機の通信可能なモードに対応していることを確認してください。

● 親機のらくらくスタートボタンを長く押しすぎている
→ らくらくスタートボタンは、POWER ランプが緑点滅状態になったらいったん放します。手順にしたがってもう一度らくらく無線スタートを行ってください。

● ドライバが正しく入っていない
→ ご利用の子機の取扱説明書などを参照して、ドライバを正しくインストールしてください。

- らくらく無線スタート EX が正しくインストールされていない
  →サポートデスクー［目的別で探す］－［ソフトウェア］から最新のらくらく無線スタート EX をダウンロードして、インストールしてください。
- 親機の暗号化が解除されている
  →親機の暗号化設定を行ってください。
- 親機の MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている
  →親機の MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている場合はらくらく無線スタートの設定ができません。設定を確認してください。
- 使用するネットワークに DHCP サーバとなる機器が存在しない状態で、親機がブリッジモードに設定されている
  →DHCP サーバとなる機器を設置してください。
- パソコンでファイアウォール、ウィルスチェックなどが動作している
  →設定の前にファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。設定が完了したらもう一度必要な設定を行ってください。
- パソコンに設定された固定 IP アドレスが親機のネットワーク体系とあっていない
  →パソコンのネットワークの設定を「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」にしてください。（☛P39）
- 古いバージョンのドライバやユーティリティがインストールされている
  →古いバージョンのドライバやユーティリティをアンインストールしてから、サポートデスクー［目的別で探す］－［ソフトウェア］から最新のドライバやユーティリティをインストールしてください。
- 子機の他にネットワークデバイス（LAN ボードなど）が動作している
  →ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合 LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させてから、らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX で設定を行ってください。
- らくらく無線スタート EX の場合、子機専用の設定ユーティリティなどが動作している
  →子機専用の設定ユーティリティはいったん停止してください。
- 親機と子機で使用可能な暗号化モードや暗号強度が一致していない
  →親機に子機で使用可能な暗号化モードや暗号強度を設定してください。AES に対応していない子機を利用する場合、親機の設定を変更する必要があります。
- どうしても設定できない場合は、手動で設定してください。Windows 10/8.1/8/7 および Windows Vista の場合は、「Windows 10/8.1/8/7 および Windows Vista を「ワイヤレスネットワーク接続」で手動で設定する」（☛P3-14）で設定してください。

ご利用開始後のトラブル

□ <u>時々通信が切れる</u>

□ <u>途中から通信速度が遅くなった</u>

□ <u>通信が切断されることがある</u>

- ブロードバンドモデム側のトラブルシューティングをご確認ください。特に ADSL モデムに接続する場合はノイズ環境により左右されます。

□ <u>前回はできたのにインターネット接続ができない（PPPoE ルータモード、ローカルルータモード共通）</u>

- パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも親機の方が先に電源が立ち上がって内部の処理が完了している必要があります。
  下記のどちらかの方法で確認してください。
  a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる
  　起動後、「IPアドレスの確認方法」（☛P2-10）を参照してパソコンのIPアドレスを確認する
  b.【IP アドレスの再取得】（☛P6-5）を行う

□ <u>前回はできたのにインターネット接続ができない（PPPoE ルータモードの場合）</u>

- ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。
- ADSL モデムの場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。

□ <u>前回はできたのにインターネット接続ができない（ローカルルータモードの場合）</u>

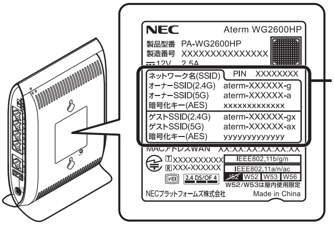
- ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。
- ブロードバンドモデム／回線終端装置と親機の電源投入順序によっては親機の WAN 側 IP アドレスが正しく取得できないことがあります。クイック設定 Web の［現在の状態］で［IP 解放］をクリックしてから［IP 取得］をクリックして IP アドレスを更新してください。

□ <u>親機が正常に動作しないが、原因がわからない</u>

- 設定に誤りがある場合があります。
  どうしても動作しない場合は、初期化して工場出荷状態に戻し、最初から設定し直してください。

□ <u>ネットワーク名（SSID）を忘れてしまった</u>

- LAN ポートに有線で接続したパソコンから、クイック設定 Web の［現在の状態］で確認してください。
- 工場出荷時のネットワーク名（SSID）は親機の側面（裏）に記載されています。



親機

工場出荷時のネットワーク名（SSID）と暗号化キー

側面（裏）のラベルにある「ネットワーク名（SSID）」には、上段にオーナー SSID、下段にゲスト SSID の Wi-Fi 設定内容（2.4GHz · 5GHz 別の SSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。なお、ゲスト SSID に接続するには、Wi-Fi 機能を有効に設定する必要があります。

□ <u>暗号化設定の暗号化キーを忘れてしまった</u>

- LAN ポートに有線で接続したパソコンから、クイック設定 Web（ホーム画面）の「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－［Wi-Fi 詳細設定］で設定を確認してください。
- 工場出荷時の暗号化キーは親機の側面（裏）に記載されています。

□ Wi-Fi 接続の状態が良好なのに通信できない

- 【IPアドレスの再取得】(☛P6-5)を参照して、IPアドレスが取得できるか確認してください。
- 固定 IP アドレスでお使いの場合は、親機と子機に接続しているパソコンのネットワークのアドレス体系を一致させてください。（例：親機が 192.168.10.1 のとき、子機は 192.168.10.XXX）
- 他の LAN カードまたは、LAN ボードの機能を停止させてください。

□ Wi-Fi 接続の状態が良好なのに速度が出ない

- 近くに隣接するチャネルを使っている人がいる、または「チャネル状況」には表示されないデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetooth などの電波を放射する装置で電波干渉がある
  →クイック設定 Web を起動して「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－［Wi-Fi 詳細設定］の［Wi-Fi 機能設定］の［オートチャネルセレクト機能］を「OFF」にし、「使用チャネル」の番号を変更します。設定値の目安として、他の Wi-Fi 機器が使用しているチャネルから 4 チャネル以上ずらすようにしてください。
- 親機と子機が近すぎる
  → 1m 以上離してください。

□ AV サーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛んだりする

- Wi-Fi 接続の状態が悪い（親機との距離が離れすぎている）
  →電波状態が良好となるところに移動してください。
- 電波干渉がある
  →チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。（☛ 上記）
- AV サーバのレートを低品質に下げてご利用ください。

□ 無線 LAN プリンタで印刷できない

- 無線 LAN プリンタを共有したい場合は、無線 LAN 内蔵パソコンと同一のネットワーク名（SSID）に接続してください。

□ TV ランプが点灯しない

- 親機が TV モードになっていない
  →親機は、下記いずれかの場合に TV モードとなり、TV ランプが点灯します。
  a. クイック設定 Web（ホーム画面）の「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「Wi-Fi 詳細設定（5GHz）」で、［TV モード］を「使用する」に設定した場合
  b. 5GHz で無線クライアントモードの拡張モードに対応した子機と Wi-Fi 接続した場合

□ テレビの画像が途切れる

- テレビを見るための十分なスループットが得られていない
  →親機と子機を近づけてみてください。

□ 親機のバージョンを確認したい

クイック設定 Web で確認することができます。
［現在の状態］－［ファームウェアバージョン］で確認します。

6 トラブルシューティング

7 メンテナンス

7

バージョンアップする

ファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、本商品に新しい機能を追加したり、場合によっては操作を改善したりします。
※ファームウェアとは、本商品を動かすために組み込まれているソフトウェアのことです。

お願い

- ファームウェアのバージョンアップ中（7～8分間）は絶対に本商品の電源を切らないでください。
- 本商品では、電源を入れて起動した際に、ファームウェアのバージョンアップ情報を確認して、バージョンアップの必要性が極めて高いファームウェアのみ、自動的にバージョンアップを行う機能があります。
  バージョンアップ中は、POWERランプが橙点灯しますので、絶対に本商品の電源を切らないよう、ご注意ください。
- 本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本商品が動作しなくなります。
- バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、通知領域（タスクトレイ）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

ファームウェアをバージョンアップする

ファームウェアをバージョンアップする場合は、以下のいずれかの方法で行ってください。

- **自動更新（オンラインバージョンアップ）（☛ 下記）**
- **ファームウェアをダウンロードして、バージョンアップする（☛P7-4）**

自動更新（オンラインバージョンアップ）

クイック設定Webからファームウェアのバージョンアップを行うことができます。
※ 本機能は、インターネットに接続できている必要があります。

1 **クイック設定Webを起動する（☛P2-11）**
子機WG2600HPの場合（☛P3-45）

> **!**
> **ブリッジモードでご利用の場合は、ルータモードでクイック設定Webを開いてください。**

2 **ホーム画面の「メンテナンス」－［ファームウェア更新］を選択する**

3 ［更新方法］で［自動更新（オンラインバージョンアップ)］を選択する

4 ［更新］をクリックする

5 右の画面が表示されるので、そのまましばらく待つ

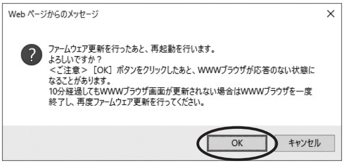
!

本商品の電源は、絶対に切らないでください。
→ AC アダプタは取り外さないでください。

6 右の画面で、最新のファームウェアバージョンの数字が新しい場合は、［最新バージョンへ更新］をクリックする

「現在のバージョン」と「最新のバージョン」が同じ場合はここで終了です。

7 ［OK］をクリックする

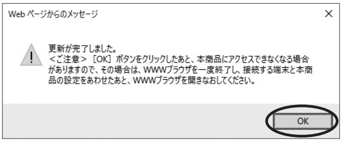


（次ページに続く）

8 しばらくすると、画面に「ファームウェア更新中です。XXX 秒ほどお待ちください。残り XXX 秒 ...」と表示される

> !
> 本商品の電源は、絶対に切らないでください。
> → AC アダプタは取り外さないでください。

9 ［OK］をクリックする



ファームウェアをダウンロードして、バージョンアップする

サポートデスクから、ファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行うことができます。

1 サポートデスク（http://www.aterm.jp/support/）－［目的別で探す］－［ソフトウェア］にアクセスする

2 ［WG2600HP］をクリックする

3 内容をよく読んでご利用になるファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする

初期化する

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して初期値にすることをいいます。本商品がうまく動作しない場合や今までとは異なった使いかたをする場合は、本商品を初期化して最初から設定し直すことをお勧めします。

※ 初期化しても購入後にお客様がバージョンアップしたファームウェアは、お客様がバージョンアップしたバージョンのままとなります。

親機を初期化する場合

親機を初期化する場合は、以下のいずれかの方法で行ってください。
なお、初期化すると、本商品の親機としての設定内容も、子機としての設定内容もすべて初期値になります。

- **クイック設定 Web で初期化する（****☛P7-6****）**
- **RESET スイッチで初期化する（****☛P7-7****）**

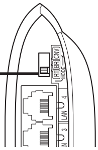
お願い

- 初期化した場合、管理者パスワードの設定もクリアされ、パケットフィルタなどの設定も初期値に戻りますので、初期化後に必ず再設定してください。
- 親機は、工場出荷時に、側面（裏）にあるネットワーク名（SSID）、暗号化キーが設定されています。それらの暗号化設定を変更して使用している場合、初期化すると、工場出荷状態の値に戻りますので、初期化する前にクイック設定 Web（ホーム画面）の［詳細な項目を表示］－「メンテナンス」－［設定値の保存＆復元］にて現在の設定内容を保存し、初期化後に同設定画面にて復元することをお勧めします。

クイック設定 Web で初期化する

1 RT/BR/CNV モード切替スイッチを RT 側にする

RT/BR/CNV モード切替スイッチ



2 クイック設定 Web を起動する（☛P2-11）

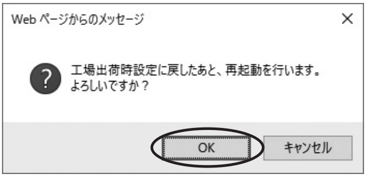
3 ホーム画面の［詳細な項目を表示］をクリックする

4 「メンテナンス」－［設定値の初期化］を選択する

5 ［設定値の初期化］をクリックする

6 ［OK］をクリックする

親機が再起動します。



お知らせ

● ルータモードで、クイック設定 Web による初期化を行った場合、再起動後は自動的に本商品の工場出荷時の IP アドレス（192.168.10.1）で、クイック設定 Web 画面が開く場合があります。
Internet Explorer をご利用で［JavaScript 無効］と表示されて画面が開かない場合は、いったん画面を閉じて開き直すか、「JavaScript の設定を確認する」（☛P42）を参照して、インターネットオプションの設定を変更してください。

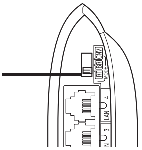
RESET スイッチで初期化する

親機の RESET スイッチを使って初期化します。

1 **親機の POWER ランプが緑点灯していることを確認する**

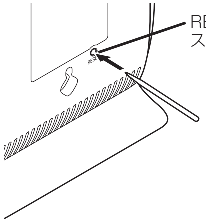
電源を入れ直した場合や電源を入れた直後の場合は、約 170 秒お待ちください。

2 **RT/BR/CNV モード切替スイッチを RT 側にする**



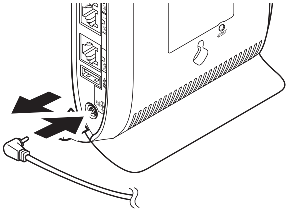
3 **親機の側面（裏）にある RESET スイッチを細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの。つまようじの先など。）で押し続け、POWER ランプが赤点滅をはじめたら放す**

POWER ランプが赤点滅するまで約 6 秒〜10 秒かかります。



4 **親機から AC アダプタのプラグをいったん取り外したあと、10 秒ほど待ってから再び差し込み、約 170 秒待つ**

※親機の前面ランプが一斉に緑点滅したあと、POWER ランプが緑点灯したら初期化が完了します。



以上で初期化は完了です。

子機 WG2600HP を初期化する場合

子機 WG2600HP を初期化する場合は、以下のいずれかの方法で行ってください。
なお、初期化すると、本商品の子機としての設定内容も、親機としての設定内容もすべて初期値になります。（子機 WG2600HP の初期値は P7-9 参照。）

イーサネットコンバータセットの場合、初期化すると、工場出荷時に設定されていたWi-Fi設定内容は消去され、初期値(☛P7-9)となりますので、P3-41 を参照してWi-Fiの設定をし直してください。

- ●クイック設定 Web で初期化する（☛ 下記）
- ● RESET スイッチで初期化する（☛P7-9）

クイック設定 Web で初期化する

1 子機 WG2600HP のクイック設定 Web を起動する（☛P3-44）

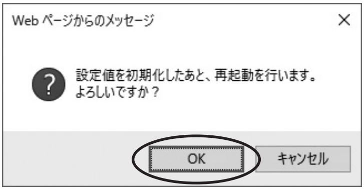
2 ホーム画面の［詳細な項目を表示］をクリックする

3 「メンテナンス」－［設定値の初期化］を選択する

4 ［設定値の初期化］をクリックする

5 ［OK］をクリックする

本商品が再起動します。

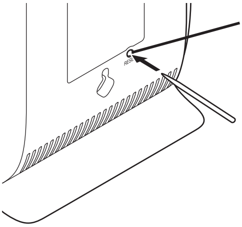


RESET スイッチで初期化する

1 **子機 WG2600HP の電源が入っていない場合は、電源を入れてから約 170 秒待つ**

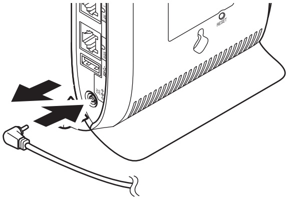
2 **子機 WG2600HP の側面（裏）にある RESET スイッチを細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの。つまようじの先など。）で押し続け、POWER ランプが赤点滅をはじめたら放す**

POWER ランプが赤点滅するまで約 6 秒～ 10 秒かかります。



3 **子機 WG2600HP から AC アダプタのプラグをいったん取り外したあと、10 秒ほど待ってから再び差し込み、約 170 秒待つ**

※子機 WG2600HP の前面ランプが一斉に緑点滅したあと、POWER ランプが緑点灯したら初期化が完了します。



以上で初期化は完了です。

■子機 WG2600HP の初期値

子機 WG2600HP を初期化すると、次のような設定になります。

イーサネットコンバータセットの場合、初期値では親機と Wi-Fi 通信できません。初期化した場合は、P3-41 を参照して Wi-Fi の設定を行ってください。

設定項目		初期値
Wi-Fi 設定	ネットワーク名（SSID）	未設定
	暗号化モード	暗号化無効
	暗号化キー	未設定
	送信出力	100%
ネットワーク設定	IP アドレス	192.168.1.245
	ネットマスク	255.255.255.0
管理者設定	管理者名	admin
	管理者パスワード	未設定

8

付録

8

製品仕様

ハードウェア仕様

<table>
<tr><th colspan="2">項　目</th><th colspan="2">諸元および機能</th><th>備　考</th></tr>
<tr><td rowspan="4">WAN
インタ
フェース</td><td>物理
インタフェース</td><td colspan="2">8 ピンモジュラージャック
（RJ-45）× 1 ポート</td><td></td></tr>
<tr><td>インタフェース</td><td colspan="2">WAN ポート
1000BASE-T/100BASE-TX/
10BASE-Te ＊1</td><td>Auto MDI/MDI-X
対応</td></tr>
<tr><td>伝送速度</td><td colspan="2">1000Mbps/100Mbps/10Mbps
＊1</td><td rowspan="2">自動認識 / 固定モード</td></tr>
<tr><td>全二重 / 半二重</td><td colspan="2">全二重 / 半二重</td></tr>
<tr><td rowspan="4">LAN
インタ
フェース</td><td>物理
インタフェース</td><td colspan="2">8 ピンモジュラージャック
（RJ-45）× 4 ポート</td><td>スイッチング HUB
× 4 ポート</td></tr>
<tr><td>インタフェース</td><td colspan="2">1000BASE-T/100BASE-TX/
10BASE-Te ＊1</td><td>Auto MDI/MDI-X 対応</td></tr>
<tr><td>伝送速度</td><td colspan="2">1000Mbps/100Mbps/10Mbps
＊1</td><td rowspan="2">自動認識</td></tr>
<tr><td>全二重 / 半二重</td><td colspan="2">全二重 / 半二重</td></tr>
<tr><td>USB
インタ
フェース</td><td>物理
インタフェース</td><td colspan="2">USB3.0 × 1 ポート
USB Bus Power 対応</td><td>Super Speed (5Gbps)
High Speed （480Mbps)
Full Speed （12Mbps)
Low Speed （1.5Mbps)</td></tr>
<tr><td rowspan="5">無線 LAN
インタ
フェース</td><td rowspan="5">IEEE802.11ac</td><td rowspan="3">周波数帯域 /
チャネル</td><td colspan="2">［W52］
5.2GHz 帯（5,150-5,250MHz）：
36/40/44/48ch
※屋内限定</td></tr>
<tr><td colspan="2">［W53］
5.3GHz 帯（5,250-5,350MHz）：
52/56/60/64ch
※屋内限定</td></tr>
<tr><td colspan="2">［W56］
5.6GHz 帯（5,470-5,725MHz）：
100/104/108/112/116/120/124/
128/132/136/140ch</td></tr>
<tr><td>伝送方式</td><td colspan="2">OFDM（直交周波数分割多重）方式 /
搬送波数［VHT20］56、［VHT40］114、
［VHT80］242
MIMO（空間多重）方式</td></tr>
<tr><td>伝送速度＊2</td><td colspan="2">最大 1733Mbps（VHT80 の場合）＊3
（自動フォールバック）</td></tr>
</table>

項　目		諸元および機能		備　考
無線LAN インタ フェース	IEEE802.11n	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯（2,400-2,484MHz）： 1 ～ 13ch	
			[W52] 5.2GHz 帯（5,150-5,250MHz）： 36/40/44/48ch ※屋内限定	
			[W53] 5.3GHz 帯（5,250-5,350MHz）： 52/56/60/64ch ※屋内限定	
			[W56] 5.6GHz 帯（5,470-5,725MHz）： 100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式 / 搬送波数［HT20］56、［HT40］114 MIMO（空間多重）方式	
		伝送速度＊2	2.4GHz 帯 　最大 600Mbps（HT40 の場合）＊4 5.2GHz 帯（W52） 5.3GHz 帯（W53） 5.6GHz 帯（W56） 　最大 600Mbps（HT40 の場合）＊4 （自動フォールバック）	
	IEEE802.11a	周波数帯域 / チャネル	[W52] 5.2GHz 帯（5,150-5,250MHz）： 36/40/44/48ch ※屋内限定	
			[W53] 5.3GHz 帯（5,250-5,350MHz）： 52/56/60/64ch ※屋内限定	
			[W56] 5.6GHz 帯（5,470-5,725MHz）： 100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式 / 搬送波数 52	
		伝送速度 ＊2	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps （自動フォールバック）	
	IEEE802.11g	周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯（2,400-2,484MHz）： 1 ～ 13ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式 / 搬送波数 52	
		伝送速度 ＊2	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps （自動フォールバック）	

項目			諸元および機能		備考
無線LAN インタフェース	IEEE802.11b		周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯（2,400-2,484MHz）： 1 ～ 13ch	
			伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式	
			伝送速度 ＊2	11/5.5/2/1Mbps （自動フォールバック）	
	アンテナ		5GHz　：送信 4 ×受信 4 2.4GHz：送信 4 ×受信 4 （内蔵アンテナ）		
	セキュリティ		SSID、MAC アドレスフィルタリング、ネットワーク分離機能、WEP（128bit）、WPA2-PSK（AES）、WPA/WPA2-PSK（AES）、WPA/WPA2-PSK（TKIP/AES） ※ WEP は WEP 専用 SSID のみサポート ※ IEEE802.11ac、IEEE802.11n は対向機と AES で接続された場合のみ使用可能		
ヒューマンインタフェース	状態表示ランプ	POWER	電源通電状態表示		
		ACTIVE	親機モード時ネット通信状態表示 Wi-Fi 子機（CONVERTER）モード時 Wi-Fi 接続状態表示		
		2.4GHz	2.4GHz モード Wi-Fi 通信状態表示		
		5GHz	5GHz モード Wi-Fi 通信状態表示		
		TV	TV モード通信状態表示		
		CONVERTER	親機・子機状態表示		
		WAN	リンク確立状態表示		
		LAN1 ～ 4	リンク確立状態表示		
	スイッチ		らくらくスタートボタン× 1 RESET スイッチ× 1 RT/BR/CNV モード切替スイッチ× 1		
動作保証環境			温度 0 ～ 40℃　湿度 10 ～ 90%		結露しないこと
外形寸法			約 38（W）× 130（D）× 181（H）mm		突起部除く
電源			AC100V ± 10%　50/60Hz		AC アダプタ使用
消費電力			32W（最大）		
質量（本体のみ）			約 0.6kg		AC アダプタを除く
VCCI			VCCI クラス B		

＊ 1：本商品を快適にご利用いただくには、1000BASE-T、1000Mbps もしくは 100BASE-TX、100Mbps の方式での接続を推奨します。
＊ 2：規格による理論上の速度であり、ご利用環境や接続機器などにより実際のデータ通信速度は異なります。
＊ 3：ご利用環境によっては、VHT80/VHT40/VHT20 モードが自動で切り替わるため、クワッドチャネルを「使用する」に設定しても、VHT20 などで接続する場合があります。
＊ 4：ご利用環境によっては、HT40/HT20 モードが自動で切り替わるため、デュアルチャネルを「使用する」に設定しても、HT20 で接続される場合があります。

マニュアルで使用している用語について

本商品のマニュアルで使用している用語について解説します。
別名で呼ばれている場合もありますので、その例も記載しています。

※用語は、あいうえお順／アルファベット順で並んでいます。

<table>
<tr><th>マニュアルで
使用している用語</th><th>説明</th><th>別名例</th></tr>
<tr><td>暗号化キー</td><td>Wi-Fi セキュリティを高めるための暗号化を行う鍵のこと。</td><td>セキュリティ キー
パスフレーズ
ネットワークキー
パスワード
WEP キー</td></tr>
<tr><td>親機</td><td>無線 LAN アクセスポイントのこと。
無線 LAN アクセスポイントとは、無線 LAN 端末を接続するための電波を中継する機器を指す。
本商品 WG2600HP は、ルータ機能を搭載した無線 LAN アクセスポイント。</td><td>無線 LAN アクセスポイント
無線 LAN 親機</td></tr>
<tr><td>子機</td><td>無線 LAN 端末のこと。
パソコンに装着して Wi-Fi 接続機能を提供するアダプタや、Wi-Fi 接続機能を内蔵したパソコンなどの端末を指す。
Wi-Fi 子機（CONVERTER）モードの WG2600HP も該当する。</td><td>無線 LAN 端末
無線 LAN 子機</td></tr>
<tr><td>回線終端装置</td><td rowspan="2">ADSL や FTTH、CATV など広帯域で高速な通信を提供する回線・サービスに接続するために、コンピュータの信号と回線の信号を通信可能な信号に変換する装置。</td><td>FTTH 回線終端装置</td></tr>
<tr><td>ブロードバンドモデム</td><td>ADSL モデム
CATV ケーブルモデム</td></tr>
<tr><td>プロトコル</td><td>通信規約。システム（コンピュータやネットワーク）どうしが正しく通信できるようにするための約束ごと。</td><td></td></tr>
<tr><td>ルータ</td><td>複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。</td><td></td></tr>
<tr><td>CATV</td><td>Cable Television の略。ケーブルテレビ。
従来のテレビのようにアンテナで電波を受信するのではなく、通信ケーブルに映像／音声をのせるテレビ放送。</td><td></td></tr>
<tr><td>DHCP</td><td>Dynamic Host Configuration Protocol の略。
コンピュータを TCP/IP ネットワークに接続する際に、IP アドレスなど必要な情報を自動的に割り振る方法。
DHCP クライアント機能は WAN 側から IP アドレスを自動的に取得する機能で、DHCP サーバ機能は LAN 側のパソコンに自動的に IP アドレスを割り当てる機能。</td><td></td></tr>
<tr><td>DNS</td><td>Domain Name System の略。
ドメイン名と IP アドレスを関連付けているシステム。これによりドメイン名で宛先指定しても通信可能となる。</td><td></td></tr>
</table>

マニュアルで使用している用語	説明	別名例
ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）	Wi-Fi 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名（SSID）がある。このネットワーク名（SSID）が一致しないと Wi-Fi 通信ができない。一般にネットワーク名（SSID）は検索することができるが、他のパソコンからのアクセスに対し、ネットワークの参照に応答しないようにすることができる。	ANY プローブ応答禁止 SSID の隠蔽
FTTH	Fiber To The Home の略で、光ファイバーを利用して超高速の通信環境を提供するサービス。	
IP アドレス	インターネット接続などの TCP/IP を使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32bit の値をもち、8bit ずつ 10 進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する（例：192.168.10.10）。	
LAN	Local Area Network の略。 本書では、本商品の宅内側（パソコンなどを接続している側）を LAN 側と呼ぶ。	
PPPoE	PPP over ETHERNET の略。ADSL などの常時接続型サービスで使用されるユーザ認証技術。ETHERNET 上でダイヤルアップ接続（PPP 接続）と同じように利用者のユーザ名やパスワードのチェックを行う。	
UPnP	Universal Plug and Play（ユニバーサルプラグアンドプレイ）の略で、XML 技術をベースに開発された、ネットワーク機器どうしの相互自動認識方式。 デバイスのプラグアンドプレイ（PnP）機能をネットワークに拡張したもので、パソコンからルータなどのネットワーク・デバイスやサービスの検出と制御を可能にする。	
WAN	Wide Area Network の略。 本書では、本商品のインターネット側（インターネットに接続している回線側）をWAN 側と呼ぶ。	
Wi-Fi	Wi-Fi 機器の相互接続性を、米国の業界団体 Wi-Fi Alliance が認証したことを示す名称。 本書では無線 LAN のことを示す。無線 LAN とは、無線を使用した LAN のことで、規格として、「IEEE802.11ac」「IEEE802.11n」「IEEE802.11a」「IEEE802.11g」「IEEE802.11b」などがある。	無線 LAN ワイヤレス LAN

索引

マークの付いた項目については、下記を参照してください。
・📖：「つなぎかたガイド」
・🌐：「ユーザーズマニュアル」

[数字]

2.4GHz ランプ ············ 32、33、34
5GHz ランプ ·············· 32、33、35

[A ～ Z]

ACTIVE ランプ ············ 32、33、34
AC アダプタ接続コネクタ ············ 36
AES ························ 4-3、🌐
Aterm インフォメーションセンター··· 8-9
CONVERTER ランプ······· 32、33、35
DHCP クライアント機能············· 8-5
DHCP サーバ機能 2-13、3-44、8-5、🌐
DMZ ホスト機能 ················ 5-4、🌐
ECO モード···················· 5-2、🌐
ESS-ID ステルス機能
（SSID の隠蔽）········· 4-4、8-6、🌐
IPv6 ブリッジ機能 ·············· 5-3、🌐
IP パケットフィルタリング ······· 5-4、🌐
JavaScript ························· 42
LAN 側ジャンボフレーム
透過機能····················· 5-5、🌐
LAN ポート························· 36
LAN ランプ························· 36
MAC アドレス
～フィルタリング機能 ········ 4-5、🌐
PIN 方式 ···················· 3-12、🌐
POWER ランプ ················ 32、34
PPPoE ブリッジ················ 5-3、🌐
PPPoE マルチセッション ········ 5-3、🌐
PPPoE ルータモード ··········· 29、2-6
RESET スイッチ ·····36、37、7-7、7-9
RT/BR/CNV モード切替スイッチ
························· 36、2-8
SSID ······························ 3-2
SSID の隠蔽··················· 4-4、8-6
TKIP························ 4-3、🌐
TV モード ······················· 26、🌐
TV ランプ ················ 32、33、35
UPnP 機能 ··················· 5-4、🌐
USB カメラ機能 ················ 5-2、🌐
USB ファイル HTTP 公開機能
（ブラウザファイル共有機能）··· 5-2、🌐
USB ポート ··············· 36、5-2、🌐
VPN パススルー機能 ············ 5-4、🌐
WAN ポート ······················· 36
WAN ランプ···················· 36、37
WEP························ 4-3、🌐
WEP キー ························ 8-5
Wi-Fi ······························ 8-6
Wi-Fi 子機（CONVERTER）モード
···························· 30、31
Wi-Fi 通信 ···················· 22、23
WoL（Wake on LAN）機能 ····· 26、🌐
WPS 機能 ························ 3-12
WWW ブラウザの設定 ················ 41

[ア行]

暗号化···························· 4-3
安全にお使いいただくために
必ずお読みください················ 8
オート ECO モード機能 ··········· 5-2、🌐
オートチャネルセレクト機能······ 23、🌐
置き場所を決める··················· 1-2
親機························· 29、8-5

[カ行]

各部の名称とはたらき················ 32
管理者パスワード
············2-7、2-12、2-14、3-45
クイック設定 Web··················· 2-9
～で初期化する ············· 7-6、7-8
～の起動のしかた ········· 2-11、3-44
～の使いかた ······················ 2-9
クワッドチャネル機能············ 23、🌐
ゲーム機から接続する················ 3-5
子機························· 30、8-5
～ WG2600HP を設定する ····· 3-41
こども安心ネットタイマー機能···· 5-2、🌐

8
付録

[サ行]

サポートデスク……… 8-9
初期化……… 7-5
製品仕様……… 8-2
セキュリティ対策……… 4-1、
接続する
　iPad/iPhone/iPod touch から〜
　　……… 3-6
　Wi-Fi 対応のゲーム機から〜……… 3-5
設置する……… 1-1
設置に関するトラブル……… 6-2
設定
　Wi-Fi 子機（CONVERTER）
　　モードの〜……… 31
　Wi-Fi を〜……… 3-1
　親機を〜……… 2-1
　ブリッジモードに〜……… 2-8
設定値の初期化……… 7-6

[タ行]

ダイナミック DNS 機能……… 5-5、
停止
　ルータ機能を〜……… 2-8
できること……… 21
デュアルチャネル機能……… 23、
テレビ電話……… 28、5-4
トラブルシューティング……… 6-1

[ナ行]

ネットワークゲーム……… 28
ネットワーク分離機能……… 4-7
ネットワーク名（SSID）……… 3-2

[ハ行]

バージョンアップ……… 7-2
はじめに（マニュアル構成）……… 2
パソコンのネットワークの確認……… 39
ファイアウォール……… 38、6-4、6-7、6-13
ブリッジモード……… 29、2-8、2-13
プロバイダ……… 27、38
ホーム IP ロケーション機能の
　ご使用条件……… 6
本商品の動作モードについて……… 29

[マ行]

マルチ SSID……… 3-3
無線 LAN アクセスポイント……… 8-5
無線 LAN 端末……… 8-5
メディアサーバ機能……… 5-2、
メンテナンスバージョンアップ機能に関する
　許諾について……… 5
目次……… 18

[ヤ行]

ユーザーズマニュアル……… 2
ユーティリティに関するトラブル……… 6-12

[ラ行]

らくらく QR スタート……… 3-9、
らくらく「かざして」スタート……… 3-8、
らくらくスタートボタン……… 32、34、35
らくらくネットスタート Lite……… 2-3
らくらく無線スタート……… 3-11
らくらく無線スタート EX……… 3-11
ランプ表示……… 32、34
ローカルルータモード……… 29
ワイヤレスネットワーク接続……… 3-14

お問い合わせ

ご注意

**掲載されているお問い合わせ先などは、
変更されている場合があります。
最新の情報は、
本マニュアルが掲載されているページにてご案内の
「お問い合わせ・アフターサービス」（PDF）
を参照してください。**

よくあるお問い合わせ

本商品の接続や設定について、よくあるお問い合わせ内容をまとめました。
Aterm（エーターム）インフォメーションセンターにお問い合わせする前にご確認ください。

No.1　設定は完了したが、インターネットに接続できない

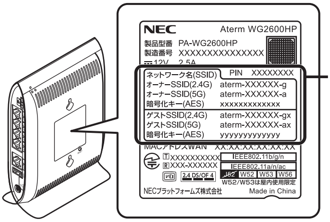
● ACTIVE ランプがゆっくりとした緑点滅（1 秒間隔）していませんか
→「トラブルシューティング」の「ACTIVE ランプが遅い緑点滅、速い緑点滅を繰り返している」（☛P6-8）
● 本商品に接続したブロードバンドモデムの電源を入れ直してみる
→「トラブルシューティング」の「ACTIVE ランプが緑点灯しない」の「●他のブロードバンドルータやパソコンに・・・」（☛P6-9）

No.2　設定変更したいが、クイック設定 Web が開かない

● ACTIVE ランプが、橙点灯していませんか
→「ブリッジモードの場合」（☛P2-13）

No.3　ゲーム機や無線 LAN 内蔵パソコンと接続できない

● ゲーム機や無線 LAN 内蔵パソコンのメーカから、親機の設定情報が必要と言われた
→ 親機の工場出荷時のネットワーク名（SSID）と暗号化キーは、親機の側面（裏）に貼ってあるラベルに記載されています。
※ 子機 WG2600HP 側面（裏）のラベルではありませんので、ご注意ください。



親機

側面（裏）のラベルにある「ネットワーク名（SSID）」には、上段にオーナー SSID、下段にゲスト SSID の Wi-Fi 設定内容（2.4GHz・5GHz 別の SSID、暗号化モード、暗号化キー）が表示されています。なお、ゲスト SSID に接続するには、Wi-Fi 機能を有効に設定する必要があります。

※ 上記を参照しても設定できない場合は、ゲーム機や無線 LAN 内蔵パソコンのメーカへお問い合わせください。
● Wi-Fi 設定中、セキュリティ キーまたはパスフレーズの入力画面が出てきたが、何を入力すればよいかわからない
→ 親機の暗号化キーを入力します。親機の工場出荷時の暗号化キーは、親機の側面（裏）に貼ってあるラベルに記載されています。（☛ 上記）
● 設定方法がわからない
→ Windows 10/8.1/8/7 および Windows Vista の場合は、「ワイヤレスネットワーク接続」で設定してください。（☛P3-14）
なお、親機の工場出荷時のネットワーク名（SSID）と暗号化キーは、親機の側面（裏）に貼ってあるラベルに記載されています。（☛ 上記）

No.4　新しいパソコン（2 台目以降）を購入した

● 設定方法がわからない
→「つなぎかたガイド」の STEP「子機から親機に Wi-Fi 接続しよう」参照

MEMO

MEMO

MEMO

● 本商品で使用しているソフトウェアについて

本商品には、GNU General Public License（GPL）または GNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL または LGPL にしたがい、複製、頒布および改変することができます。詳細は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

● 電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いません。また、弊社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。
本製品の輸出(非居住者への役務提供等を含む) に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

● 廃棄方法について

この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

● ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。

（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

（4）本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

（5）セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

（6）せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

NECプラットフォームズ株式会社
Aterm WG2600HP 取扱説明書　第 2 版
AM1-002673-002
2015 年 9 月